

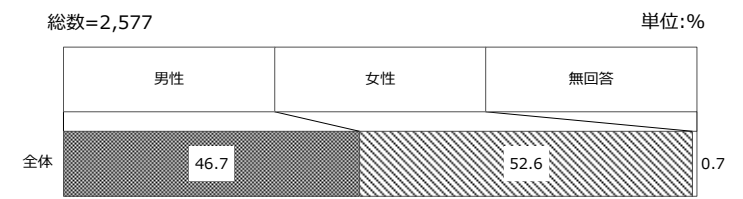
# 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険 事業計画策定基礎調査（中間報告・ 単純集計）

## ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 1 前提

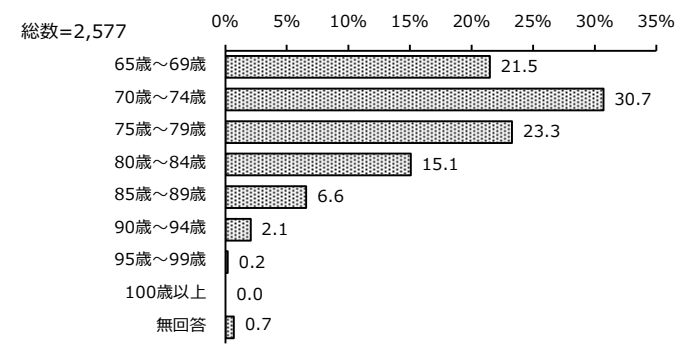
#### (1) 性別

「女性」は52.6%、「男性」は46.7%となっています。

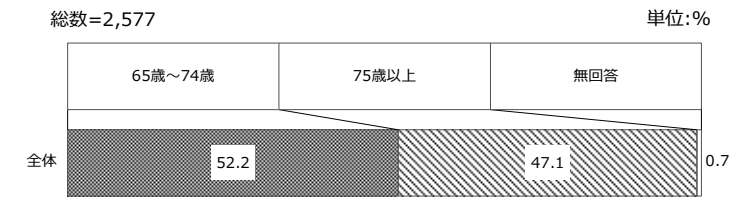


#### (2) 年齢

「70歳～74歳」が30.7%で最も多く、「75歳～79歳」（23.3%）、「65歳～69歳」（21.5%）、「80歳～84歳」（15.1%）が続きます。

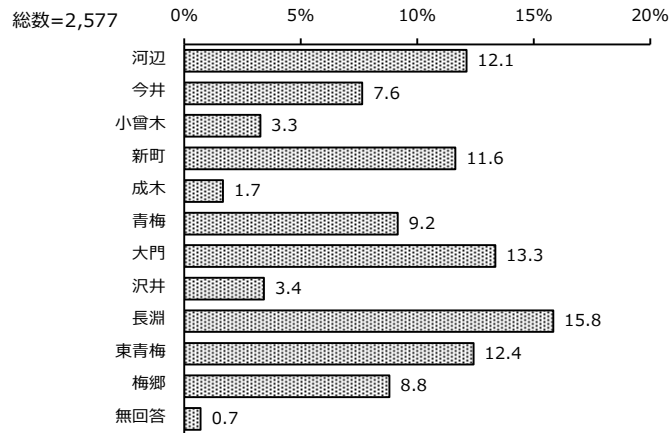


これを「前期高齢者（65歳～74歳）」と「後期高齢者（75歳以上）」に分けてみると、「65歳～74歳」は52.2%、「75歳以上」は47.1%となっています。

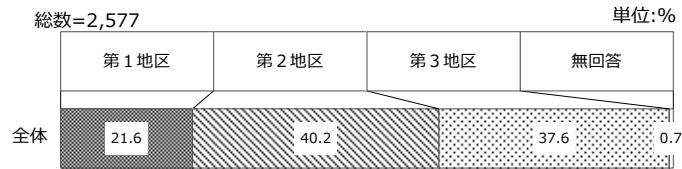


(3) 地区

「長淵」が15.8%で最も多く、「大門」(13.3%)、「東青梅」(12.4%)、「河辺」(12.1%)が続きます。

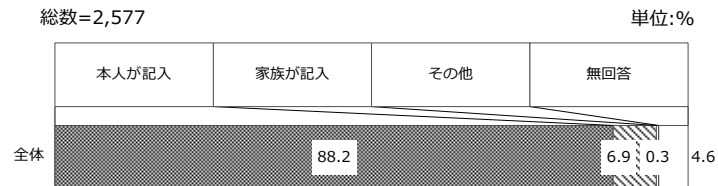


これを「3地区」にまとめると、「第2地区」が40.2%で最も多く、「第3地区」(37.6%)、「第1地区」(21.6%)が続きます。



(4) 記入者

「本人が記入」が88.2%で最も多く、「家族が記入」(6.9%)、「その他」(0.3%)が続きます。

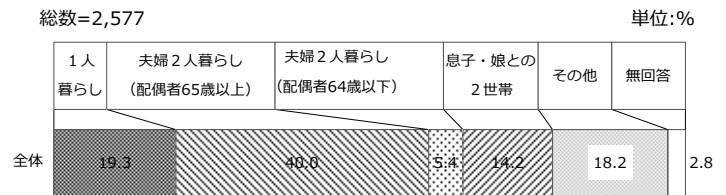


2 基本事項【家族や生活状況】

(1) 家族構成

家族構成をお教えてください

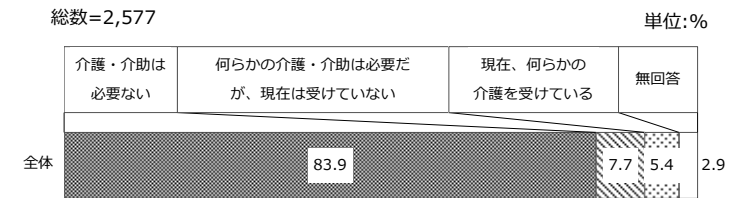
「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が40.0%で最も多く、「1人暮らし」(19.3%)、「その他」(18.2%)、「息子・娘との2世帯」(14.2%)が続きます。



(2) 介護・介助の要否

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」が83.9%で最も多く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(7.7%)、「現在、何らかの介護を受けている」(5.4%)が続きます。

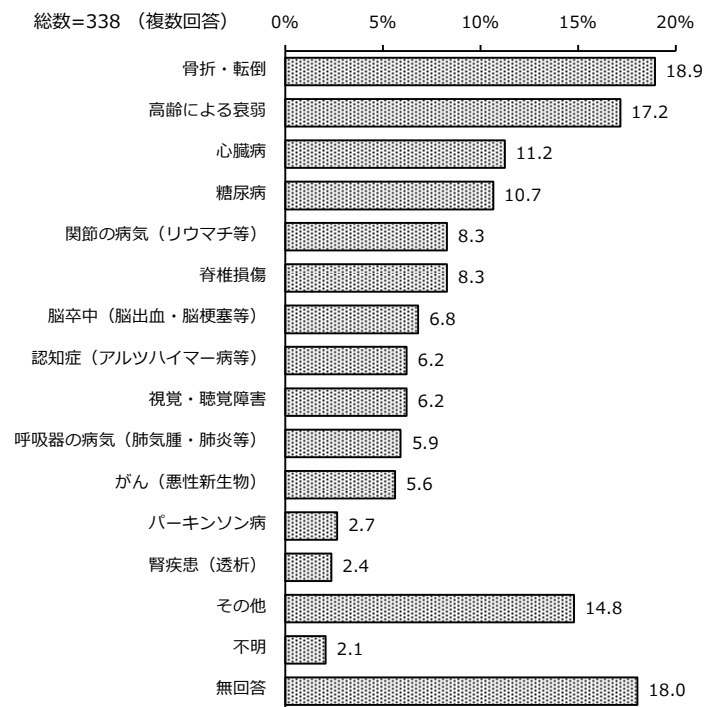


① 介護・介助が必要になった原因

【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

「骨折・転倒」が18.9%で最も多く、「高齢による衰弱」(17.2%)、「心臓病」(11.2%)、「糖尿病」(10.7%)が続きます。

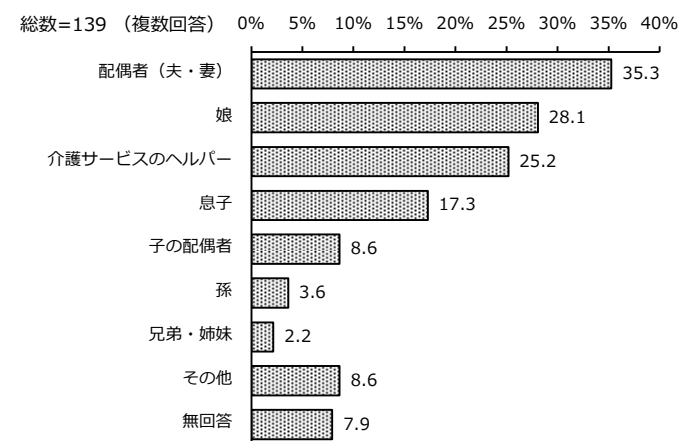


② 主な介護者・介助者

【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

② 主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)

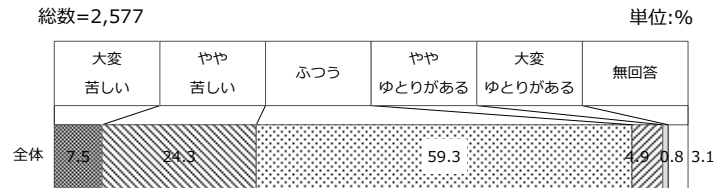
「配偶者 (夫・妻)」が35.3%で最も多く、「娘」(28.1%)、「介護サービスのヘルパー」(25.2%)、「息子」(17.3%)が続きます。



(3) 暮らし向き

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

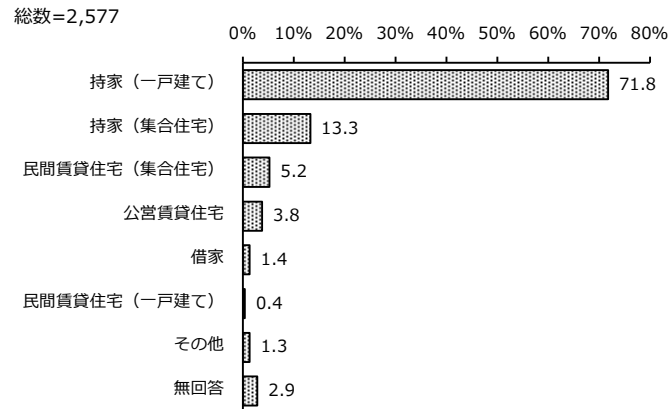
「ふつう」が59.3%で最も多く、「やや苦しい」(24.3%)、「大変苦しい」(7.5%)、「ややゆとりがある」(4.9%)が続きます。



(4) 住まい

お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

「持家（一戸建て）」が71.8%で最も多く、「持家（集合住宅）」(13.3%)、「民間賃貸住宅（集合住宅）」(5.2%)、「公営賃貸住宅」(3.8%)が続きます。

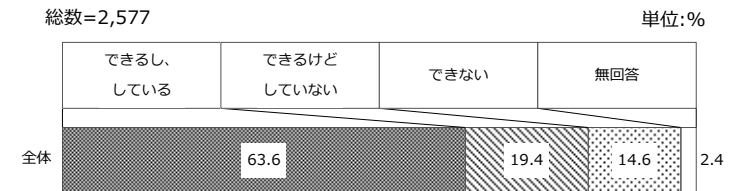


3 日常生活動作・行動

(1) 階段の手すり利用

階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか

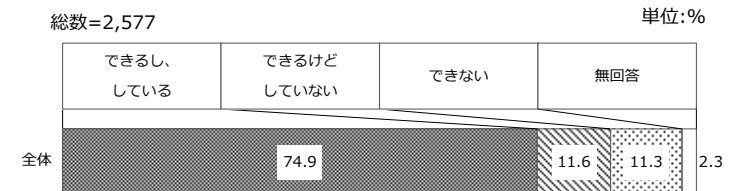
「できるし、している」が63.6%で最も多く、「できるけどしていない」(19.4%)、「できない」(14.6%)が続きます。



(2) 椅子からの立ち上がり

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

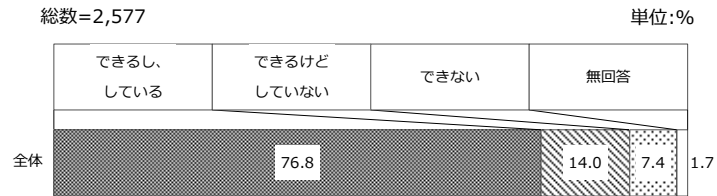
「できるし、している」が74.9%で最も多く、「できるけどしていない」(11.6%)、「できない」(11.3%)が続きます。



(3) 歩行の継続

15分位続けて歩いていますか

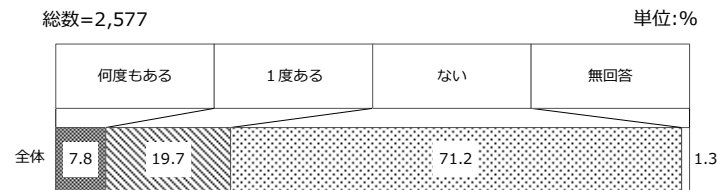
「できるし、している」が76.8%で最も多く、「できるけどしていない」(14.0%)、「できない」(7.4%)が続きます。



(4) 転倒

過去1年間に転んだ経験がありますか

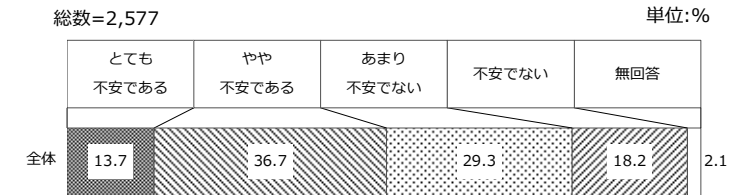
「ない」が71.2%で最も多く、「1度ある」(19.7%)、「何度もある」(7.8%)が続きます。



(5) 転倒の不安

転倒に対する不安は大きいですか

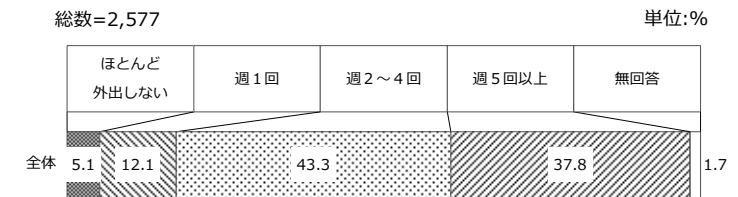
「やや不安である」が36.7%で最も多く、「あまり不安でない」(29.3%)、「不安でない」(18.2%)、「とても不安である」(13.7%)が続きます。



(6) 週1回以上の外出

週に1回以上は外出していますか

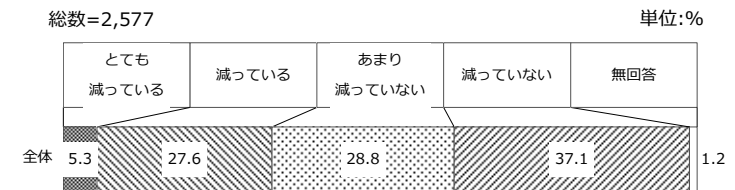
「週2~4回」が43.3%で最も多く、「週5回以上」(37.8%)、「週1回」(12.1%)、「ほとんど外出しない」(5.1%)が続きます。



(7) 外出回数の減少

昨年と比べて外出の回数が減っていますか

「減っていない」が37.1%で最も多く、「あまり減っていない」(28.8%)、「減っている」(27.6%)、「とても減っている」(5.3%)が続きます。



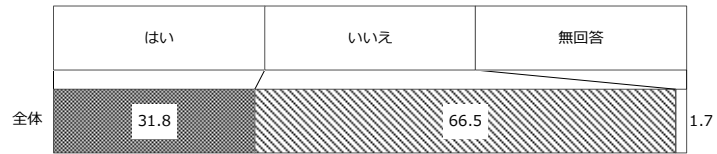
(8) 外出の抑制

外出を控えていますか

「いいえ」は66.5%、「はい」は31.8%となっています。

総数=2,577

単位:%



① 介護・介助が必要になった原因

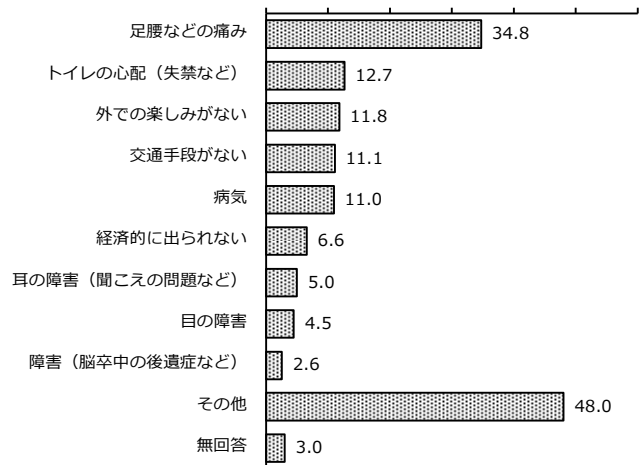
【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

「足腰などの痛み」が34.8%で最も多く、「トイレの心配(失禁など)」(12.7%)、「外での楽しみがない」(11.8%)、「交通手段がない」(11.1%)が続きます。

総数=820 (複数回答)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%



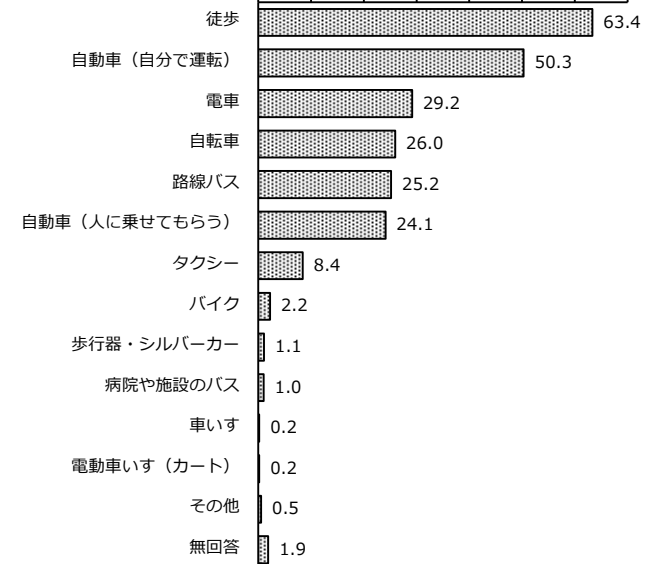
(9) 外出の移動手段

外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)

「徒歩」が63.4%で最も多く、「自動車(自分で運転)」(50.3%)、「電車」(29.2%)、「自転車」(26.0%)が続きます。

総数=2,577 (複数回答)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%

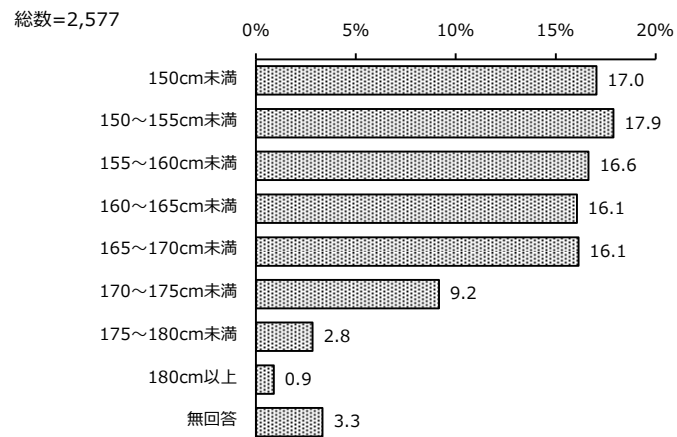


#### 4 食事

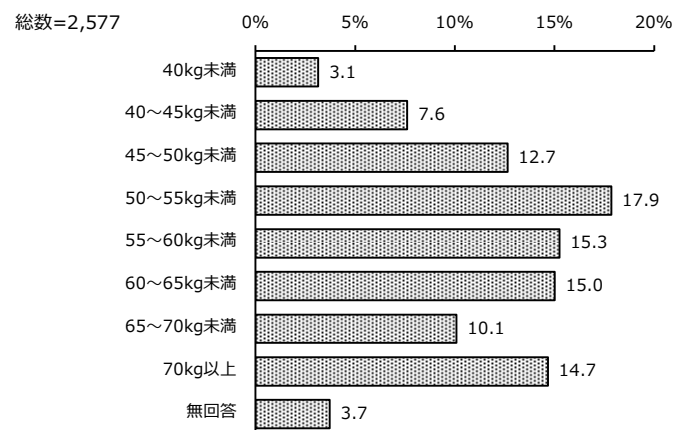
##### (1) 身長・体重

身長 cm 体重 kg

「150～155cm 未満」が17.9%で最も多く、「150cm 未満」(17.0%)、「155～160cm 未満」(16.6%)、「165～170cm 未満」(16.1%)が続きます。



「50～55kg 未満」が17.9%で最も多く、「55～60kg 未満」(15.3%)、「60～65kg 未満」(15.0%)、「70kg 以上」(14.7%)が続きます。

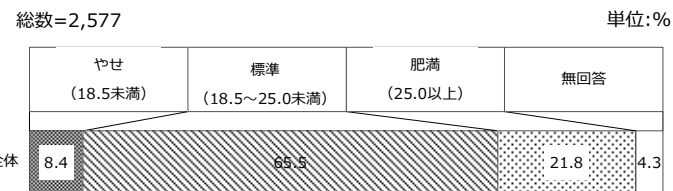


##### ※ BMI

BMI (Body Mass Index) とは

身長・体重を用いて、 $[\text{体重}(\text{kg})] \div [\text{身長}(\text{m})]^2$ で算出される値のことをBMIといいます。これにより、肥満や低体重(やせ)の判定を行います。日本肥満学会の定めた基準では18.5未満が「低体重(やせ)」、18.5以上25未満が「普通体重」、25以上が「肥満」とされています。

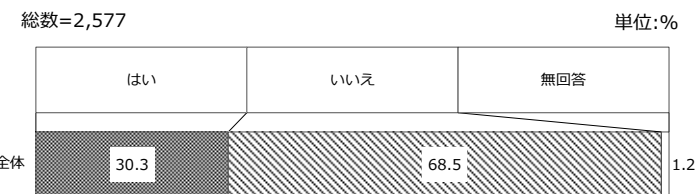
「標準(18.5～25.0 未満)」が65.5%で最も多く、「肥満(25.0 以上)」(21.8%)、「やせ(18.5 未満)」(8.4%)が続きます。



##### (2) 咀嚼具合

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

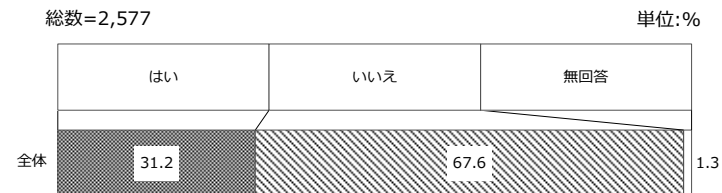
「いいえ」は68.5%、「はい」は30.3%となっています。



##### (3) 嚥下障害

お茶や汁物等でむせることがありますか

「いいえ」は67.6%、「はい」は31.2%となっています。



(3) 口の渇き

口の渇きが気になりますか

「いいえ」は71.1%、「はい」は27.4%となっています。

総数=2,577

単位:%



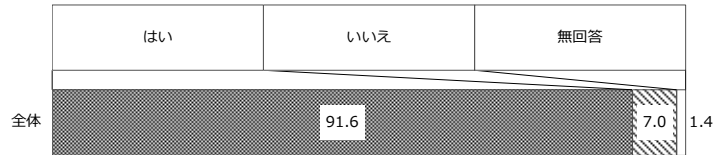
(4) 歯磨き

歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

「はい」は91.6%、「いいえ」は7.0%となっています。

総数=2,577

単位:%



(5) 歯の数

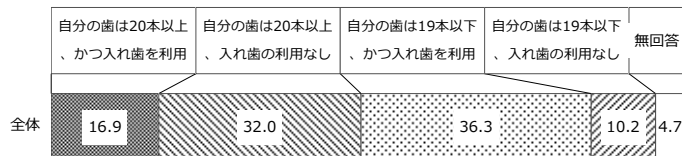
歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が36.3%で最も多く、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(32.0%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(16.9%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(10.2%)が続きます。

総数=2,577

単位:%



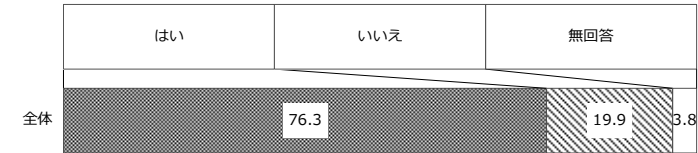
① 噛み合わせ

①噛み合わせは良いですか

「はい」は76.3%、「いいえ」は19.9%となっています。

総数=2,577

単位:%



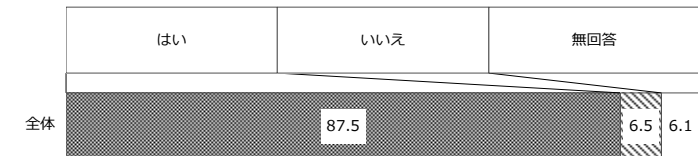
② 噛み合わせ

②【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか

「はい」は87.5%、「いいえ」は6.5%となっています。

総数=1,371

単位:%



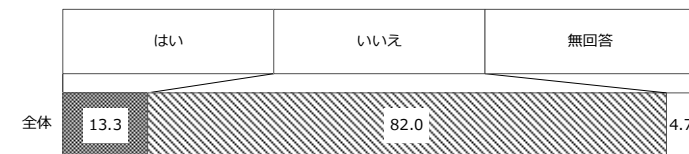
(7) 体重減少

6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

「いいえ」は82.0%、「はい」は13.3%となっています。

総数=2,577

単位:%





(8) 食事をとる機会

どなたかと食事をとる機会がありますか

「毎日ある」が55.9%で最も多く、「月に何度かある」(11.8%)、「ほとんどない」(10.6%)、「年に何度かある」(10.4%)が続きます。

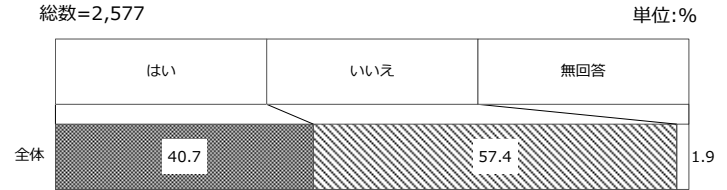


5 毎日の生活

(1) 物忘れ

物忘れが多いと感じますか

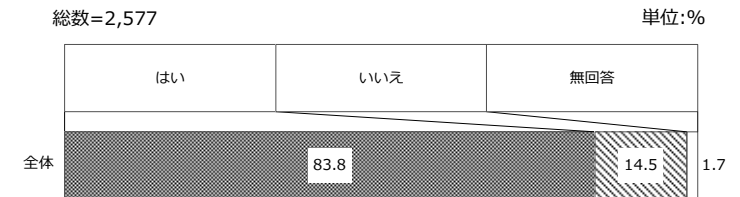
「いいえ」は57.4%、「はい」は40.7%となっています。



(2) 電話

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

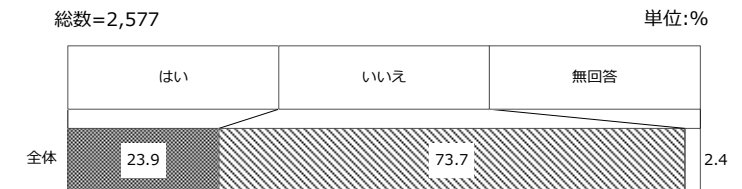
「はい」は83.8%、「いいえ」は14.5%となっています。



(3) 日にちの自覚

今日が何月何日かわからない時がありますか

「いいえ」は73.7%、「はい」は23.9%となっています。



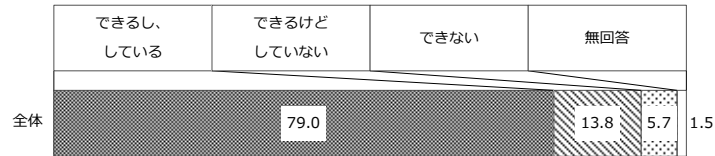
(4) 1人での外出

バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

「できるし、している」が79.0%で最も多く、「できるけどしていない」(13.8%)、「できない」(5.7%)が続きます。

総数=2,577

単位:%



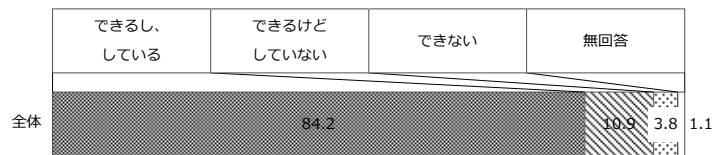
(5) 自分の買物

自分で食品・日用品の買物をしていますか

「できるし、している」が84.2%で最も多く、「できるけどしていない」(10.9%)、「できない」(3.8%)が続きます。

総数=2,577

単位:%



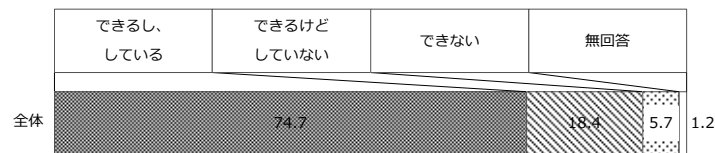
(6) 食事の用意

自分で食事の用意をしていますか

「できるし、している」が74.7%で最も多く、「できるけどしていない」(18.4%)、「できない」(5.7%)が続きます。

総数=2,577

単位:%



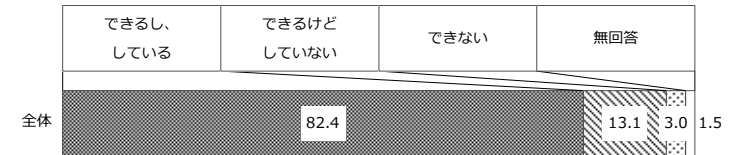
(7) 請求書の支払い

自分で請求書の支払いをしていますか

「できるし、している」が82.4%で最も多く、「できるけどしていない」(13.1%)、「できない」(3.0%)が続きます。

総数=2,577

単位:%



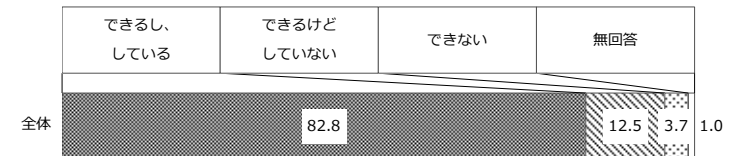
(8) 預貯金の出し入れ

自分で預貯金の出し入れをしていますか

「できるし、している」が82.8%で最も多く、「できるけどしていない」(12.5%)、「できない」(3.7%)が続きます。

総数=2,577

単位:%



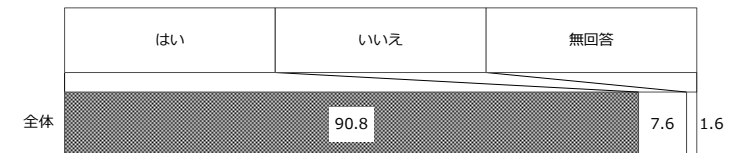
(9) 書類の記入

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

「はい」は90.8%、「いいえ」は7.6%となっています。

総数=2,577

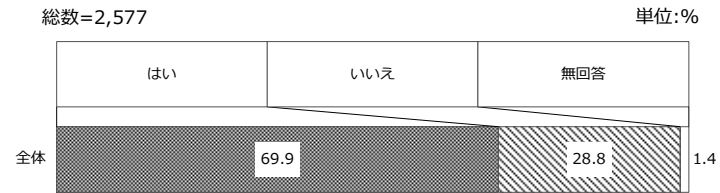
単位:%



(10) 新聞

新聞を読んでいますか

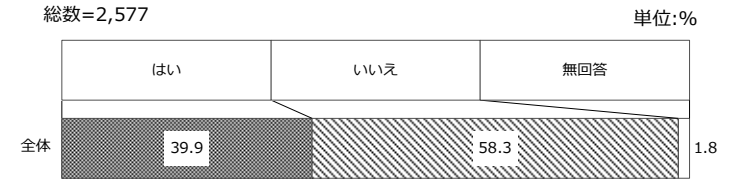
「はい」は69.9%、「いいえ」は28.8%となっています。



(13) 友人の家の訪問

友人の家を訪ねていますか

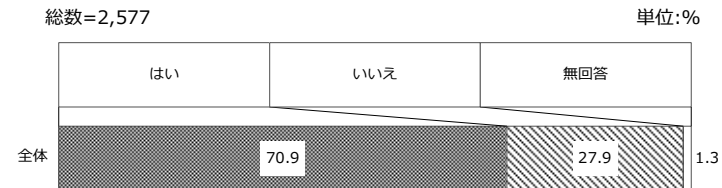
「いいえ」は58.3%、「はい」は39.9%となっています。



(11) 本・雑誌

本や雑誌を読んでいますか

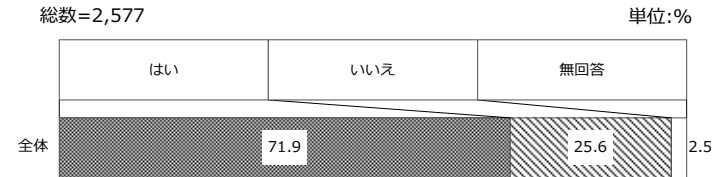
「はい」は70.9%、「いいえ」は27.9%となっています。



(14) 家族や友人の相談

家族や友人の相談にのっていますか

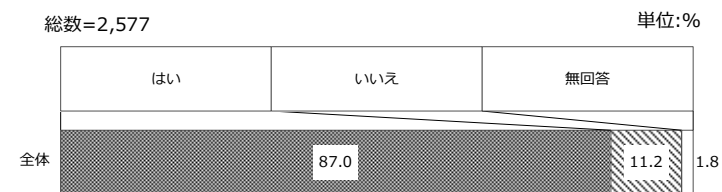
「はい」は71.9%、「いいえ」は25.6%となっています。



(12) 健康記事・番組

健康についての記事や番組に関心がありますか

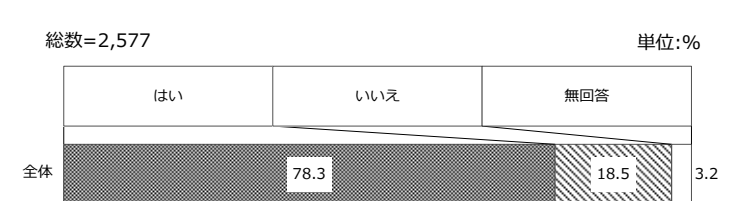
「はい」は87.0%、「いいえ」は11.2%となっています。



(15) 病人の見舞い

病人を見舞うことができますか

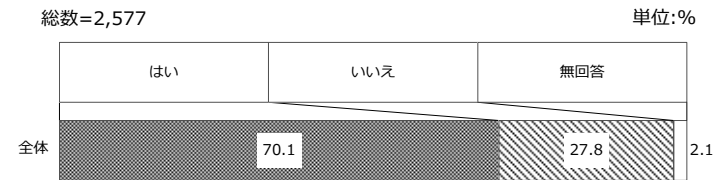
「はい」は78.3%、「いいえ」は18.5%となっています。



(16) 若い人への話しかけ

若い人に自分から話しかけることがありますか

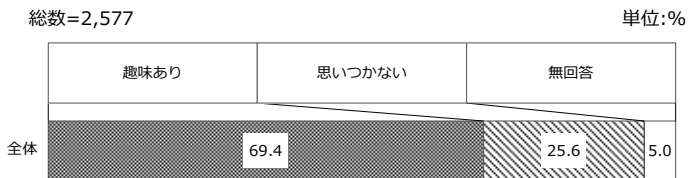
「はい」は70.1%、「いいえ」は27.8%となっています。



(17) 趣味の有無

趣味はありますか

「趣味あり」は69.4%、「思いつかない」は25.6%となっています。



(18) 生きがいの有無

生きがいはありますか

「生きがいあり」は55.8%、「思いつかない」は36.6%となっています。



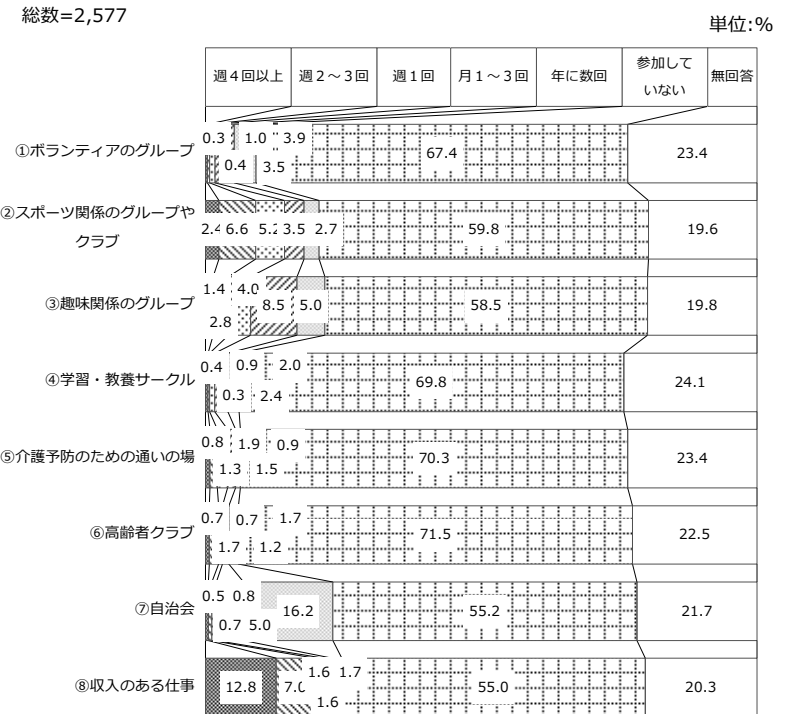
6 地域での活動

(1) 会・グループ等への参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※① - ⑧それぞれに回答してください

参加率が最も低いのは「高齢者クラブ」で「参加していない」が71.5%、それに「介護予防のための通いの場」が70.3%、「学習・教養サークル」が69.8%で続きます。逆に、「参加していない」が低く、参加率が相対的に高いのは、「収入のある仕事」で55.0%、それに「自治会」の55.2%、「趣味関係のグループ」の58.5%が続きます。



(2) 地域活動への参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

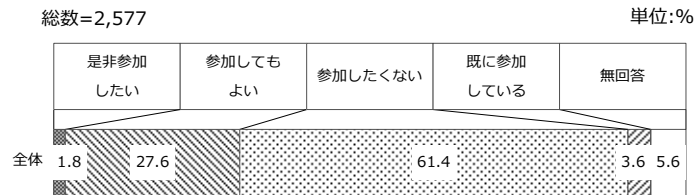
「参加してもよい」が43.5%で最も多く、「参加したくない」(40.5%)、「是非参加したい」(5.4%)が続きます。



(3) 地域活動への積極的参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

「参加したくない」が61.4%で最も多く、「参加してもよい」(27.6%)、「既に参加している」(3.6%)、「是非参加したい」(1.8%)が続きます。

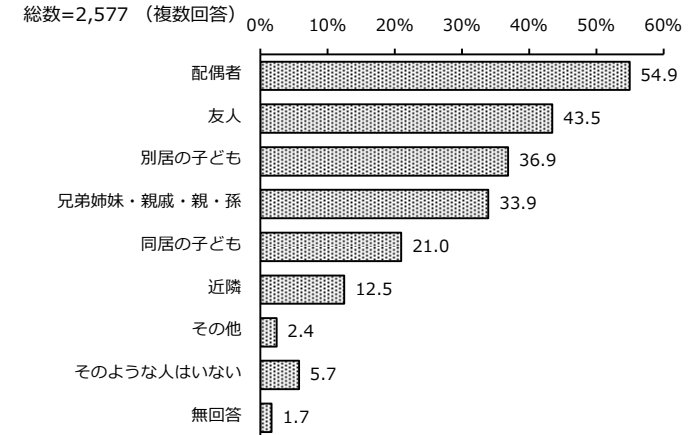


7 たすけあい

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

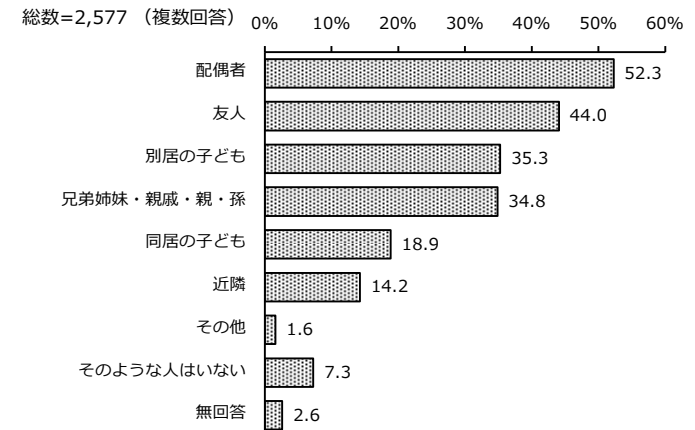
「配偶者」が54.9%で最も多く、「友人」(43.5%)、「別居の子ども」(36.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(33.9%)が続きます。



(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

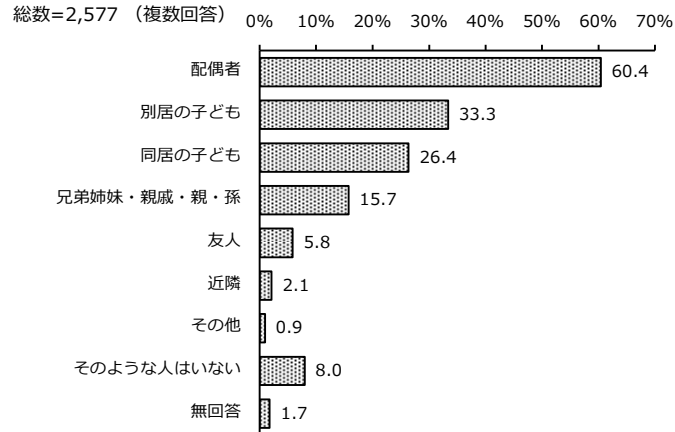
「配偶者」が52.3%で最も多く、「友人」(44.0%)、「別居の子ども」(35.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(34.8%)が続きます。



(3) 看病や世話をしてくれる人

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

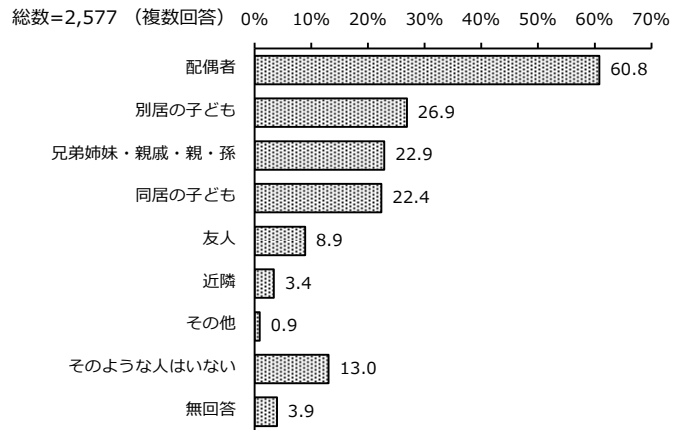
「配偶者」が60.4%で最も多く、「別居の子ども」(33.3%)、「同居の子ども」(26.4%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(15.7%)が続きます。



(4) 看病や世話をしてあげる人

反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

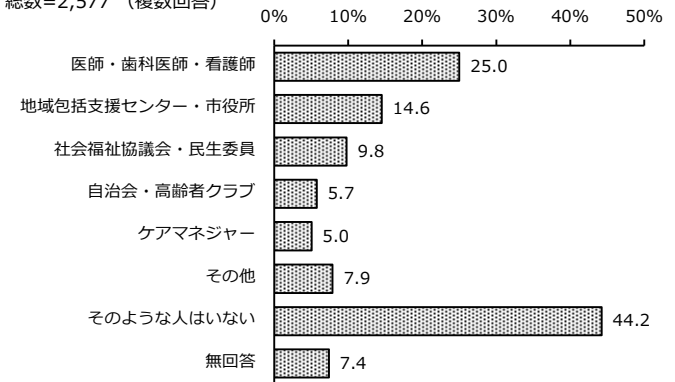
「配偶者」が60.8%で最も多く、「別居の子ども」(26.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(22.9%)、「同居の子ども」(22.4%)が続きます。



(5) 家族や友人・知人以外の相談相手

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

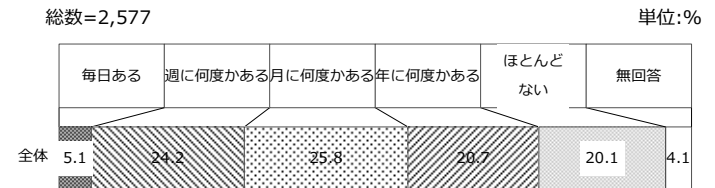
「医師・歯科医師・看護師」が25.0%で最も多く、「地域包括支援センター・市役所」(14.6%)、「社会福祉協議会・民生委員」(9.8%)、「自治会・高齢者クラブ」(5.7%)が続きます。総数=2,577 (複数回答)



(6) 友人・知人と会う頻度

友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

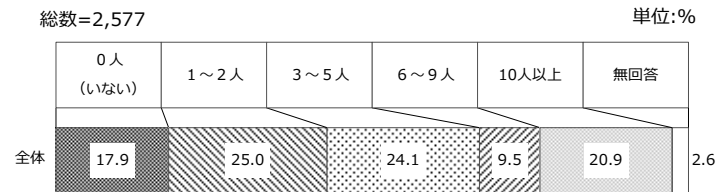
「月に何度かある」が25.8%で最も多く、「週に何度かある」(24.2%)、「年に何度かある」(20.7%)、「ほとんどない」(20.1%)が続きます。



(7) 友人・知人と会った人数

この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。  
同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

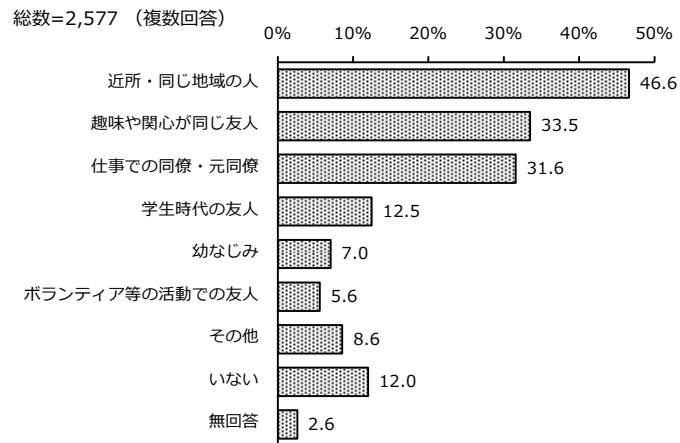
「1～2人」が25.0%で最も多く、「3～5人」(24.1%)、「10人以上」(20.9%)、「0人(いない)」(17.9%)が続きます。



(8) よく会う友人・知人との関係

よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

「近所・同じ地域の人」が46.6%で最も多く、「趣味や関心が同じ友人」(33.5%)、「仕事での同僚・元同僚」(31.6%)、「学生時代の友人」(12.5%)が続きます。

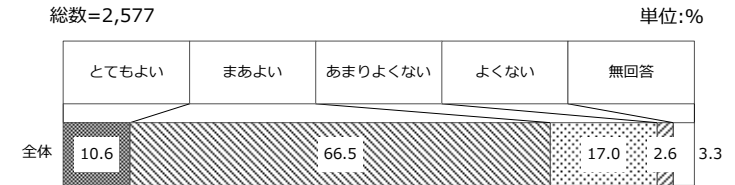


8 健康

(1) 健康状態

現在のあなたの健康状態はいかがですか

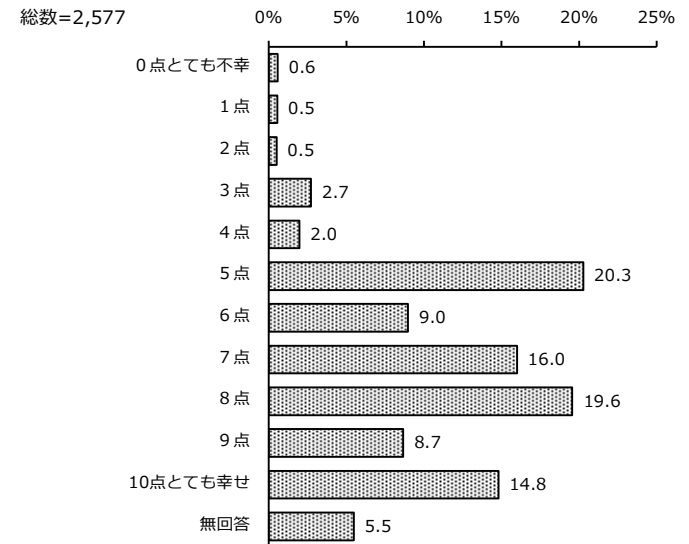
「まあよい」が66.5%で最も多く、「あまりよくない」(17.0%)、「とてもよい」(10.6%)、「よくない」(2.6%)が続きます。



(2) 地域活動への参加意向

あなたは、現在どの程度幸せですか  
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

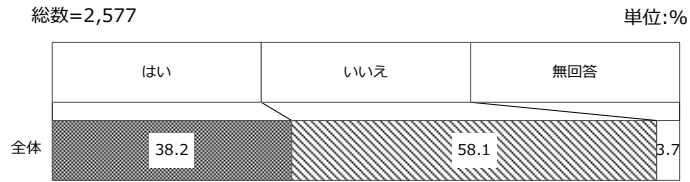
「5点」が20.3%で最も多く、「8点」(19.6%)、「7点」(16.0%)、「10点とても幸せ」(14.8%)が続きます。なお、平均値は7.1でした。



(3) ゆうつな気持ちの有無

この1か月間、気分が沈んだり、ゆうつな気持ちになったりすることがありましたか

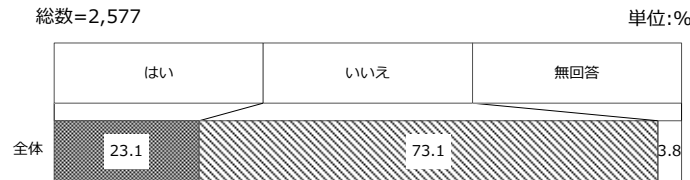
「いいえ」は58.1%、「はい」は38.2%となっています。



(4) 興味がわからない、心から楽しめない感じの有無

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

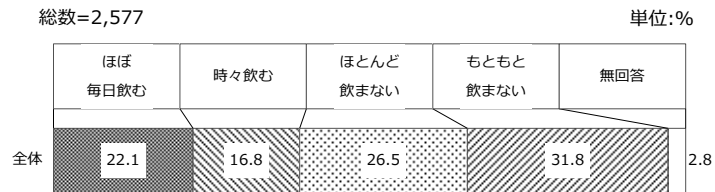
「いいえ」は73.1%、「はい」は23.1%となっています。



(5) 飲酒の有無

お酒は飲みますか

「もともと飲まない」が31.8%で最も多く、「ほとんど飲まない」(26.5%)、「ほぼ毎日飲む」(22.1%)、「時々飲む」(16.8%)が続きます。



(6) 喫煙の有無

タバコは吸っていますか

「もともと吸っていない」が58.4%で最も多く、「吸っていたがやめた」(29.6%)、「ほぼ毎日吸っている」(7.9%)、「時々吸っている」(1.8%)が続きます。

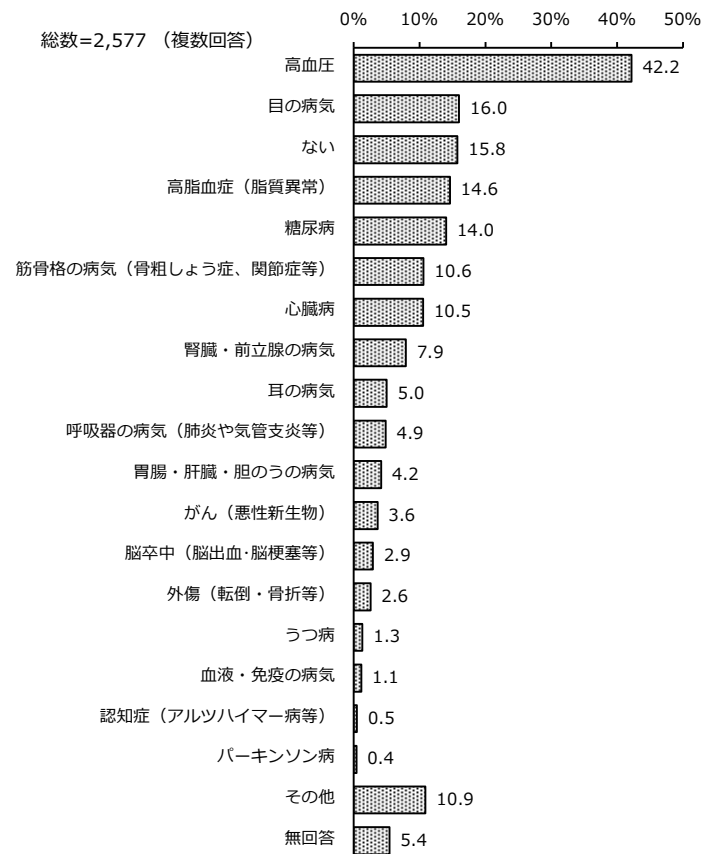




(7) 治療中または後遺症のある病気の有無

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

「高血圧」が42.2%で最も多く、「目の病気」（16.0%）、「ない」（15.8%）、「高脂血症（脂質異常）」（14.6%）が続きます。

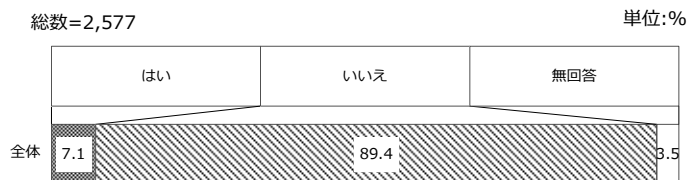


9 認知症

(1) 認知症の症状がある人の存否

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

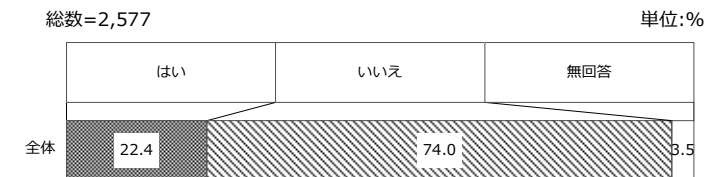
「いいえ」は89.4%、「はい」は7.1%となっています。



(2) 相談窓口の認知

認知症に関する相談窓口を知っていますか

「いいえ」は74.0%、「はい」は22.4%となっています。

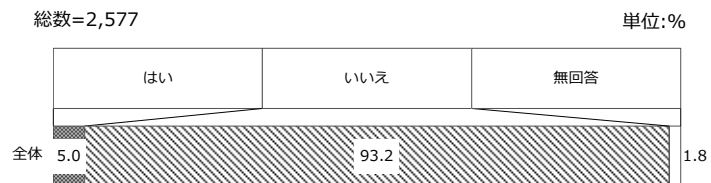


## 10 介護サービスと住まいの意向

### (1) 介護サービス利用の有無

あなたは、介護保険の介護サービスを利用していますか

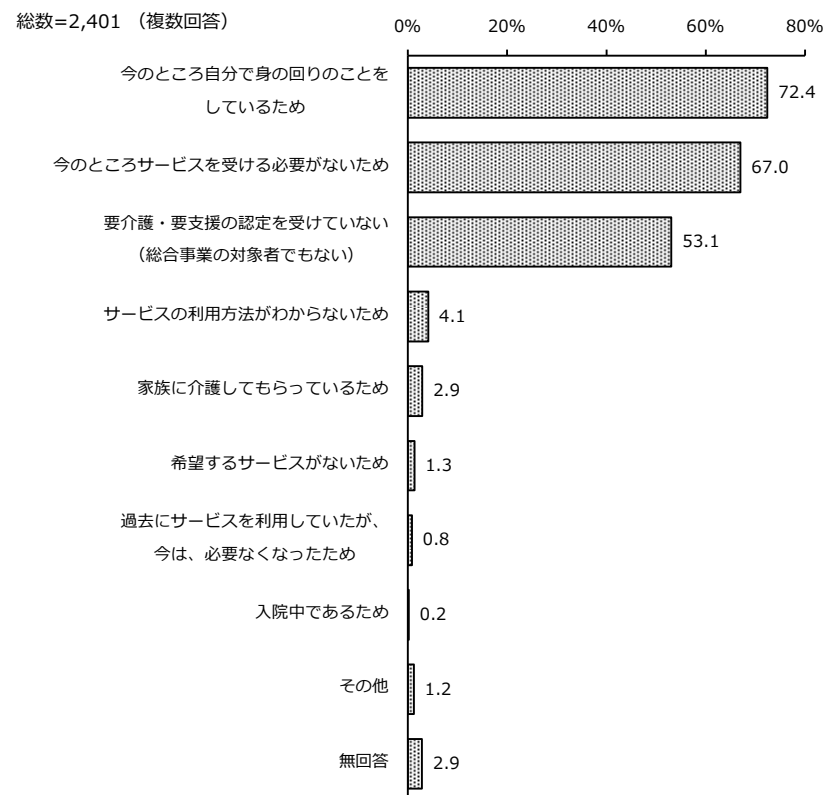
「いいえ」は93.2%、「はい」は5.0%となっています。



### ① 利用していない理由

【上の設問で「2. いいえ」を選んだ方のみ】  
 (1-2) 現在、介護サービスを利用していない理由は何ですか (あてはまるものすべてに○)

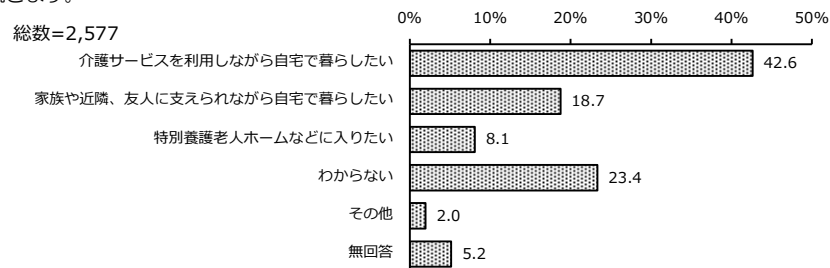
「今のところ自分で身の回りのことをしているため」が72.4%で最も多く、「今のところサービスを受ける必要がないため」(67.0%)、「要介護・要支援の認定を受けていない (総合事業の対象者でもない)」(53.1%)、「サービスの利用方法がわからないため」(4.1%)が続きます。



(2) 希望介護形態

介護について、あなたはどのような希望をお持ちですか（〇は1つ）

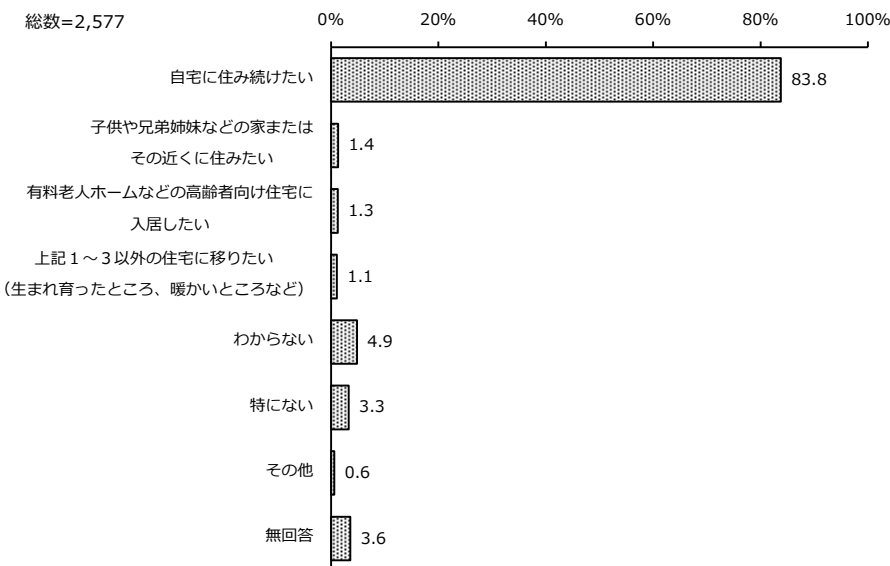
「介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」が42.6%で最も多く、「家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい」（18.7%）、「特別養護老人ホームなどに入りたい」（8.1%）が続きます。



(3) 元気なうちの生活形態

あなたは、元気なうちは、どのようにしたいと思いますか（〇は1つ）

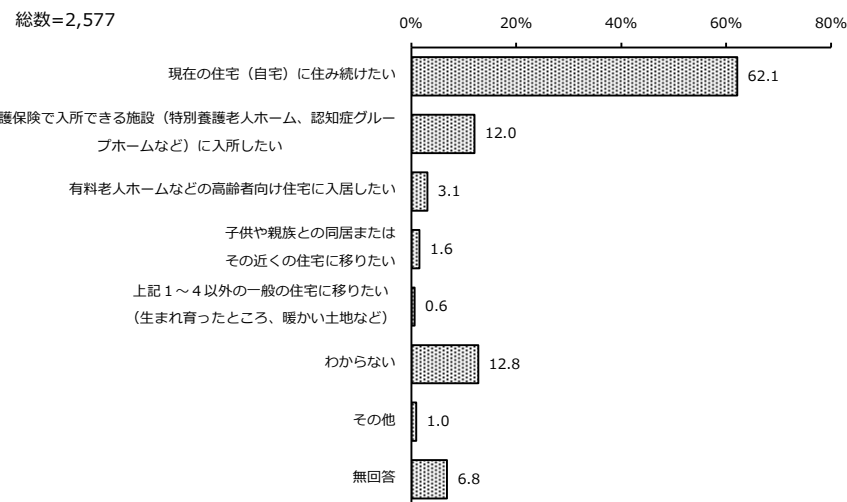
「自宅に住み続けたい」が83.8%で最も多く、「子供や兄弟姉妹などの家またはその近くに住みたい」（1.4%）、「有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい」（1.3%）が続きます。



(4) 介護が必要になったときの生活形態

あなたは、介護が必要になったときは、どのようにしたいと思いますか（〇は1つ）

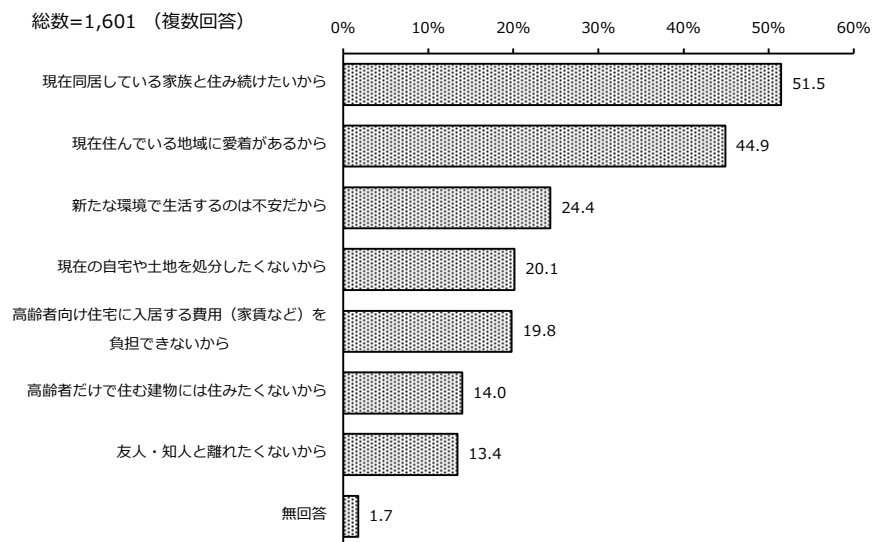
「現在の住宅（自宅）に住み続けたい」が62.1%で最も多く、「介護保険で入所できる施設（特別養護老人ホーム、認知症グループホームなど）に入所したい」（12.0%）、「有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい」（3.1%）、「子供や親族との同居またはその近くの住宅に移りたい」（1.6%）が続きます。



① 現在の住宅に住み続けたい理由

上の設問で「現在の住宅（自宅）に住み続けたい」を選んだ方へ。自宅に住み続けたい理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）

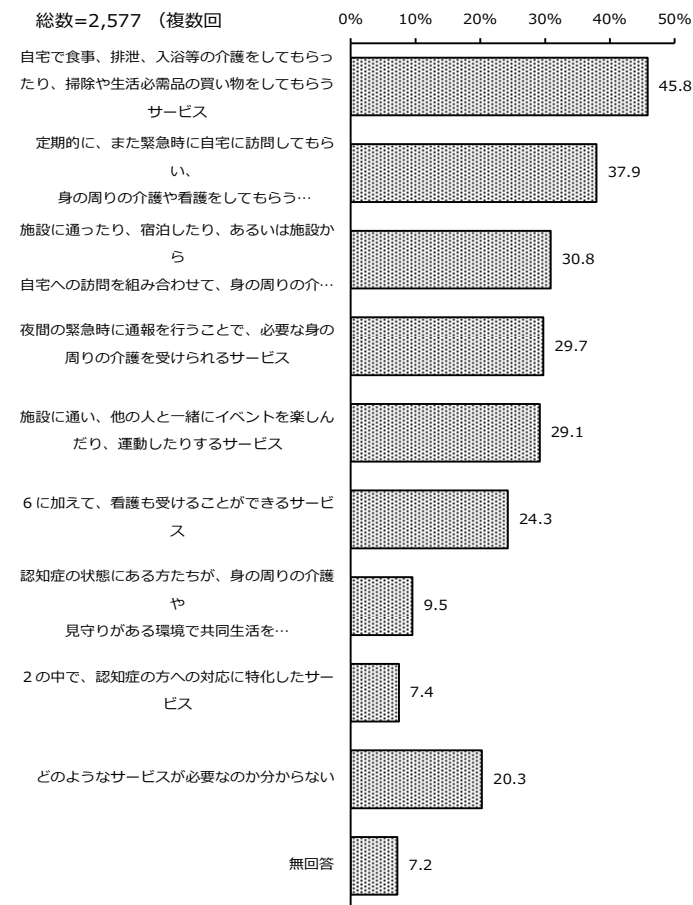
「現在同居している家族と住み続けたいから」が51.5%で最も多く、「現在住んでいる地域に愛着があるから」（44.9%）、「新たな環境で生活するのは不安だから」（24.4%）、「現在の自宅や土地を処分したくないから」（20.1%）が続きます。



(5) 自宅で暮らし続けるために必要なサービス

あなたは、介護を受けながら自宅で自分らしく暮らしていくためには、どのようなサービスが必要だと思いますか（あてはまるものすべてに○）

「自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス」が45.8%で最も多く、「定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）」（37.9%）、「施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせ、身の周りの介護を受けることができるサービス」（30.8%）、「夜間の緊急時に通報を行うことで、必要な身の周りの介護を受けられるサービス」（29.7%）が続きます。



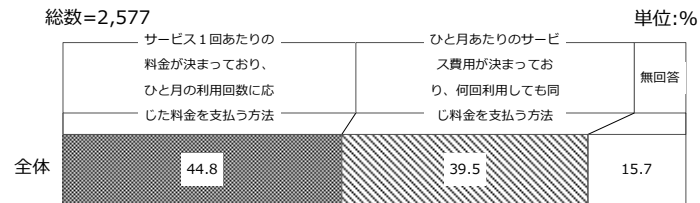
(6) 地域活動への参加意向

上の設問のほかで、あなたが必要だと思うサービスはありますか。(自由記入)

(7) 介護サービス料金支払方法

あなたは、介護サービスの料金を支払うとき、次のどの方法が望ましいと考えますか (〇は1つ)

「サービス1回あたりの料金が決まっており、ひと月の利用回数に応じた料金を支払う方法」は44.8%、「ひと月あたりのサービス費用が決まっており、何回利用しても同じ料金を支払う方法」は39.5%となっています。

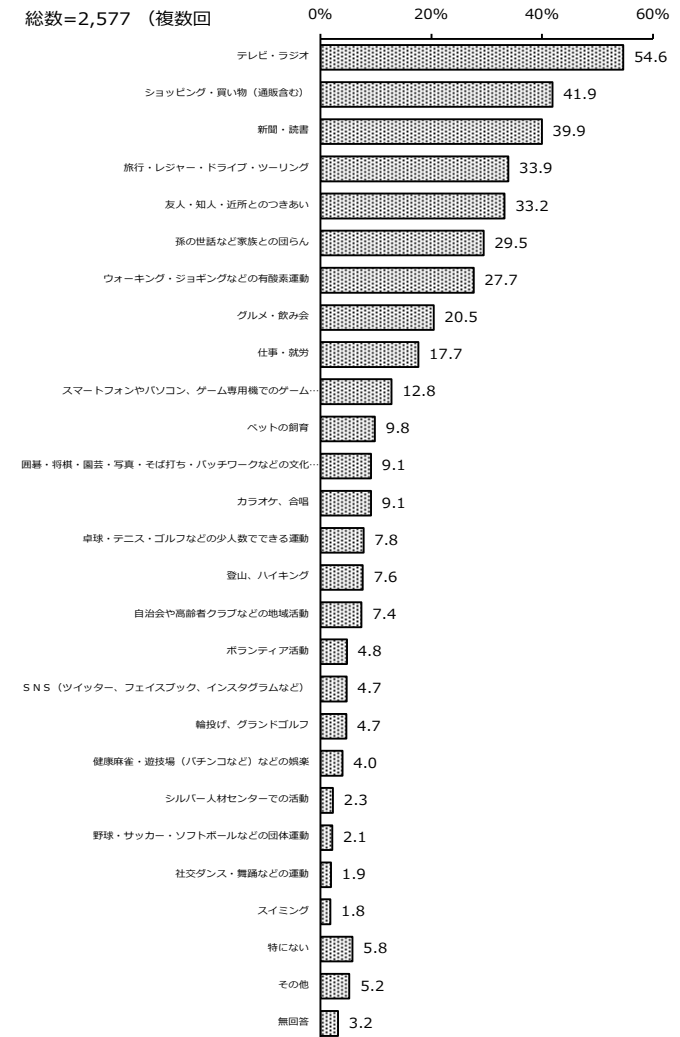


11 生きがいや充実感、週1回以上の活動状況

(1) 感じる充実感や生きがい

あなたは、現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じていますか (あてはまるものすべてに〇)

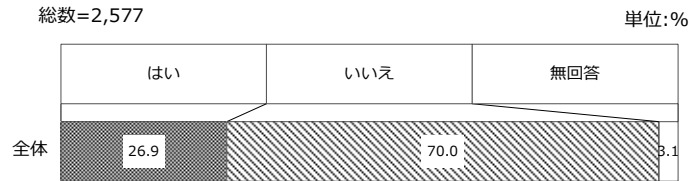
「テレビ・ラジオ」が54.6%で最も多く、「ショッピング・買い物(通販含む)」(41.9%)、「新聞・読書」(39.9%)、「旅行・レジャー・ドライブ・ツーリング」(33.9%)が続きます。



(2) 社会活動組織への所属

あなたは、週に1回位で集まるような団体、サークル、クラブなど（高齢者だけが所属しているかどうかに関りません）に所属していますか

「いいえ」は70.0%、「はい」は26.9%となっています。



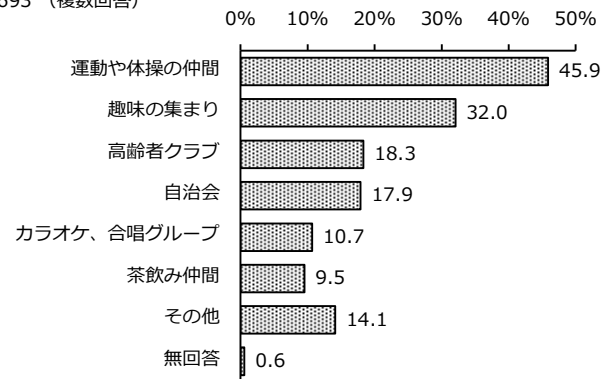
① 所属社会活動組織

【上の設問で「1. はい」とお答えした方のみ】

(2-2) どんな団体、活動ですか(あてはまるものすべてに○)

「運動や体操の仲間」が45.9%で最も多く、「趣味の集まり」(32.0%)、「高齢者クラブ」(18.3%)、「自治会」(17.9%)が続きます。

総数=693 (複数回答)

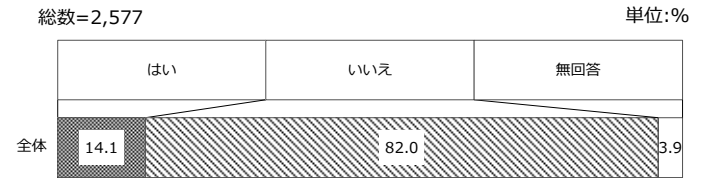


12 ボランティア活動

(1) ボランティア活動の実践

あなたは、ここ最近、ボランティア活動をしたことがありますか

「いいえ」は82.0%、「はい」は14.1%となっています。



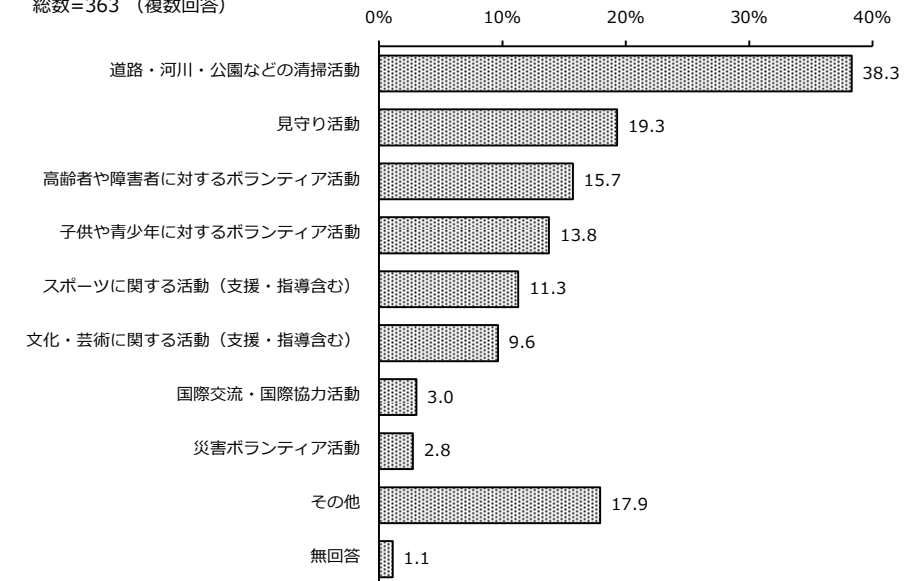
① 具体的活動

【上の設問で「1. はい」を選んだ方のみ】

どんな活動ですか(あてはまるものすべてに○)

「道路・河川・公園などの清掃活動」が38.3%で最も多く、「見守り活動」(19.3%)、「高齢者や障害者に対するボランティア活動」(15.7%)、「子供や青少年に対するボランティア活動」(13.8%)が続きます。

総数=363 (複数回答)



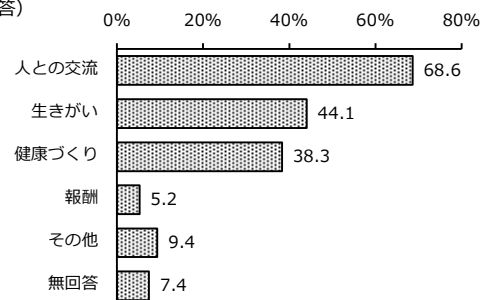
② 活動を行う際に望むこと

【上の設問で「1. はい」を選んだ方のみ】

(1-3) あなたがボランティア活動を行う際に望むことは何ですか  
(あてはまるものすべてに○)

「人との交流」が68.6%で最も多く、「生きがい」(44.1%)、「健康づくり」(38.3%)、「報酬」(5.2%)が続きます。

総数=363 (複数回答)



13 介護ボランティア制度

(1) 介護ボランティアポイントの使い道

市では、高齢者へのボランティア活動を行った場合、買い物などに利用できるポイントが得られる登録制の介護ボランティア制度(※)導入を検討しています。

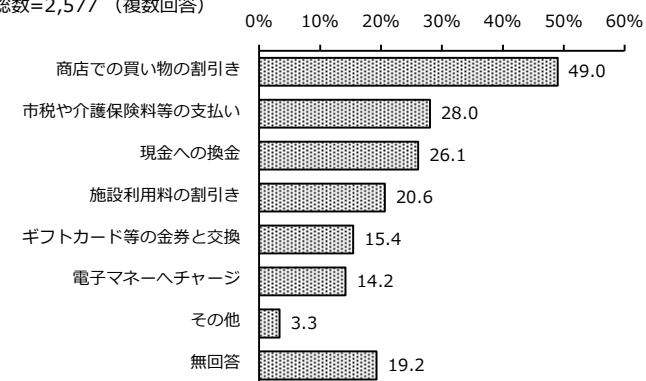
※介護ボランティア制度とは、介護支援に関わるボランティア活動(高齢者の話し相手や、見守り活動、外出の付き添い、施設での軽作業等)を行った高齢者に対して、活動実績に応じてお金に変えることが可能なポイントが与えられる制度で、施設の利用券や買い物などに利用できるものです。

地域に貢献することで喜びを感じながら、活動される方ご自身の健康維持にもつながります。活動内容や、ポイントで何が可能となるかは、実施している自治体によって様々です。

ボランティア活動によって得られるポイントについて、あなたはどのような使いみちがあったら良いと思いますか(あてはまるものすべてに○)

「商店での買い物の割引」が49.0%で最も多く、「市税や介護保険料等の支払い」(28.0%)、「現金への換金」(26.1%)、「施設利用料の割引」(20.6%)が続きます。

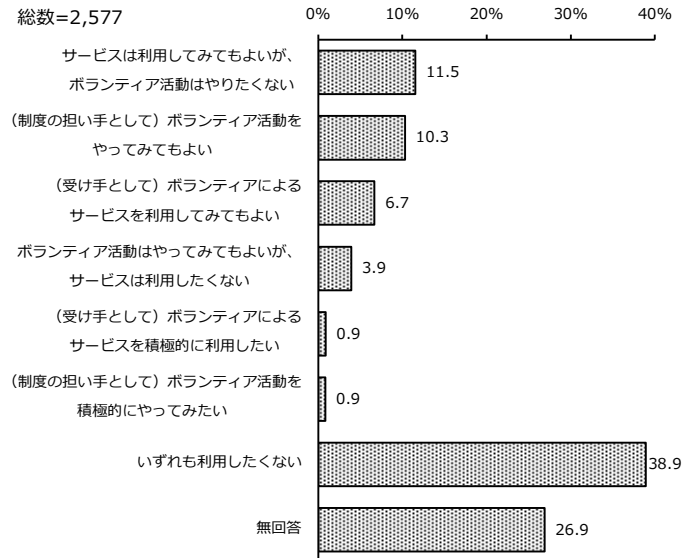
総数=2,577 (複数回答)



(2) 介護ボランティア活動・利用意向

あなたは、介護ボランティアとして登録して活動してみたい、またはボランティアによるサービスを利用してみたいですか（あてはまるものに○）

「サービスは利用してみてもよいが、ボランティア活動はやりたくない」が11.5%で最も多く、「(制度の担い手として) ボランティア活動をやってみてもよい」(10.3%)、「(受け手として) ボランティアによるサービスを利用してみたい」(6.7%)、「ボランティア活動はやってみてもよいが、サービスは利用したくない」(3.9%)が続きます。

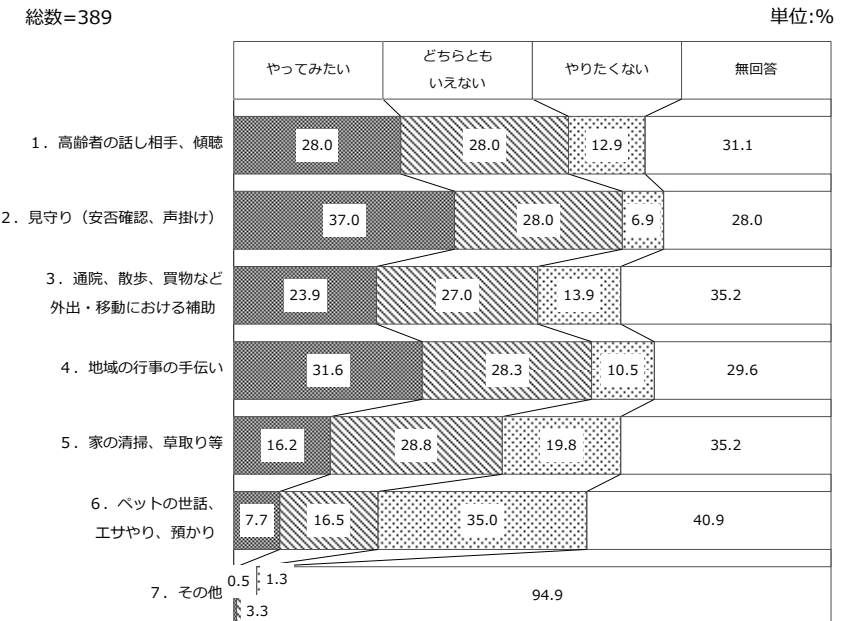


① やってみたい具体的活動

「(制度の担い手として) ボランティア活動を積極的にやってみたい」、「(制度の担い手として) ボランティア活動をやってみてもよい」、「ボランティア活動はやってみてもよいが、サービスは利用したくない」を選んだ方にお聞きします。やってみたい介護ボランティアの内容はありますか（あてはまるものに○）

【在宅の高齢者へのボランティア活動】

「やってみたい」では「見守り（安否確認、声掛け）」「地域の行事の手伝い」が30%を超えて多く、「やりたくない」では「ペットの世話、エサやり、預かり」(35.0%)、「家の清掃、草取り等」(19.8%)が多くなっています。



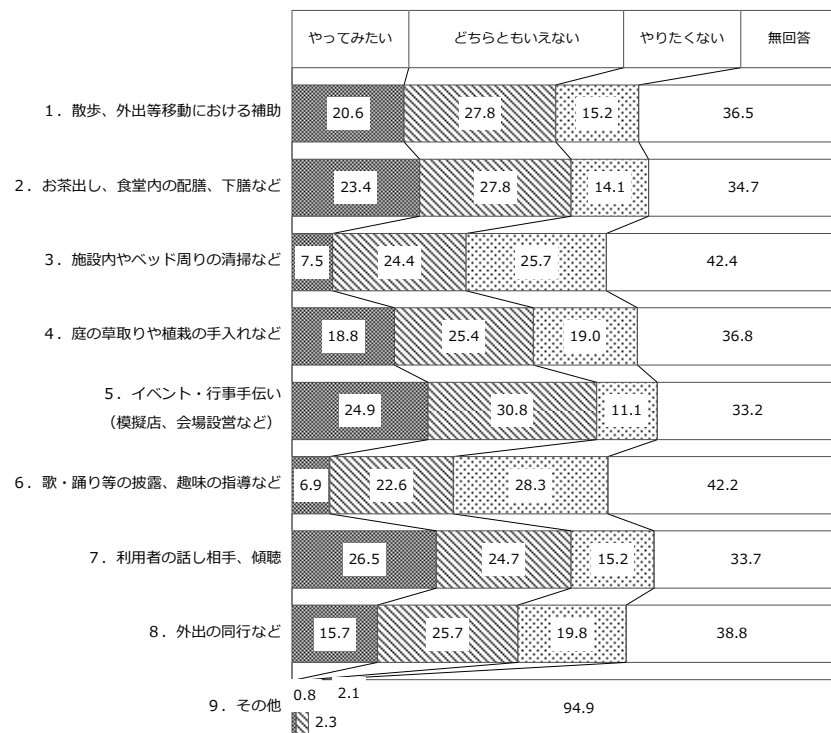


【介護施設でのボランティア活動】

「やってみたい」では「利用者の話し相手、傾聴」(26.5%)、「イベント・行事手伝い(模擬店、会場設営など)」(24.9%) などが多く、「やりたくない」では「歌・踊り等の披露、趣味の指導など」(28.3%)、「施設内やベッド周りの清掃など」(25.7%) が多くなっています。

総数=389

単位:%

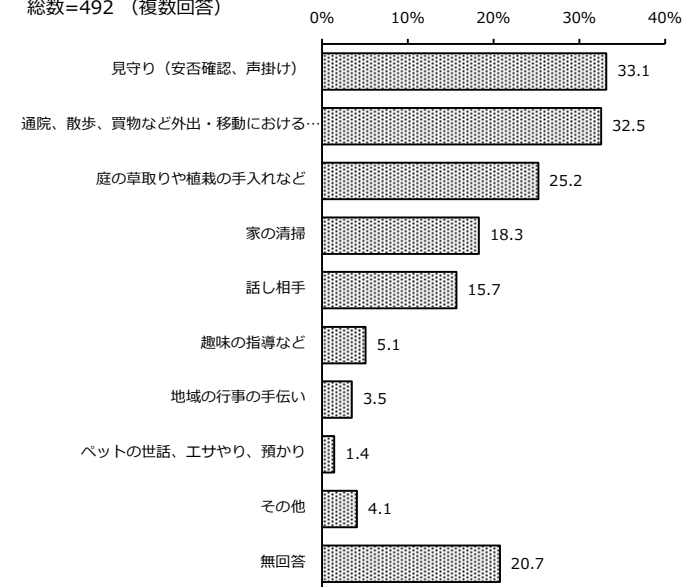


② やってほしい具体的な活動

「(受け手として) ボランティアによるサービスを積極的に利用したい」、「(受け手として) ボランティアによるサービスを利用してみたい」、「サービスは利用してみたいが、ボランティア活動はやりたくない」を選んだ方にお聞きします。ボランティアにやってほしいことはありますか(あてはまるものすべてに○)

「見守り(安否確認、声掛け)」が33.1%で最も多く、「通院、散歩、買物など外出・移動における補助」(32.5%)、「庭の草取りや植栽の手入れなど」(25.2%)、「家の清掃」(18.3%)が続きます。

総数=492 (複数回答)

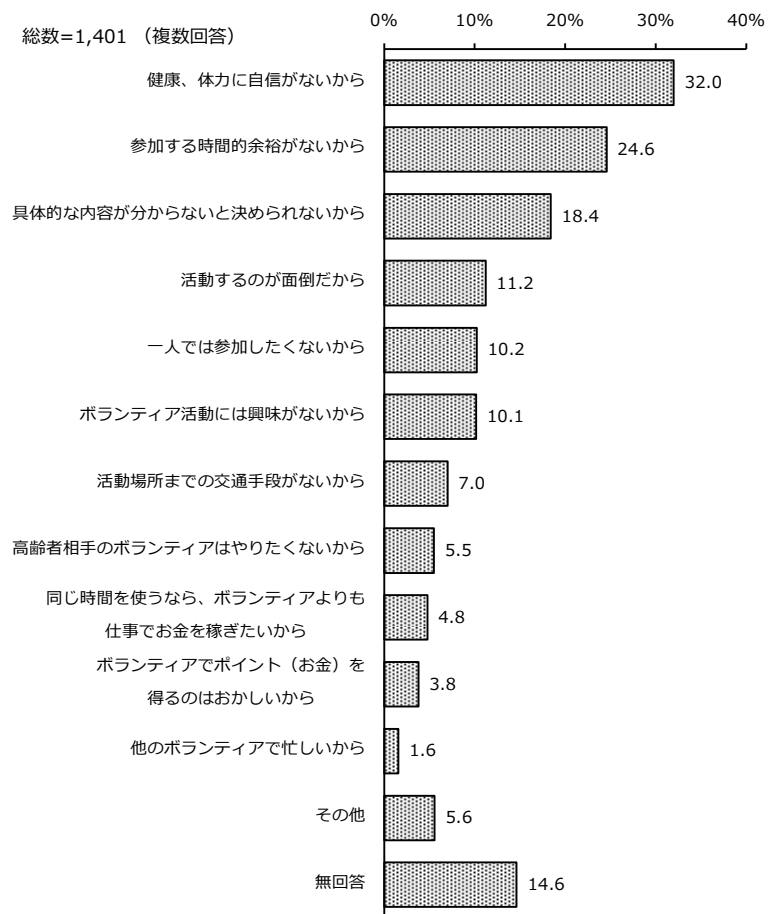


③ やってみたい具体的活動

「ボランティア活動はやってみてもよいが、サービスは利用したくない」、「サービスは利用してみてもよいが、ボランティア活動はやりたくない」、「いずれも利用したくない」を選んだ方にお聞きします。活動したくない、または利用したくない理由は、次のうちどれですか（〇はそれぞれ3つまで）

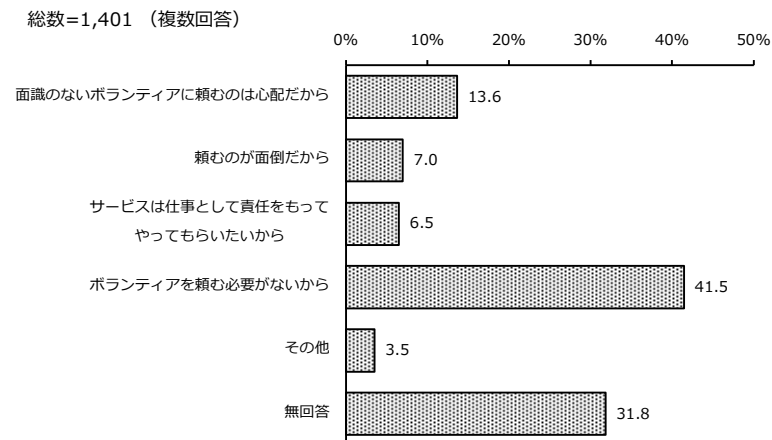
【介護ボランティアの担い手として活動したくない理由】

「健康、体力に自信がないから」が32.0%で最も多く、「参加する時間的余裕がないから」（24.6%）、「具体的な内容が分からないと決められないから」（18.4%）、「活動するのが面倒だから」（11.2%）が続きます。



【介護ボランティアにサービスを頼みたくない理由】

「面識のないボランティアに頼むのは心配だから」が13.6%で最も多く、「頼むのが面倒だから」（7.0%）、「サービスは仕事として責任をもってやってもらいたいから」（6.5%）が続きます。

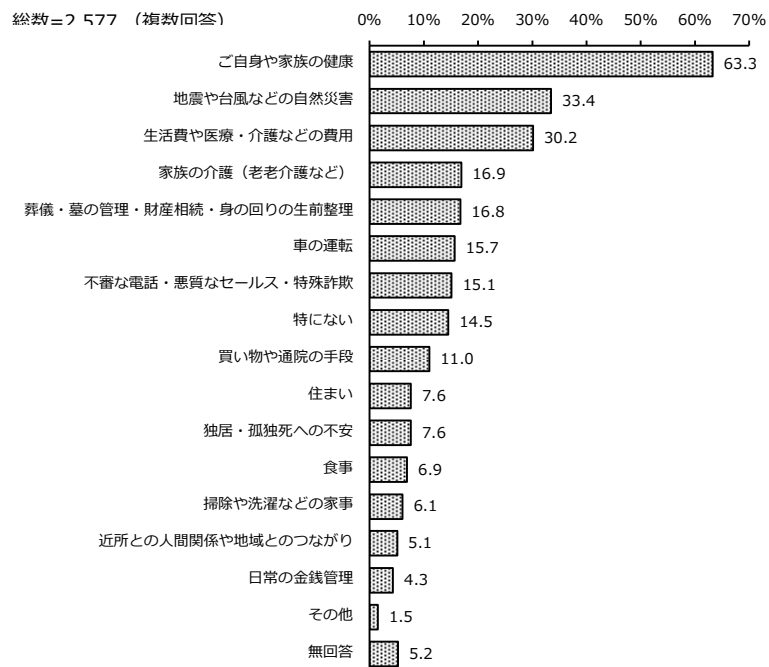


## 14 日常生活での不安・心配

### (1) 日常生活での不安・心配内容

あなたは、日常生活の中で不安を感じたり心配になったりすることがありますか  
(あてはまるものすべてに○)

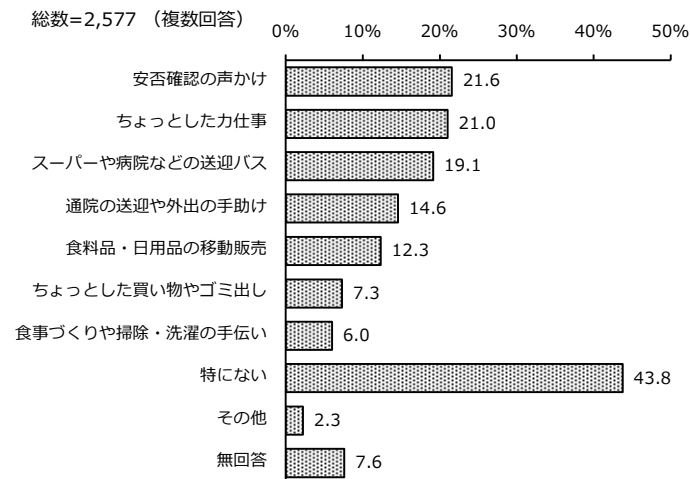
「ご自身や家族の健康」が63.3%で最も多く、「地震や台風などの自然災害」(33.4%)、「生活費や医療・介護などの費用」(30.2%)、「家族の介護(老老介護など)」(16.9%)が続きます。



### (2) 助かる手助け

現在のお住まいで生活を続けていく上で、地域でどのような手助けがあれば助かると思いますか(あてはまるものすべてに○)

「安否確認の声かけ」が21.6%で最も多く、「ちょっとした力仕事」(21.0%)、「スーパーや病院などの送迎バス」(19.1%)、「通院の送迎や外出の手助け」(14.6%)が続きます。

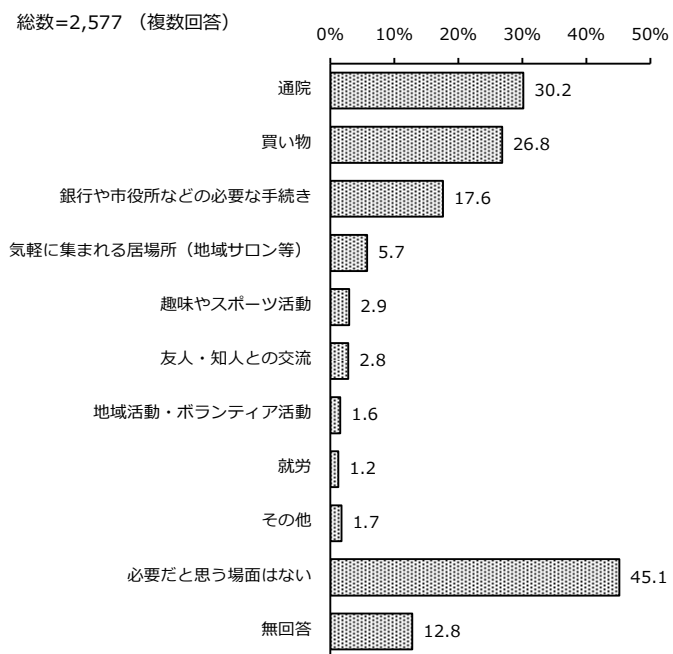


## 15 移動支援

### (1) 移動支援が必要だと思う場面

移動支援が必要だと思う場面は何ですか(あてはまるものすべてに○)

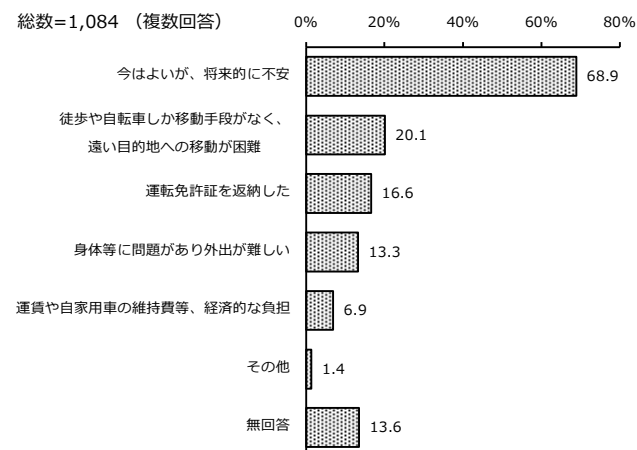
「通院」が30.2%で最も多く、「買い物」(26.8%)、「銀行や市役所などの必要な手続き」(17.6%)、「気軽に集まれる居場所(地域サロン等)」(5.7%)が続きます。



### ① 移動支援を必要とする理由

前の設問(1)で「必要だと思う場面はない」以外を選んだ方にお聞きます。  
(1-2) 移動支援を必要とする理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

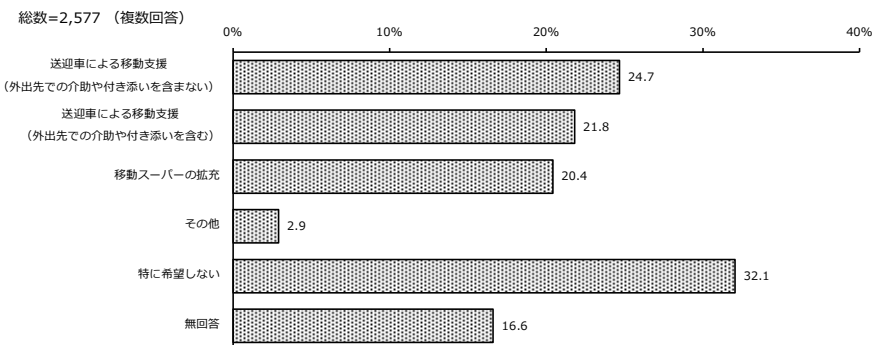
「今はよいが、将来的に不安」が68.9%で最も多く、「徒歩や自転車しか移動手段がなく、遠い目的地への移動が困難」(20.1%)、「運転免許証を返納した」(16.6%)、「身体等に問題があり外出が難しい」(13.3%)が続きます。



### (2) 移動支援で必要だと思うもの

地域で支えあうための移動支援で必要だと思うものは何ですか(あてはまるものすべてに○)

「送迎車による移動支援(外出先での介助や付き添いを含まない)」が24.7%で最も多く、「送迎車による移動支援(外出先での介助や付き添いを含む)」(21.8%)、「移動スーパーの拡充」(20.4%)、「その他」(2.9%)が続きます。



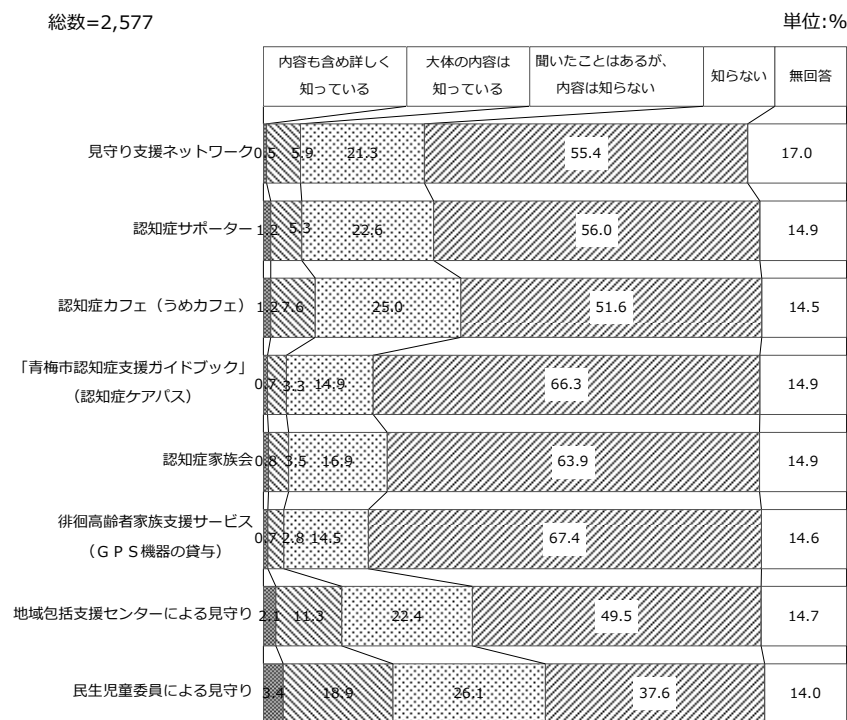
## 16 認知症対策

### (1) 市の事業の認知度

現在、市では、次の事業を行っています。以下について該当するものを選んでください

「内容も含め詳しく知っている」と「大体的内容は知っている」とを合わせると、「民生児童委員による見守り」が22.2%で最も多く、「地域包括支援センターによる見守り」(13.4%)、「認知症カフェ(うめカフェ)」(8.8%)が続きます。

「知らない」と「聞いたことはあるが、内容は知らない」とを合わせると、「徘徊高齢者家族支援サービス(GPS機器の貸与)」が81.9%で最も多く、「青梅市認知症支援ガイドブック」(認知症ケアパス)」(81.2%)、「認知症家族会」(80.8%)が続きます。

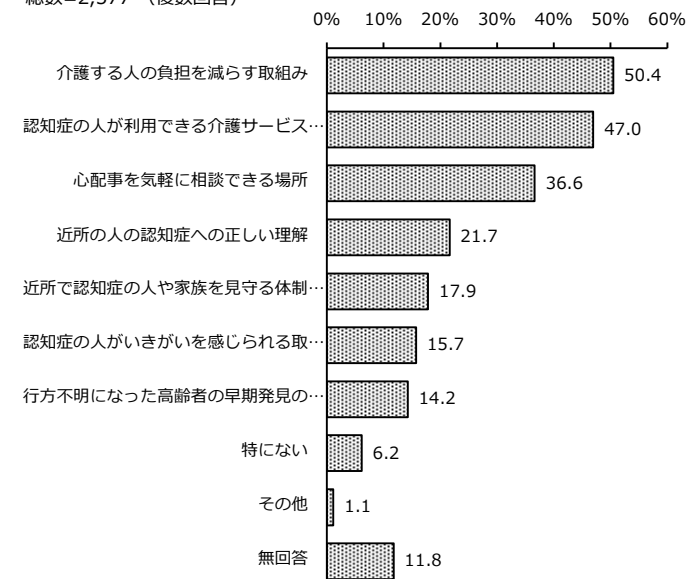


### (2) 安心して在宅で暮らせるために必要なもの

認知症の人が、安心して在宅で暮らせるために必要なものは何だと思われますか  
(〇は3つまで)

介護する人の負担を減らす取組み」が50.4%で最も多く、「認知症の人が利用できる介護サービスの充実」(47.0%)、「心配事を気軽に相談できる場所」(36.6%)、「近所の人への認知症への正しい理解」(21.7%)が続きます。

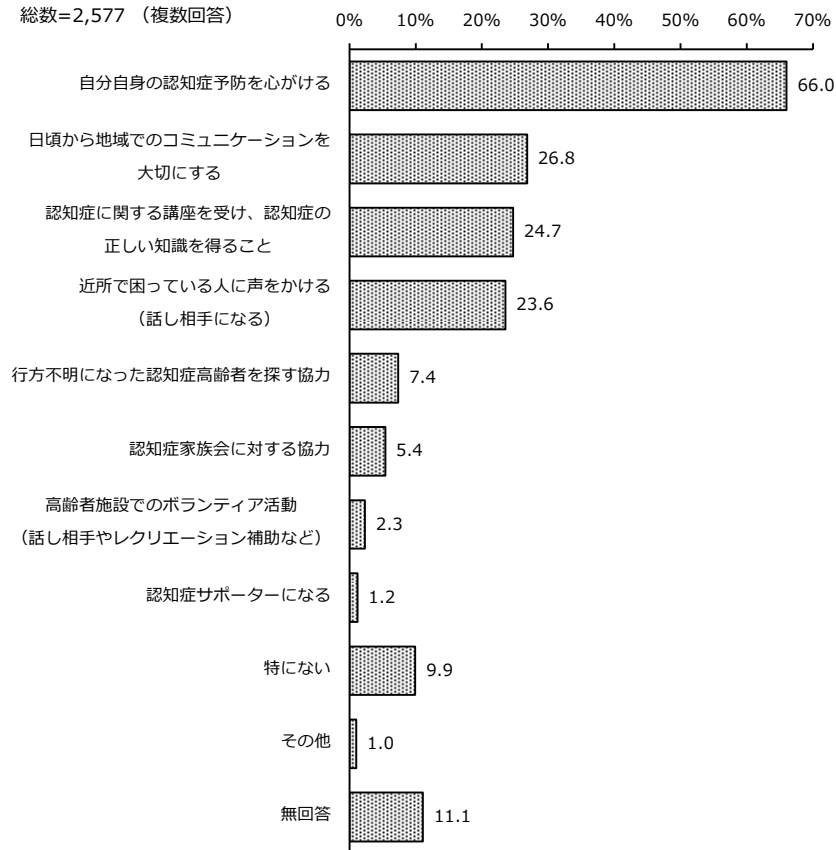
総数=2,577 (複数回答)



(3) できること

認知症の人やその家族のために、地域においてあなたができることは何ですか  
(〇は3つまで)

「自分自身の認知症予防を心がける」が66.0%で最も多く、「日頃から地域でのコミュニケーションを大切にする」(26.8%)、「認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること」(24.7%)、「近所で困っている人に声をかける(話し相手になる)」(23.6%)が続きます。

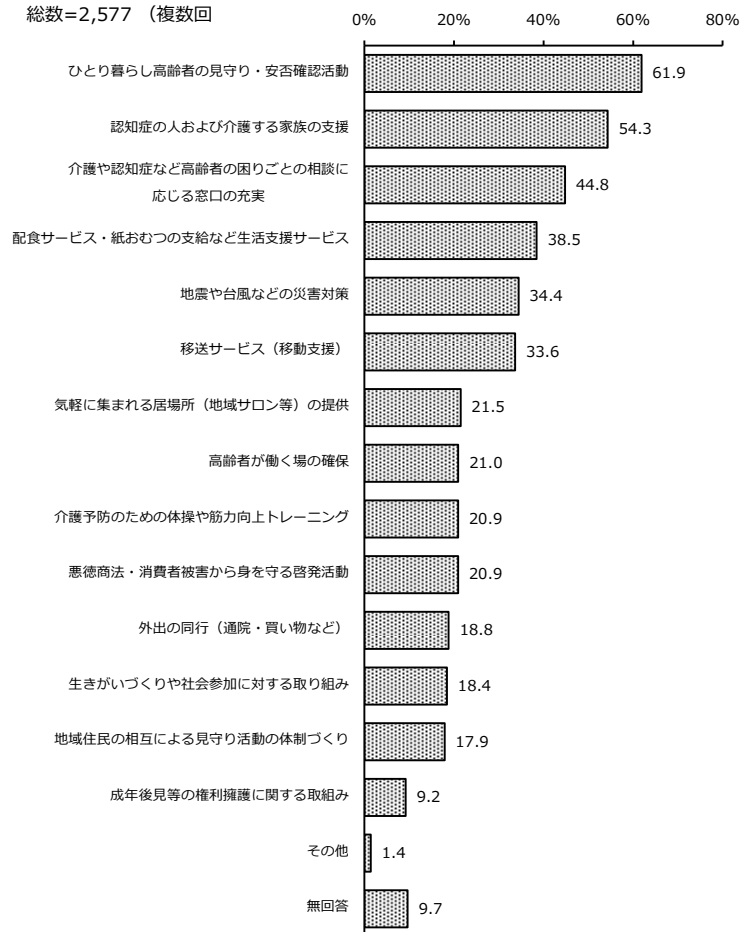


17 市が充実させるべき取り組み

(1) 充実させるべき高齢者施策

市が充実させるべきと思う高齢者施策は次のうちどれですか(あてはまるものすべてに〇)

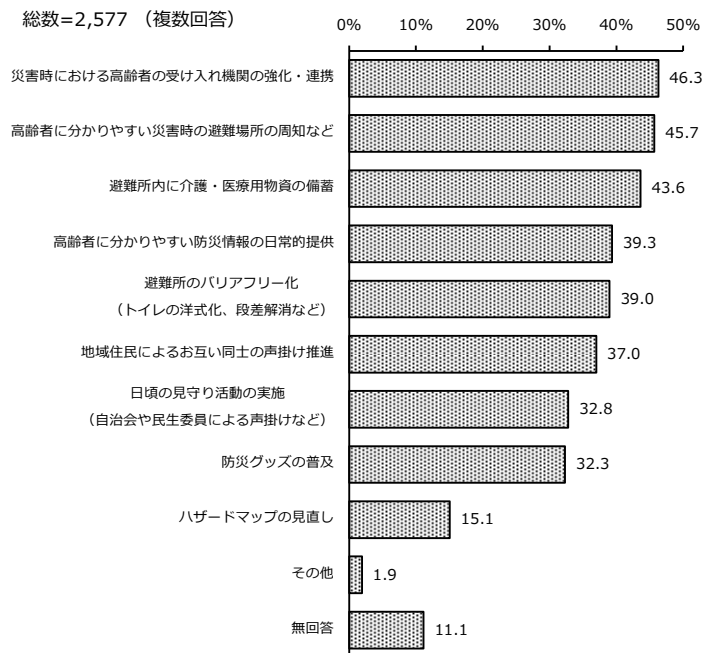
「ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動」が61.9%で最も多く、「認知症の人および介護する家族の支援」(54.3%)、「介護や認知症など高齢者の困りごとの相談に応じる窓口の充実」(44.8%)、「配食サービス・紙おむつの支給など生活支援サービス」(38.5%)が続きます。



(2) 行うべき災害対策

市が行うべき災害対策は次のうちどれですか（あてはまるものすべてに○）

「災害時における高齢者の受け入れ機関の強化・連携」が46.3%で最も多く、「高齢者に分かりやすい災害時の避難場所の周知など」（45.7%）、「避難所内に介護・医療用物資の備蓄」（43.6%）、「高齢者に分かりやすい防災情報の日常的提供」（39.3%）が続きます。

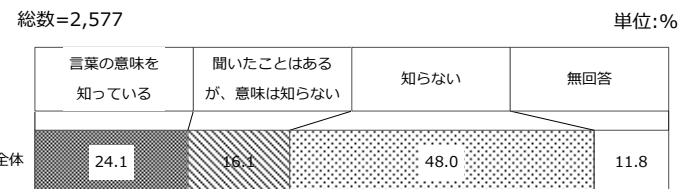


18 フレイル

(1) 認知度

「フレイル」という言葉を知っていますか

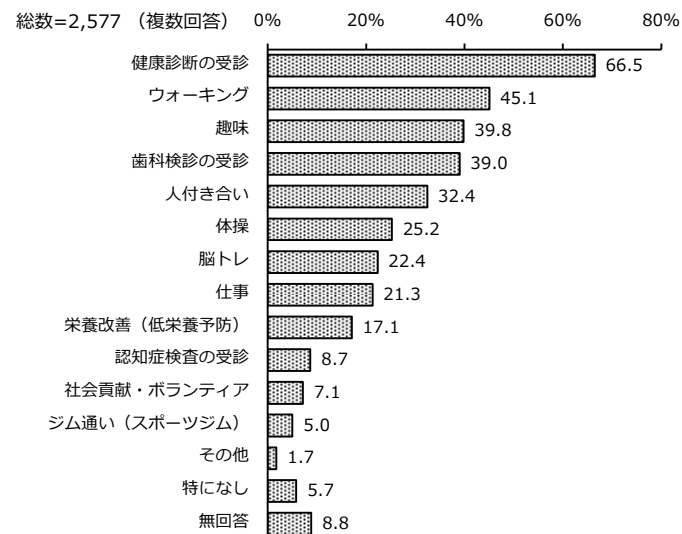
「知らない」が48.0%で最も多く、「言葉の意味を知っている」（24.1%）、「聞いたことはあるが、意味は知らない」（16.1%）が続きます。



(2) 取り組んでいること

あなたは、フレイルや介護状態にならないために自身で取り組んでいることはありますか（あてはまるものすべてに○）

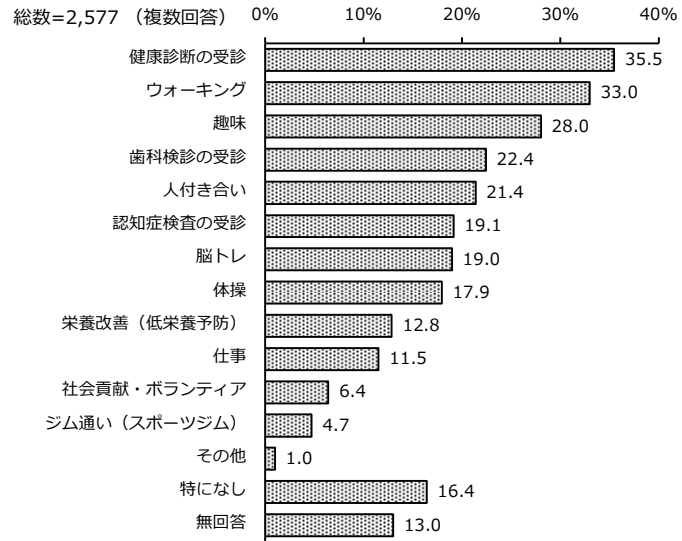
「健康診断の受診」が66.5%で最も多く、「ウォーキング」（45.1%）、「趣味」（39.8%）、「歯科検診の受診」（39.0%）が続きます。



(3) もっと取り組みたいこと

今後、もっと取り組みたいことはありますか（あてはまるものすべてに○）

「健康診断の受診」が35.5%で最も多く、「ウォーキング」（33.0%）、「趣味」（28.0%）、「歯科検診の受診」（22.4%）が続きます。



19 自由記入

今後の青梅市の高齢者施策についてのご意見等があれば、ご自由にご記入ください。



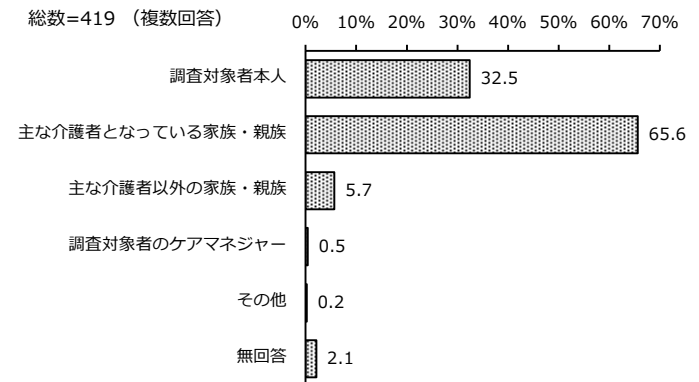
## ②在宅介護実態調査

### 1 前提

#### (1) 記入者

回答をされる方は、どなたですか

「主な介護者となっている家族・親族」が65.6%で最も多く、「調査対象者本人」(32.5%)、「主な介護者以外の家族・親族」(5.7%)、「調査対象者のケアマネジャー」(0.5%)が続きます。

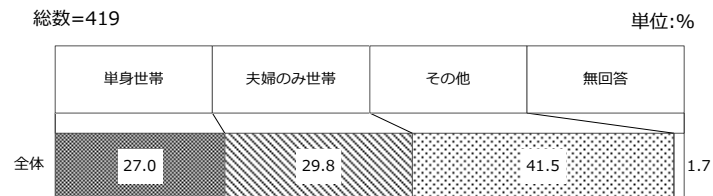


## 2 本人・主な介護者の回答・記入項目

### (1) 世帯類型

世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

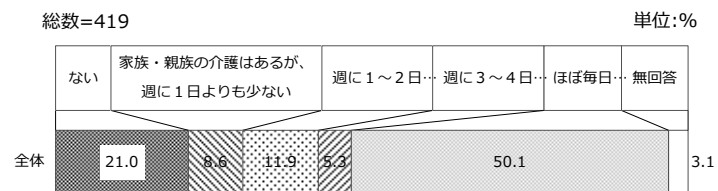
「夫婦のみ世帯」（29.8%）、「単身世帯」（27.0%）が続きます。



### (2) 介護の回数

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

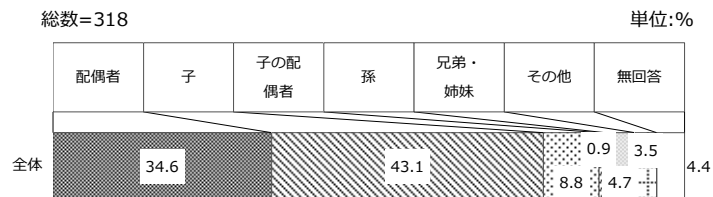
「ほぼ毎日ある」が50.1%で最も多く、「ない」（21.0%）、「週に1～2日ある」（11.9%）、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」（8.6%）が続きます。



### (3) 主な介護者

主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

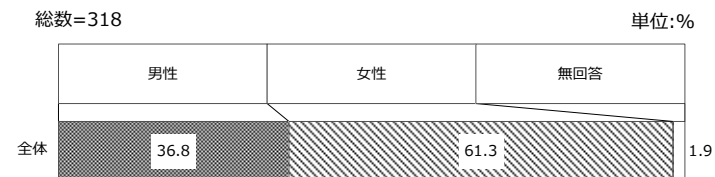
「子」が43.1%で最も多く、「配偶者」（34.6%）、「子の配偶者」（8.8%）、「兄弟・姉妹」（4.7%）が続きます。



### (4) 主な介護者の性別

主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

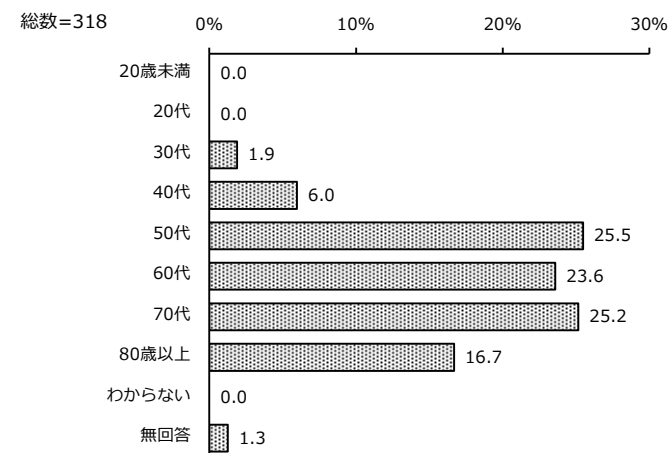
「女性」は61.3%、「男性」は36.8%となっています。



### (5) 主な介護者の年齢

主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

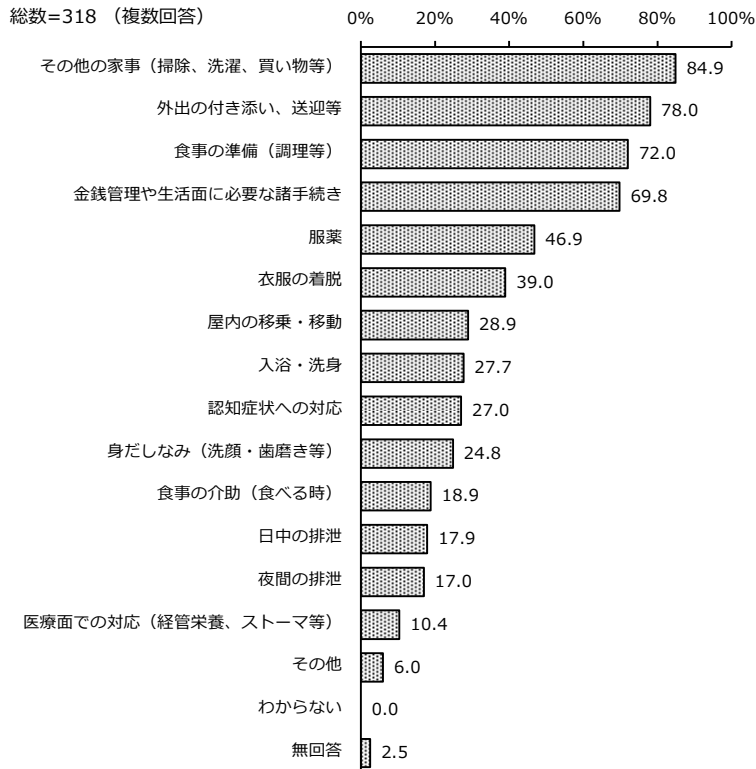
「50代」が25.5%で最も多く、「70代」（25.2%）、「60代」（23.6%）、「80歳以上」（16.7%）が続きます。



(6) 主な介護者が行っている介護等

現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

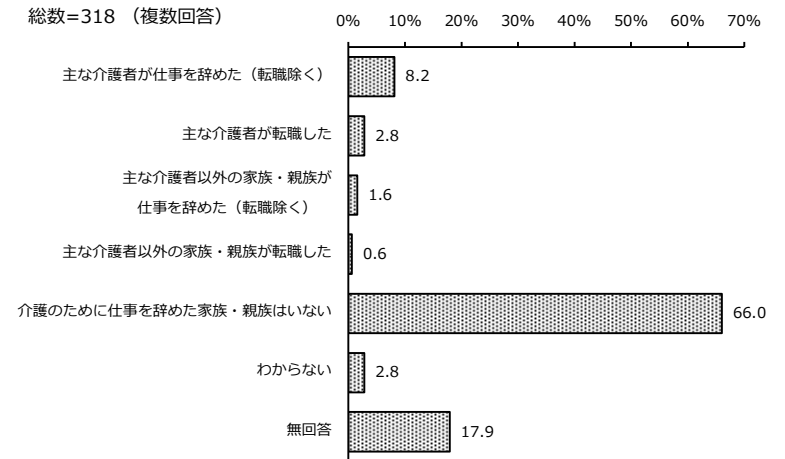
「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が84.9%で最も多く、「外出の付き添い、送迎等」（78.0%）、「食事の準備（調理等）」（72.0%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（69.8%）が続きます。



(7) 介護を主な理由として仕事を辞めた方の有無

ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

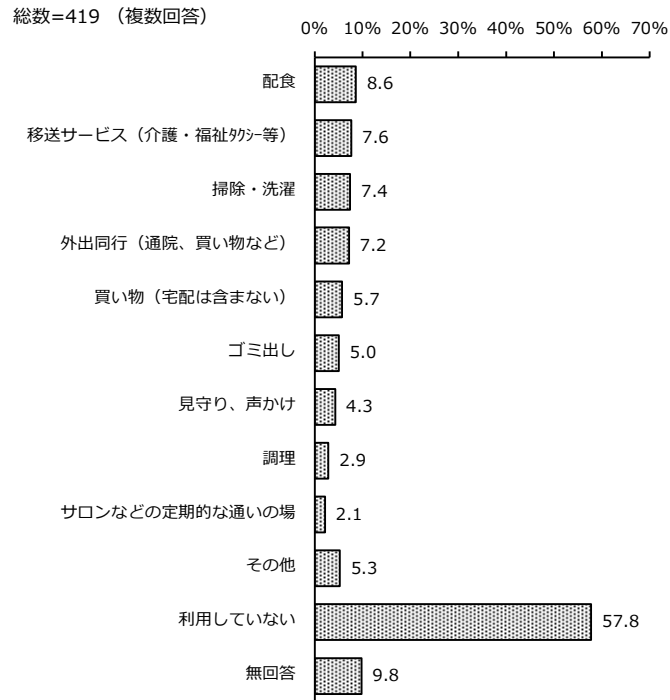
「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.2%で最も多く、「主な介護者が転職した」（2.8%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（1.6%）、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」（0.6%）が続きます。



(8) 利用している介護保険サービス以外の支援・サービス

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください  
(複数選択可)

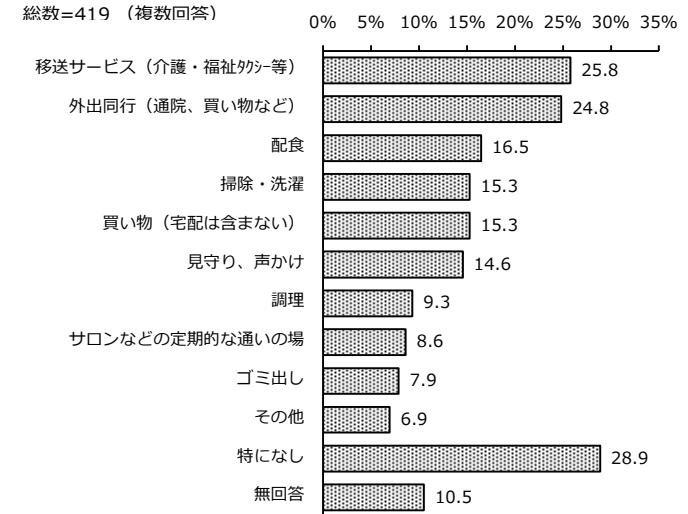
「配食」が8.6%で最も多く、「移送サービス(介護・福祉ｸﾞﾗﾝﾌﾟ等)」(7.6%)、「掃除・洗濯」(7.4%)、「外出同行(通院、買い物など)」(7.2%)が続きます。



(9) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

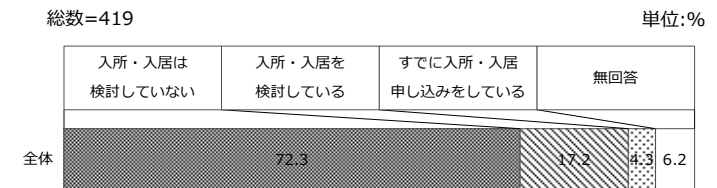
「移送サービス(介護・福祉ｸﾞﾗﾝﾌﾟ等)」が25.8%で最も多く、「外出同行(通院、買い物など)」(24.8%)、「配食」(16.5%)、「掃除・洗濯」(15.3%)が続きます。



(10) 施設等への入所・入居の検討状況

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

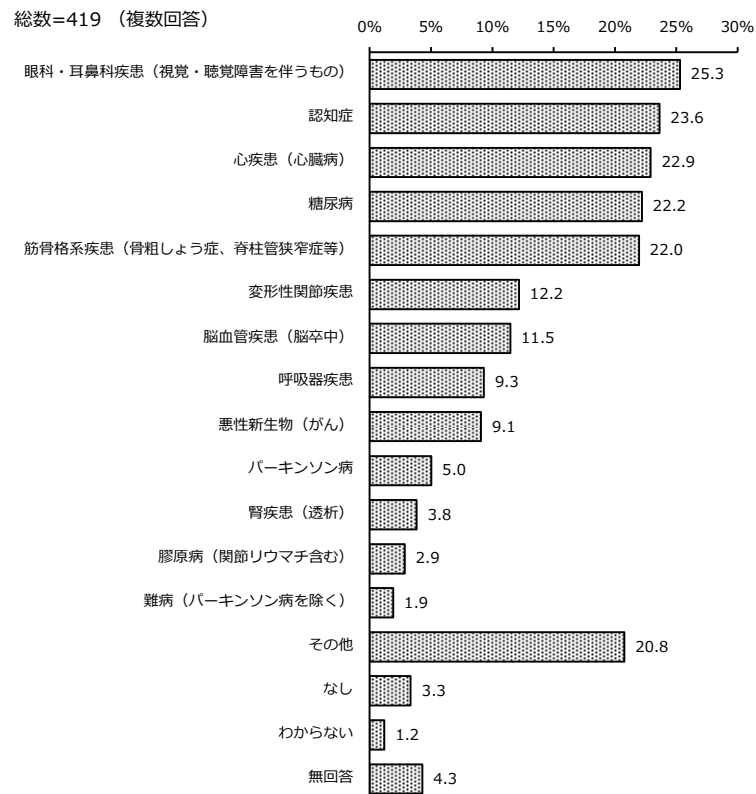
「入所・入居は検討していない」が72.3%で最も多く、「入所・入居を検討している」(17.2%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(4.3%)が続きます。



(11) 傷病

ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が25.3%で最も多く、「認知症」（23.6%）、「心疾患（心臓病）」（22.9%）、「糖尿病」（22.2%）が続きます。



(12) 訪問診療利用の有無

ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

「利用していない」は79.7%、「利用している」は17.2%となっています。



(13) 介護保険サービス利用の有無

現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

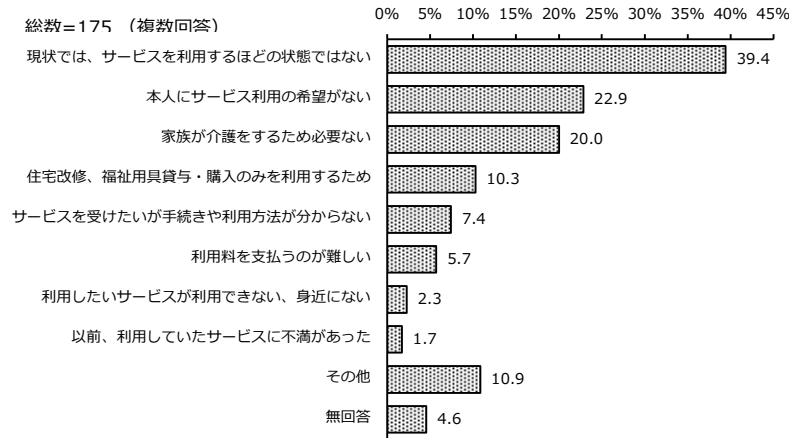
「利用している」は55.4%、「利用していない」は41.8%となっています。



(14) 利用していない理由

「利用していない」を回答した場合は、回答してください。  
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

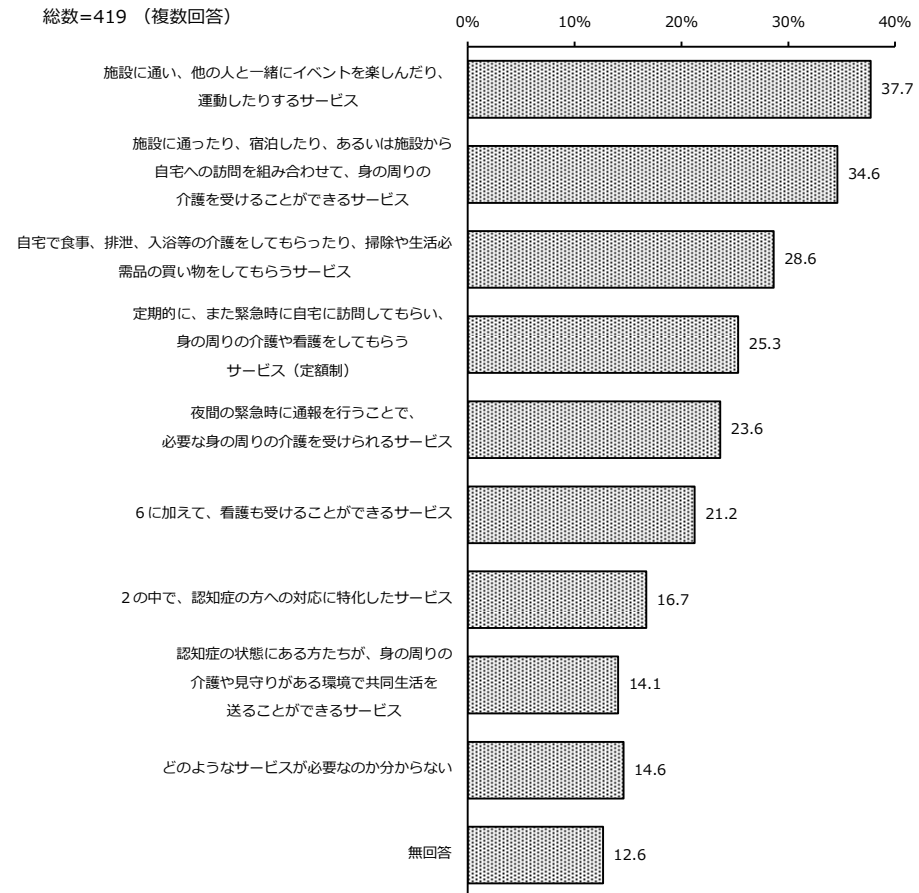
「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が39.4%で最も多く、「本人にサービス利用の希望がない」(22.9%)、「家族が介護をするため必要ない」(20.0%)、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」(10.3%)が続きます。



(15) 介護サービスを利用しながら在宅生活を続けるために必要なサービス

あなたは、介護を受けながら自宅で自分らしく暮らしていくためには、どのようなサービスが必要だと思いますか（複数選択可）

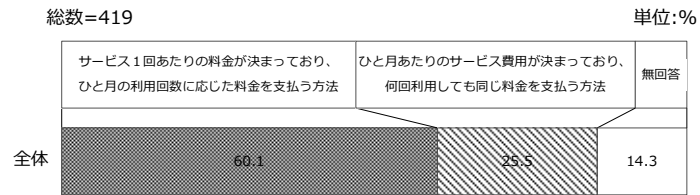
「施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービス」が37.7%で最も多く、「施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせて、身の周りの介護を受けることができるサービス」(34.6%)、「自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらおうサービス」(28.6%)、「定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらおうサービス（定額制）」(25.3%)が続きます。



(16) 介護サービス料の支払方法

あなたは、介護サービスの料金を支払うとき、次のどの方法が望ましいと思いますか  
(1つを選択)

「サービス1回あたりの料金が決まっており、ひと月の利用回数に応じた料金を支払う方法」は60.1%、「ひと月あたりのサービス費用が決まっており、何回利用しても同じ料金を支払う方法」は25.5%となっています。

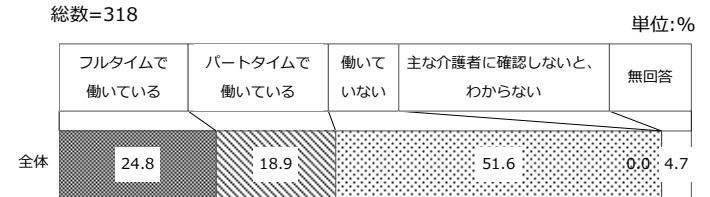


3 家族・親族からの介護がある場合の「主な介護者」による回答・記入項目

(1) 主な介護者の現在の勤務形態

主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

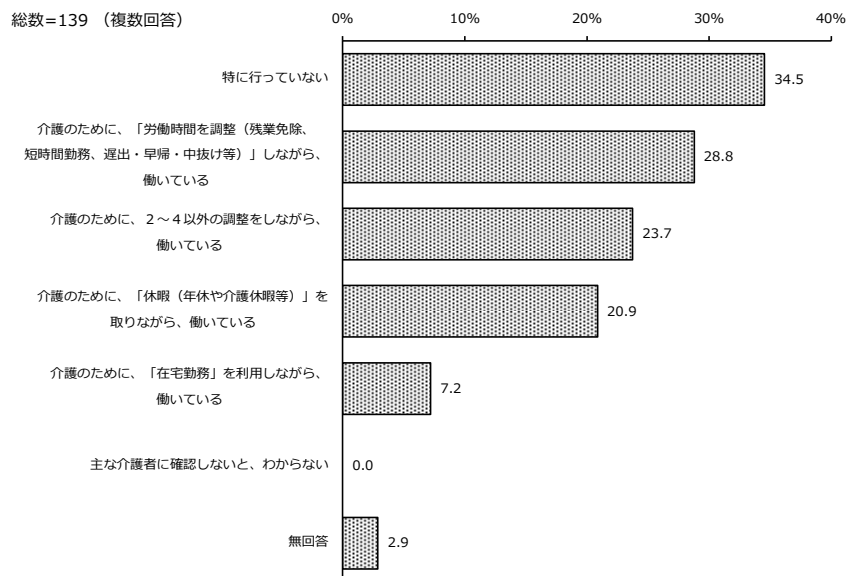
「働いていない」が51.6%で最も多く、「フルタイムで働いている」(24.8%)、「パートタイムで働いている」(18.9%)が続きます。



(2) 地域活動への参加意向

「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

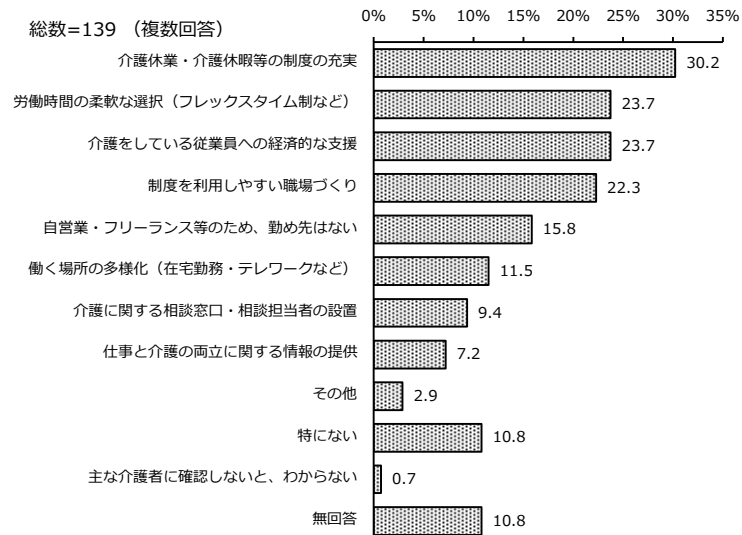
「特に行っていない」が34.5%で最も多く、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」（28.8%）、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」（23.7%）、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（20.9%）が続きます。



(3) 仕事と介護の両立に必要な支援

「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

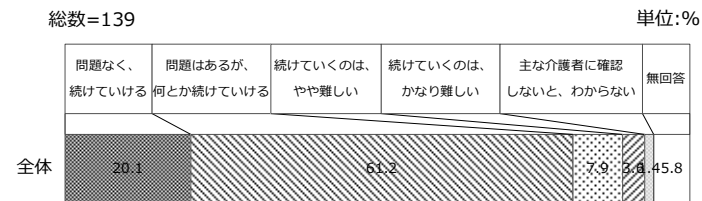
「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.2%で最も多く、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「介護をしている従業員への経済的な支援」（23.7%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（22.3%）が続きます。



(4) 働きながら介護を続けることができるか

「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

「問題はあるが、何とか続けていける」が61.2%で最も多く、「問題なく、続けていける」（20.1%）、「続けていくのは、やや難しい」（7.9%）、「続けていくのは、かなり難しい」（3.6%）が続きます。

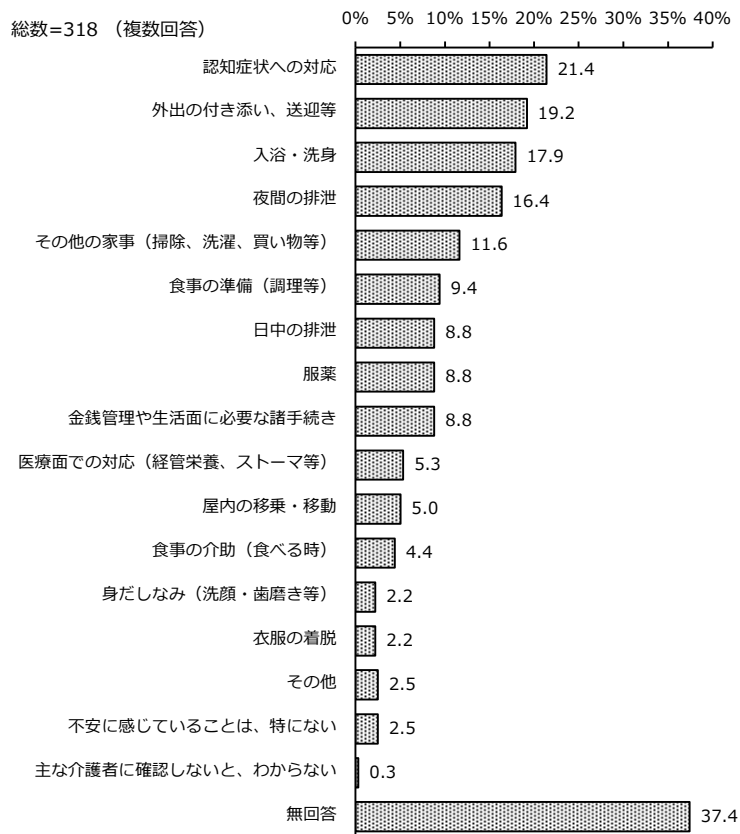




(5) 不安を感じる介護等

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

「認知症状への対応」が21.4%で最も多く、「外出の付き添い、送迎等」（19.2%）、「入浴・洗身」（17.9%）、「夜間の排泄」（16.4%）が続きます。



### ③介護サービス事業所調査

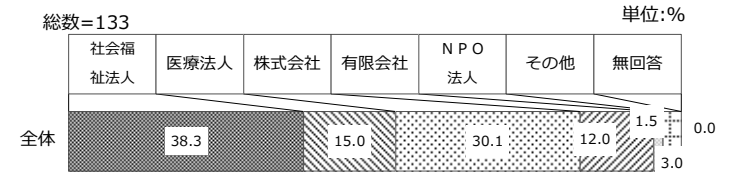
#### 1 基本調査

##### (1) 事業所の概要

貴事業所の概要についてお答えください。

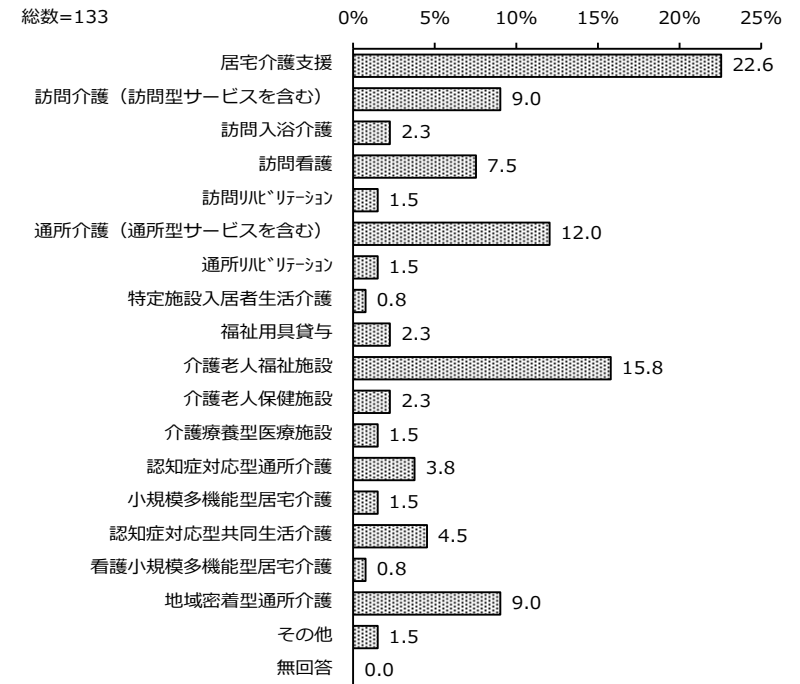
##### 【法人の種類（1つに〇）】

「社会福祉法人」が38.3%で最も多く、「株式会社」（30.1%）、「医療法人」（15.0%）、「有限会社」（12.0%）が続きます。



##### 【実施事業（介護予防を含む）（1つに〇）】

「居宅介護支援」が22.6%で最も多く、「介護老人福祉施設」（15.8%）、「通所介護（通所型サービスを含む）」（12.0%）、「訪問介護（訪問型サービスを含む）」（9.0%）が続きます。



【職員体制】

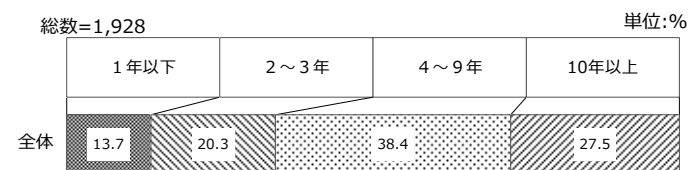
以下のような体制になっています。

n=(133) (単位：人)

	正職員			非正規職員												登録ヘルパー				
				(うち派遣職員)			(うちEPA等外国人)			(うちその他)										
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
居宅介護支援	34	57	91	0	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	-	-
訪問介護（訪問型サービスを含む）	15	33	48	7	55	62	1	2	3	0	0	0	0	0	1	1	3	76	79	
訪問入浴介護	7	7	14	2	24	26	0	1	1	0	0	0	2	6	8	0	-	-		
訪問看護	16	48	64	3	23	26	0	0	0	0	0	0	7	7	0	-	-			
訪問リハビリテーション	24	16	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-		
通所介護（通所型サービスを含む）	28	44	72	60	168	228	0	0	0	0	2	2	9	19	28	0	-	-		
通所リハビリテーション	16	19	35	7	11	18	0	0	0	0	0	0	3	3	0	-	-			
特定施設入居者生活介護	1	4	5	2	16	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-		
福祉用具貸与	12	5	17	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-		
介護老人福祉施設	488	512	1,000	133	454	587	3	12	15	6	30	36	4	21	25	0	-	-		
介護老人保健施設	104	150	254	2	37	39	1	2	3	0	3	3	1	5	6	0	-	-		
介護療養型医療施設	13	39	52	7	15	22	0	0	0	0	4	4	7	5	12	0	-	-		
認知症対応型通所介護	6	14	20	8	47	55	0	0	0	0	0	0	5	5	0	-	-			
小規模多機能型居宅介護	3	5	8	6	23	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-		
認知症対応型共同生活介護	7	17	24	7	58	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-		
看護小規模多機能型居宅介護	5	3	8	3	12	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-		
地域密着型通所介護	11	26	37	7	46	53	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	-	-		
その他	23	53	76	19	20	39	0	0	0	0	0	0	18	12	30	0	-	-		
合計	813	1,052	1,865	274	1,021	1,295	5	17	22	6	39	45	42	85	127	3	76	79		

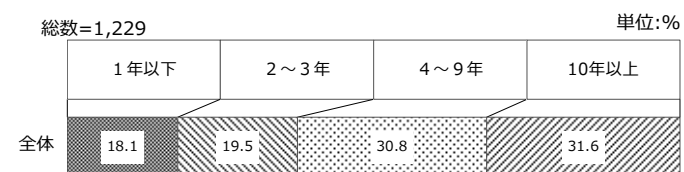
【介護職員の勤続年数】

「4～9年」が38.4%で最も多く、「10年以上」(27.5%)、「2～3年」(20.3%)、「1年以下」(13.7%)が続きます。



【介護職員以外の勤続年数】

「10年以上」が31.6%で最も多く、「4～9年」(30.8%)、「2～3年」(19.5%)、「1年以下」(18.1%)が続きます。



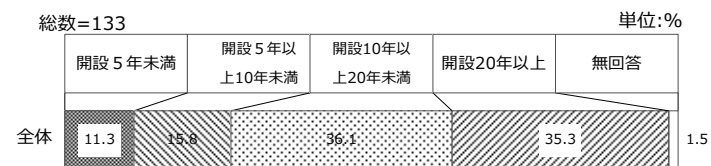
介護サービス別の職員の勤務年数は以下のようになっています。

n=(133) (単位：人)

	介護職員					介護職員以外				
	1年 以下	2～ 3年	4～ 9年	10年 以上	合計	1年 以下	2～ 3年	4～ 9年	10年 以上	合計
居宅介護支援	0	8	11	24	43	6	10	20	14	50
訪問介護（訪問型サービスを含む）	9	39	68	45	161	3	7	5	6	21
訪問入浴介護	10	7	5	2	24	6	4	4	2	16
訪問看護	4	9	23	15	51	5	11	11	9	36
訪問リハビリテーション	0	2	1	4	7	4	10	11	10	35
通所介護（通所型サービスを含む）	30	41	88	43	202	26	32	43	15	116
通所リハビリテーション	5	6	8	6	25	2	4	6	4	16
特定施設入居者生活介護	0	5	8	6	19	0	0	1	3	4
福祉用具貸与	0	3	6	0	9	1	4	2	5	12
介護老人福祉施設	141	177	317	294	929	107	108	167	223	605
介護老人保健施設	22	23	65	37	147	23	23	34	50	130
介護療養型医療施設	8	4	4	8	24	10	5	13	22	50
認知症対応型通所介護	6	12	25	15	58	4	3	6	2	15
小規模多機能型居宅介護	1	10	15	2	28	0	2	3	4	9
認知症対応型共同生活介護	17	23	42	11	93	1	0	4	0	5
看護小規模多機能型居宅介護	2	3	9	0	14	1	3	5	0	9
地域密着型通所介護	4	13	31	12	60	4	11	10	9	34
その他	6	7	14	7	34	19	3	34	10	66
合計	265	392	740	531	1,928	222	240	379	388	1,229

【開設年月日】

「開設10年以上20年未満」が36.1%で最も多く、「開設20年以上」(35.3%)、「開設5年以上10年未満」(15.8%)、「開設5年未満」(11.3%)が続きます。



(2) 利用者数

貴事業所（または貴施設）の利用者数を御記入ください。

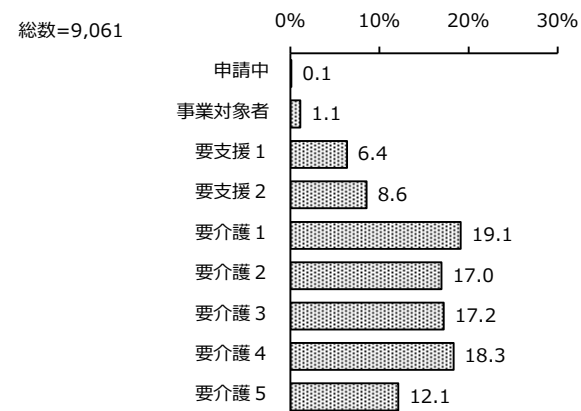
介護サービス別の利用者数及びその合計は以下のようになっています。

	定員	n=(133) 上段単位：人				利用者計 (a+b)
		青梅市民(a)		青梅市民以外(b)		
			(うち、市 外の被保険 者数)		(うち、青梅 市の被保険者 数)	
居宅介護支援	2,692 —	2,458 78.5%	39	672 21.5%	27	3,130 100.0%
訪問介護（訪問型サービスを含む）	538 —	539 87.6%	132	76 12.4%	1	615 100.0%
訪問入浴介護	90 —	77 39.1%	0	120 60.9%	10	197 100.0%
訪問看護	373 —	458 85.9%	7	75 14.1%	3	533 100.0%
訪問リハビリテーション	— —	89 80.9%	0	21 19.1%	0	110 100.0%
通所介護（通所型サービスを含む）	548 —	1,049 89.3%	14	126 10.7%	8	1,175 100.0%
通所リハビリテーション	130 —	69 88.5%	0	9 11.5%	1	78 100.0%
特定施設入居者生活介護	27 —	16 66.7%	0	8 33.3%	0	24 100.0%
福祉用具貸与	— —	1,268 73.5%	0	456 26.5%	0	1,724 100.0%
介護老人福祉施設	2,157 —	1,505 73.0%	797	556 27.0%	30	2,061 100.0%
介護老人保健施設	355 —	203 63.6%	0	116 36.4%	0	319 100.0%
介護療養型医療施設	92 —	17 23.6%	3	55 76.4%	0	72 100.0%
認知症対応型通所介護	64 —	98 99.0%	0	1 1.0%	0	99 100.0%
小規模多機能型居宅介護	58 —	50 100.0%	0	0 0.0%	0	50 100.0%
認知症対応型共同生活介護	83 —	69 100.0%	0	0 0.0%	0	69 100.0%
看護小規模多機能型居宅介護	— —	29 100.0%	0	0 0.0%	0	29 100.0%
地域密着型通所介護	108 —	399 89.7%	0	46 10.3%	2	445 100.0%
その他	95 —	43 50.0%	0	43 50.0%	0	86 100.0%
合計	7,410 —	8,436 78.0%	992	2,380 22.0%	82	10,816 100.0%

(3) 要介護度別利用者数

貴事業所の青梅市民（または保険者が青梅市）の利用者数を要介護度別に御記入ください。

「要介護1」が19.1%で最も多く、「要介護4」（18.3%）、「要介護3」（17.2%）、「要介護2」（17.0%）が続きます。



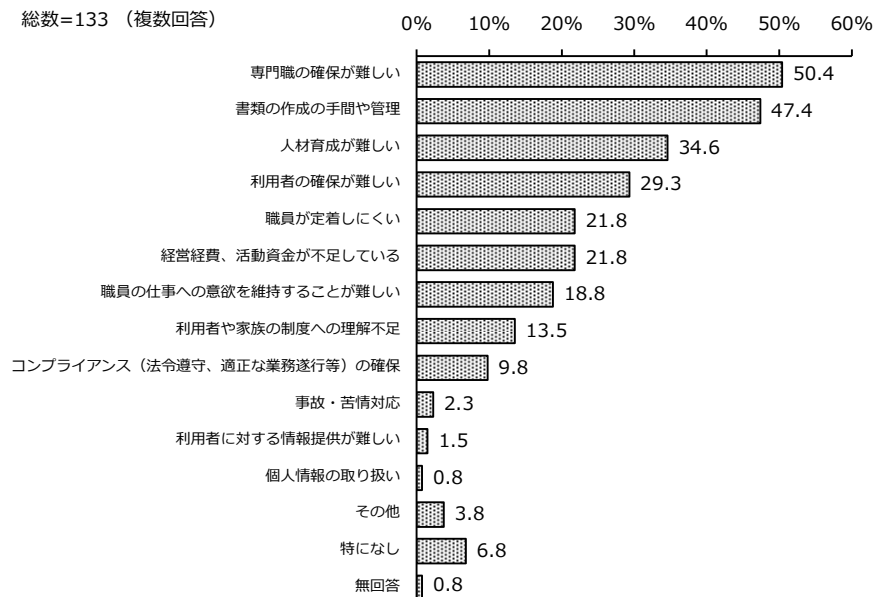
介護サービス別の要介護度別利用者数は以下のようになっています。

	申請中	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
居宅介護支援	3 0.1%	19 0.7%	173 6.8%	263 10.3%	696 27.3%	588 23.0%	389 15.2%	274 10.7%	148 5.8%	2,553 100.0%
訪問介護（訪問型サービスを含む）	3 0.5%	24 4.1%	54 9.3%	86 14.8%	139 23.9%	112 19.2%	64 11.0%	54 9.3%	46 7.9%	582 100.0%
訪問入浴介護	1 1.1%	2 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.5%	7 8.0%	12 13.6%	24 27.3%	38 43.2%	88 100.0%
訪問看護	1 0.2%	0 0.0%	19 4.3%	27 6.1%	98 22.3%	91 20.7%	74 16.8%	67 15.2%	63 14.3%	440 100.0%
訪問リハビリテーション	0 0.0%	0 0.0%	2 2.0%	9 8.9%	23 22.8%	26 25.7%	17 16.8%	14 13.9%	10 9.9%	101 100.0%
通所介護（通所型サービスを含む）	2 0.2%	23 2.1%	115 10.6%	128 11.8%	287 26.5%	208 19.2%	169 15.6%	101 9.3%	49 4.5%	1,082 100.0%
通所リハビリテーション	0 0.0%	11 13.6%	2 2.5%	10 12.3%	14 17.3%	19 23.5%	15 18.5%	9 11.1%	1 1.2%	81 100.0%
特定施設入居者生活介護	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 37.5%	3 18.8%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%	16 100.0%
福祉用具貸与	0 0.0%	0 0.0%	139 11.0%	191 15.1%	246 19.4%	264 20.8%	188 14.8%	147 11.6%	93 7.3%	1,268 100.0%
介護老人福祉施設	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 0.7%	39 2.1%	457 25.2%	782 43.1%	525 28.9%	1,815 100.0%
介護老人保健施設	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	26 12.8%	41 20.2%	38 18.7%	60 29.6%	38 18.7%	203 100.0%
介護療養型医療施設	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.3%	29 48.3%	29 48.3%	60 100.0%
認知症対応型通所介護	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	14 13.0%	31 28.7%	34 31.5%	15 13.9%	13 12.0%	108 100.0%
小規模多機能型居宅介護	0 0.0%	0 0.0%	2 4.0%	5 10.0%	16 32.0%	12 24.0%	7 14.0%	6 12.0%	2 4.0%	50 100.0%
認知症対応型共同生活介護	2 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 20.3%	12 17.4%	26 37.7%	10 14.5%	5 7.2%	69 100.0%
看護小規模多機能型居宅介護	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	2 11.1%	3 16.7%	8 44.4%	4 22.2%	18 100.0%
地域密着型通所介護	0 0.0%	25 5.6%	69 15.5%	58 13.1%	136 30.6%	80 18.0%	49 11.0%	21 4.7%	6 1.4%	444 100.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.4%	3 3.6%	14 16.9%	37 44.6%	27 32.5%	83 100.0%
合計	12 0.1%	104 1.1%	576 6.4%	777 8.6%	1,734 19.1%	1,538 17.0%	1,561 17.2%	1,660 18.3%	1,099 12.1%	9,061 100.0%

(4) 事業運営上の支障

現在、貴事業所の円滑な事業運営を進めていくうえで、支障となっていることがありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

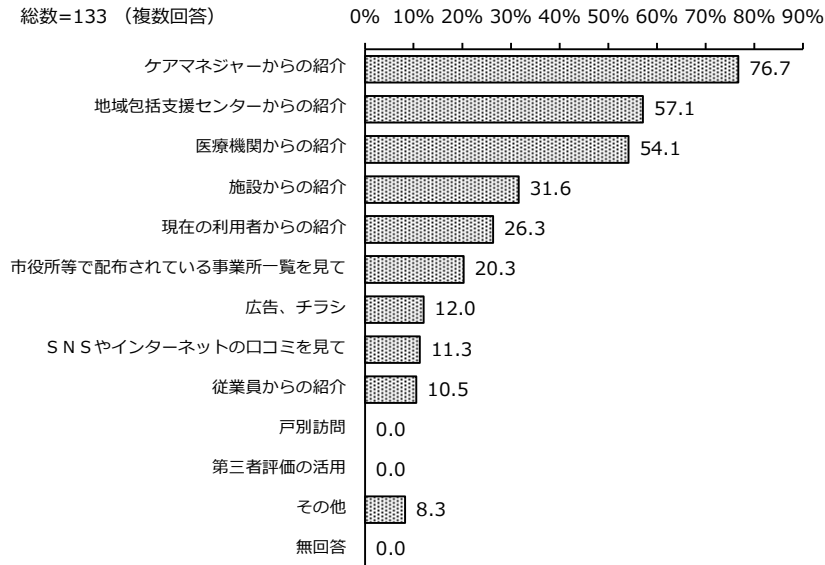
「専門職の確保が難しい」が50.4%で最も多く、「書類の作成の手間や管理」(47.4%)、「人材育成が難しい」(34.6%)、「利用者の確保が難しい」(29.3%)が続きます。



(5) 新たな利用者確保の具体的な方法

新たな利用者を確保する場合、具体的な方法は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

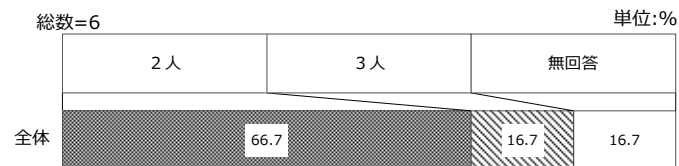
「ケアマネジャーからの紹介」が76.7%で最も多く、「地域包括支援センターからの紹介」(57.1%)、「医療機関からの紹介」(54.1%)、「施設からの紹介」(31.6%)が続きます。



(6) GH入所希望者

令和4年10月1日時点でのGH入所希望者の年齢、性別、介護度および現在利用のサービス等(把握されていない場合は記入不要)を表に御記入ください。

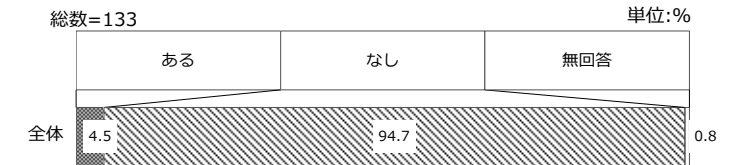
「2人」は66.7%、「3人」は16.7%となっています。



(7) 参入を検討する地域密着型サービス

第9期(令和6~8年度)中に貴事業者で参入を検討している、あるいは参入を検討したい地域密着型サービスはありますか。(あてはまるものに○)

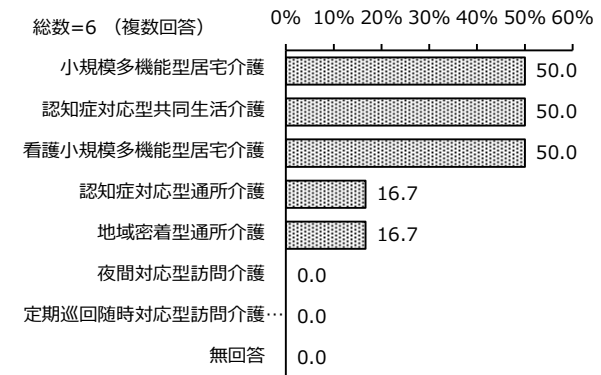
「なし」は94.7%、「ある」は4.5%となっています。



① 該当する具体的なサービス

「1. ある」の場合、該当するサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

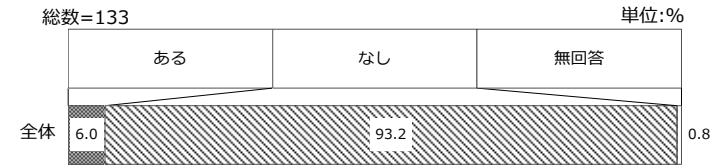
「小規模多機能型居宅介護」、「認知症対応型共同生活介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」が50.0%、「認知症対応型通所介護」(16.7%)が続きます。



(8) 参入を検討する地域密着型サービス以外のサービス

第9期(令和6～8年度)中に貴事業者で参入を検討している、あるいは参入を検討したい地域密着型以外のサービスはありますか。(あてはまるものに○)

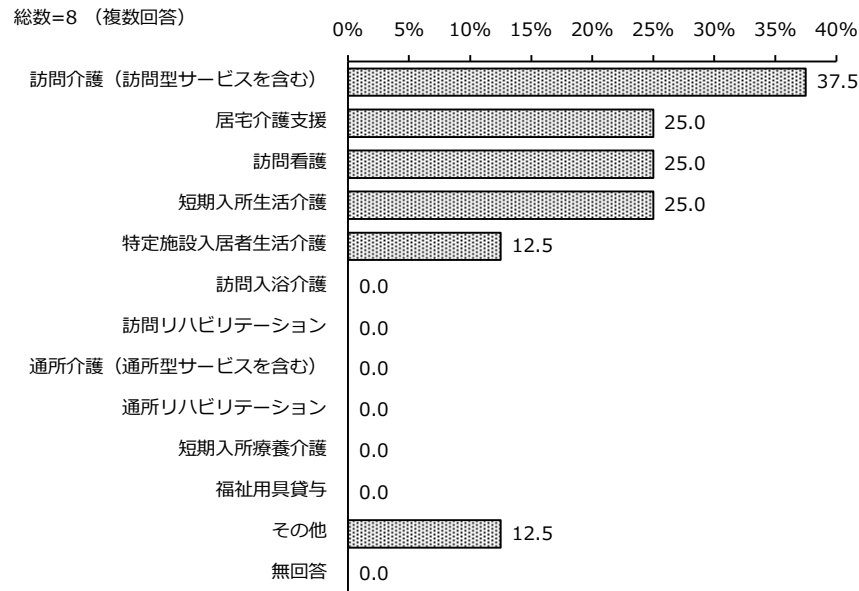
「なし」は93.2%、「ある」は6.0%となっています。



① 該当する具体的サービス

「1. ある」の場合、該当するサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

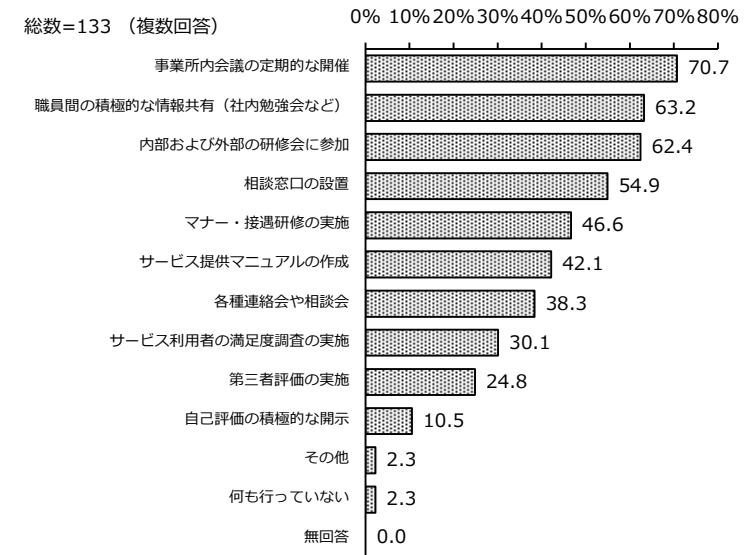
「訪問介護(訪問型サービスを含む)」が37.5%で最も多く、「居宅介護支援」(25.0%)、「訪問看護」(25.0%)、「短期入所生活介護」(25.0%)が続きます。



(9) サービスの質の向上のための取り組み

サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「事業所内会議の定期的な開催」が70.7%で最も多く、「職員間の積極的な情報共有(社内勉強会など)」(63.2%)、「内部および外部の研修会に参加」(62.4%)、「相談窓口の設置」(54.9%)が続きます。



(10) 研修の内容

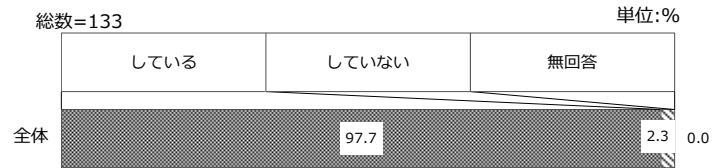
問9で「9. 内部および外部の研修会に参加」と答えた方にお聞きします。研修はどのような内容ですか。



(11) リスクマネジメント

事業所としてリスクマネジメントを行っていますか。

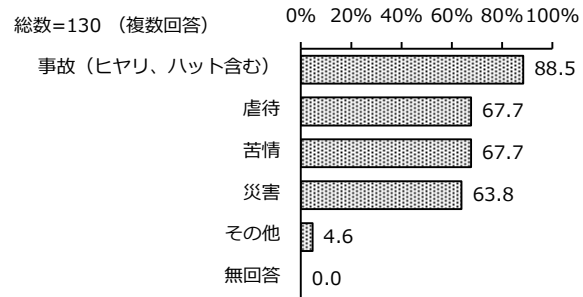
「している」は97.7%、「していない」は2.3%となっています。



① 該当するリスクマネジメント

「1. している」の場合、それはどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

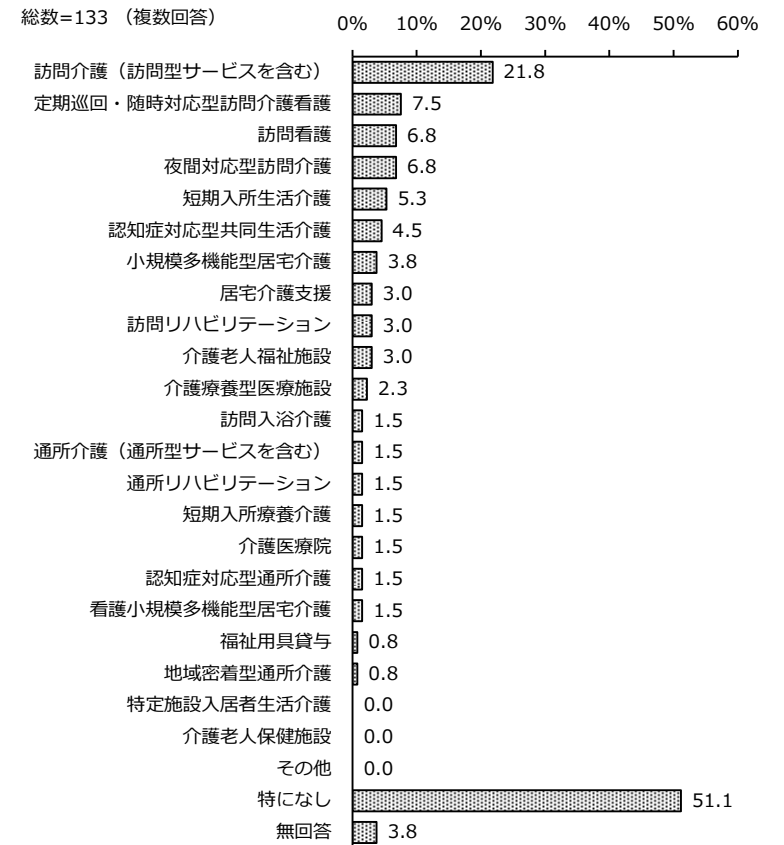
「事故（ヒヤリ、ハット含む）」が88.5%で最も多く、「虐待」（67.7%）、「苦情」（67.7%）、「災害」（63.8%）が続きます。



(12) 不足しているサービス

実際に提供しているサービスが、必要と考えるサービス量に対し不足していると感じるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「訪問介護（訪問型サービスを含む）」が21.8%で最も多く、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（7.5%）、「訪問看護」（6.8%）が続きます。



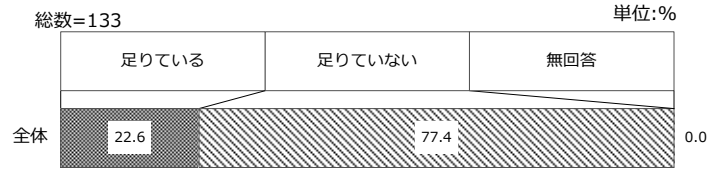
① 不足していると感じる理由

不足していると感じる理由を御記入ください。

(13) 高齢者支援サービスは足りているか

地域において、介護保険以外の高齢者支援サービスは足りていると思いますか。  
(あてはまるものに○)

「足りていない」は77.4%、「足りている」は22.6%となっています。



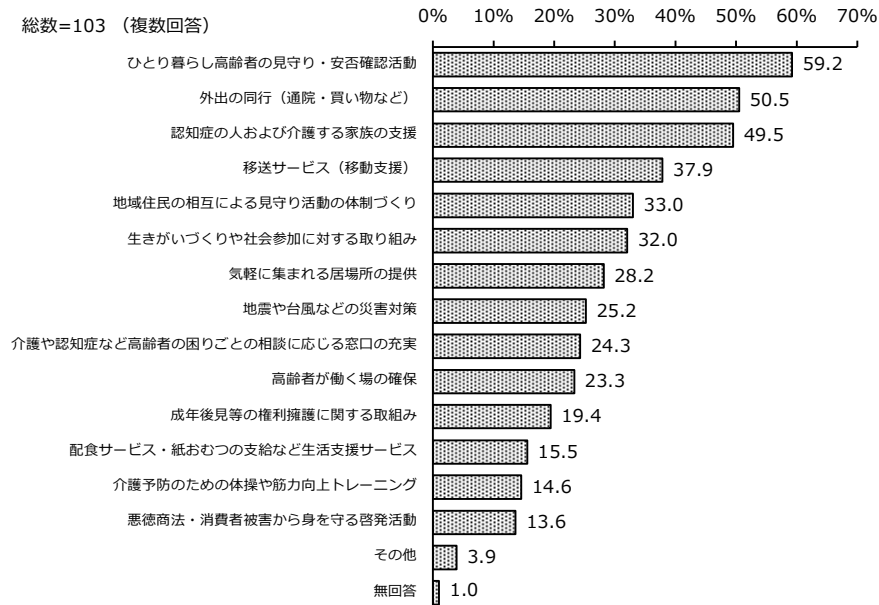
② その他

その他、何かあれば具体的に御記入ください。

① 不足している高齢者支援サービス

「2. 足りていない」と回答された事業者にお聞きします。  
具体的には、どのようなサービスが不足していると思いますか。

「ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動」が59.2%で最も多く、「外出の同行（通院・買い物など）」(50.5%)、「認知症の人および介護する家族の支援」(49.5%)、「移送サービス（移動支援）」(37.9%)が続きます。



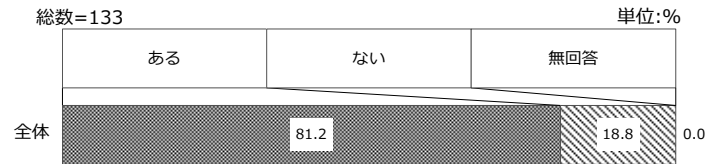
(14) サービス提供が困難な場合とその対応

利用者介助時や送迎時等あらゆる場面においてどのような場合にサービス提供が困難であると感じますか。また、その際どのように対応されていますか。具体的に御記入ください。

(15) 地域との関わりの有無

貴事業所では地域の各種委員・団体・組織(民生委員、自治会、社協等)との関わりはありますか。(あてはまるものに○)

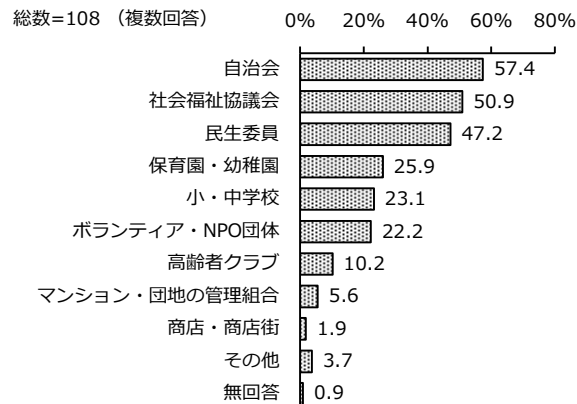
「ある」は81.2%、「ない」は18.8%となっています。



① 関わりのある委員・団体・組織

「1. ある」の場合、それはどのような委員・団体・組織ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自治会」が57.4%で最も多く、「社会福祉協議会」(50.9%)、「民生委員」(47.2%)、「保育園・幼稚園」(25.9%)が続きます。

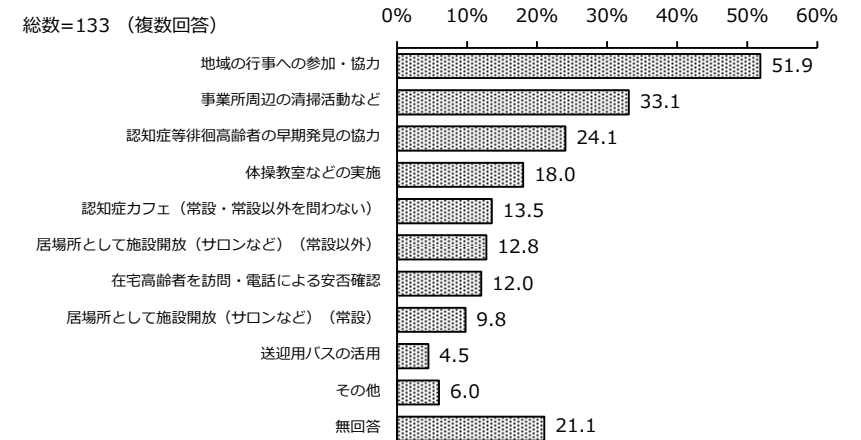


(16) 実施意向のある地域貢献

貴事業所では、地域貢献として、無償または定額料金で次の内容について実施していただく意向があるか伺います(実際に行っていただくということではなく、現時点でのお考えで結構です。)

社会福祉法人など、すでに実施していただいている場合は、実施しているものを教えてください。(あてはまるものに○)

「地域の行事への参加・協力」が51.9%で最も多く、「事業所周辺の清掃活動など」(33.1%)、「認知症等徘徊高齢者の早期発見の協力」(24.1%)、「体操教室などの実施」(18.0%)が続きます。

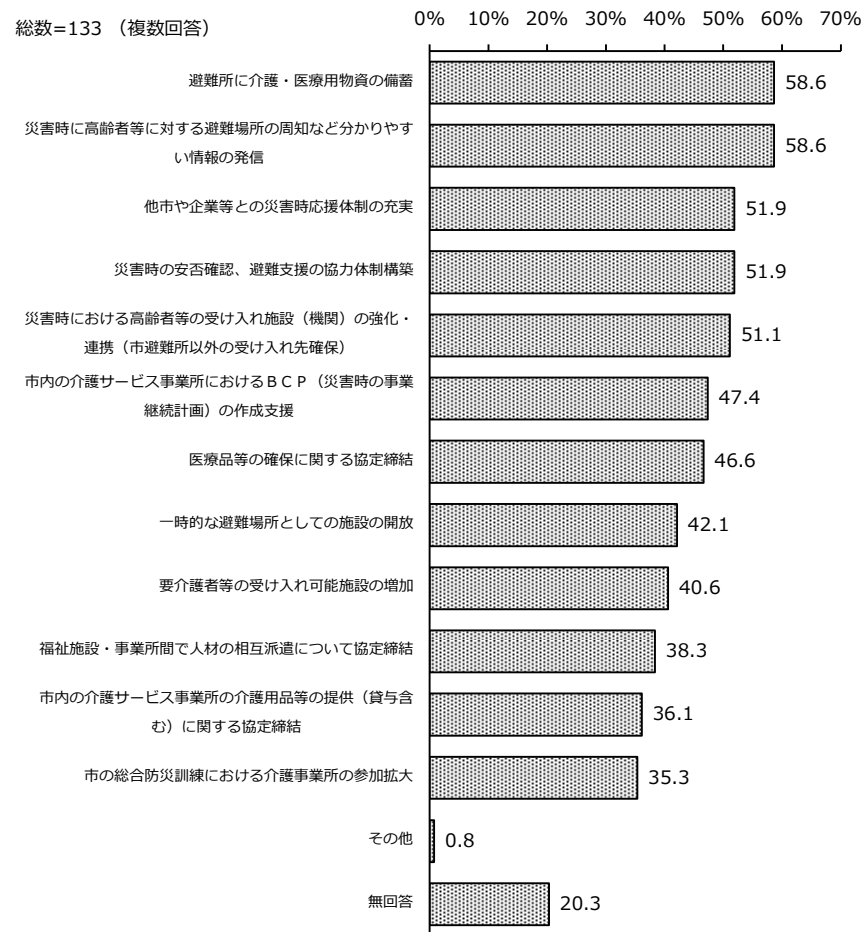


(17) 災害対策

市が行うべき災害対策は次のうちどれですか。また、貴事業所において御協力いただける取組（すでに実施しているものも含みます）があれば教えてください。（あてはまるものに○）

【市が行うべき災害対策】

「避難所に介護・医療用物資の備蓄」と「災害時に高齢者等に対する避難場所の周知など分かりやすい情報の発信」が58.6%で多く、「他市や企業等との災害時応援体制の充実」「災害時の安否確認、避難支援の協力体制構築」(51.9%)が続きます。

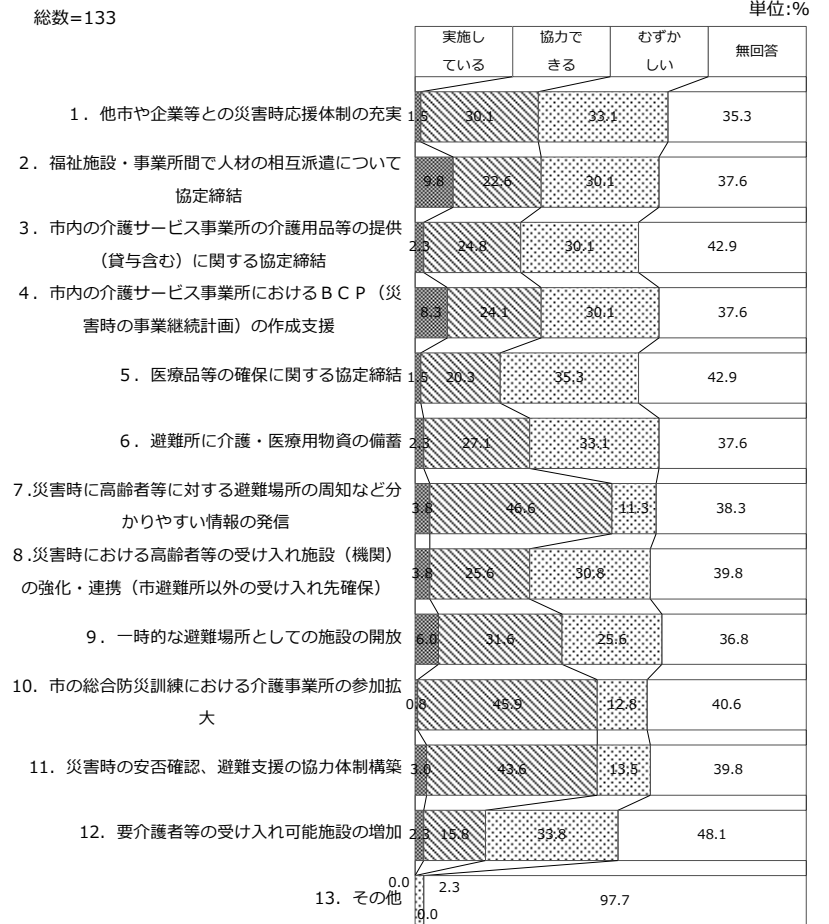


【事業所として協力できる取組】

「実施している」では「福祉施設・事業所間で人材の相互派遣について協定締結」が9.8%で最も多く、「市内の介護サービス事業所におけるBCP（災害時の事業継続計画）の作成支援」（8.3%）、「一時的な避難場所としての施設の開放」（6.0%）が続いています。

「協力できる」では「災害時に高齢者等に対する避難場所の周知など分かりやすい情報の発信」が46.6%で最も多く、「市の総合防災訓練における介護事業所の参加拡大」（45.9%）、「災害時の安否確認、避難支援の協力体制構築」（43.6%）が続いています。

「むずかしい」では「医療品等の確保に関する協定締結」が35.3%で最も多く、「他市や企業等との災害時応援体制の充実」「避難所に介護・医療用物資の備蓄」が33.1%が続いています。



(18) 介護保険制度全般についての意見・要望

介護保険制度全般について、御意見・御要望や困っている事などがありましたら御記入ください。

2 在宅生活改善調査

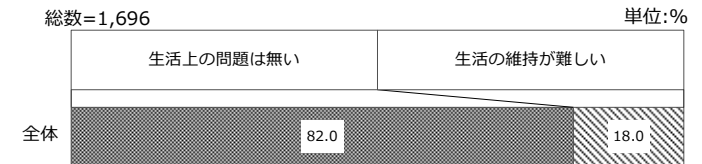
居宅介護支援事業所・(看護)小規模多機能型居宅介護事業所の方にお伺いします。

(19) 自宅等での生活上の問題

担当する利用者で、自宅等(サービス付き高齢者向け住宅および住宅型有料老人ホーム)で生活されている方のうち、以下に該当する方の人数をそれぞれ御記入ください。

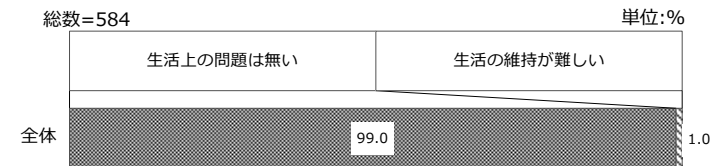
【自宅に居住】

「生活上の問題は無い」が82.0%で最も多く、「生活の維持が難しい」(18.0%)、が続きます。



【サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホームに居住】

「生活上の問題は無い」が99.0%で最も多く、「生活の維持が難しい」(1.0%)、が続きます。

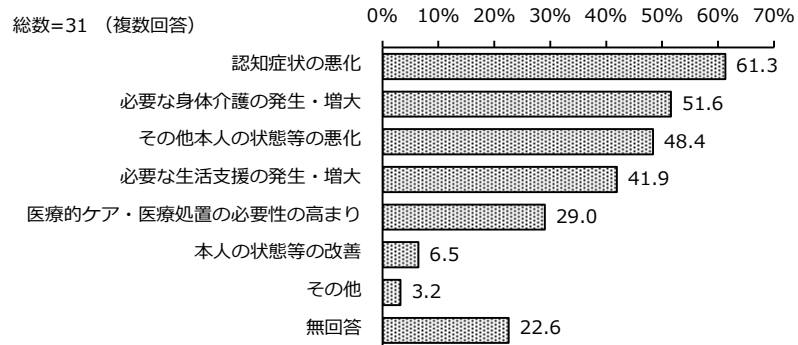


(20) 在宅生活の維持が難しくなっている理由

上記設問で「生活の維持が難しい」に該当した方について、在宅生活の維持が難しくなっている理由は以下のどれに当てはまりますか（複数回答可）。

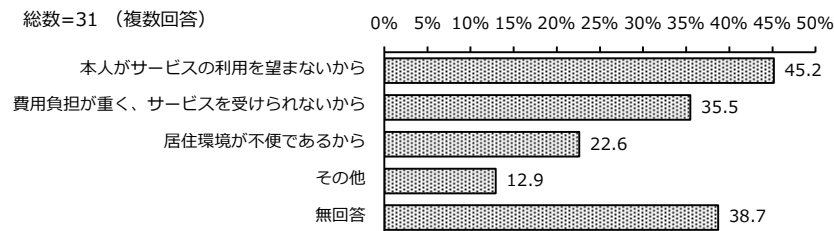
【本人の状態に関すること】

「認知症状の悪化」が61.3%で最も多く、「必要な身体介護の発生・増大」（51.6%）、「その他本人の状態等の悪化」（48.4%）、「必要な生活支援の発生・増大」（41.9%）が続きます。



【本人等の意向に関すること】

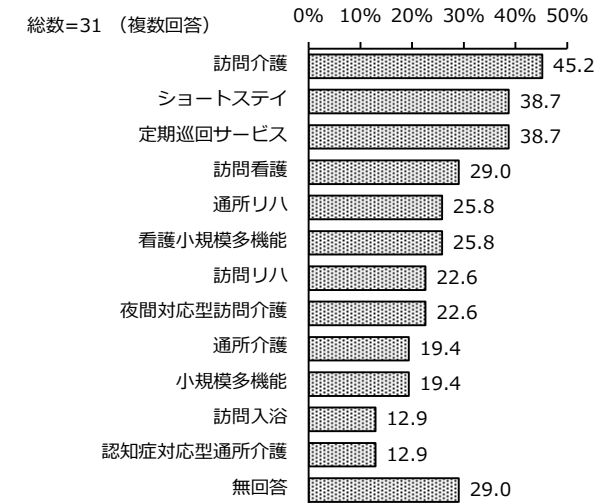
「本人がサービスの利用を望まないから」が45.2%で最も多く、「費用負担が重く、サービスを受けられないから」（35.5%）、「居住環境が不便であるから」（22.6%）、「その他」（12.9%）が続きます。



(21) 生活改善に必要なサービス

これまでにお伺いした内容を踏まえ、生活改善に必要なと思われるサービスは、以下のどれに当てはまりますか（複数回答可）。

「訪問介護」が45.2%で最も多く、「ショートステイ」（38.7%）、「定期巡回サービス」（38.7%）、「訪問看護」（29.0%）が続きます。



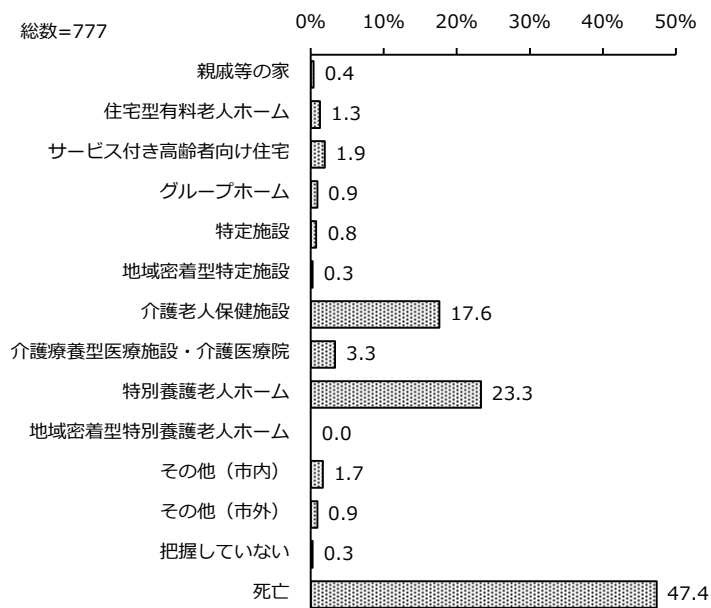
### 3 居所変更実態調査

施設・居住系サービス（サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホームを含む）・居宅介護支援事業所・（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の方にお伺いします。

#### (22) 自宅等での生活が困難となり居所編方された方の行先・人数

過去1年間で、自宅・サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホームでの生活が困難となり、居所を変更した人の行先と人数を御記入ください。

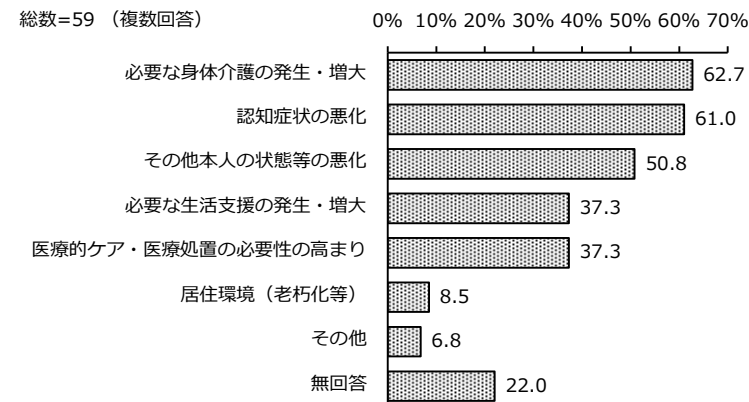
「死亡」が47.4%で最も多く、「特別養護老人ホーム」(23.3%)、「介護老人保健施設」(17.6%)、「介護療養型医療施設・介護医療院」(3.3%)が続きます。



#### (23) 自宅等での生活が困難となった理由

自宅等での生活が困難となった理由は、以下のどちらに当てはまりますか。(複数選択可)

「必要な身体介護の発生・増大」が62.7%で最も多く、「認知症状の悪化」(61.0%)、「その他本人の状態等の悪化」(50.8%)、「必要な生活支援の発生・増大」(37.3%)が続きます。

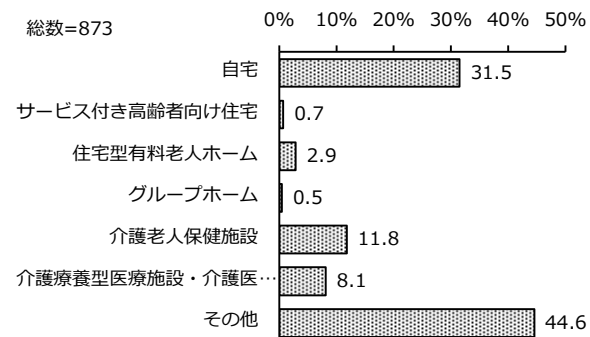


#### (24-1) 入所・入居した直前の居所

過去1年間で、入所・入居および退所・退居した利用者について、以下の設問に御回答ください。

(1) 新しく入所・入居された方について、直前の居所はどちらでしたか。

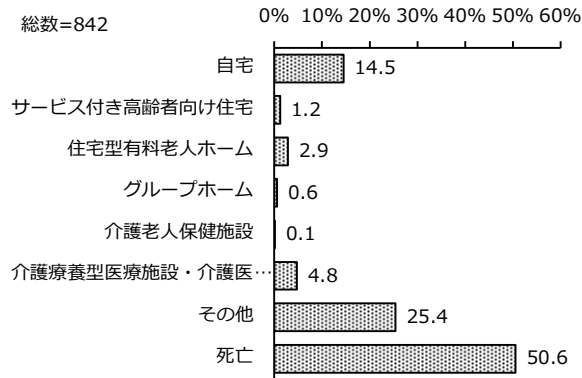
「その他」が44.6%で最も多く、「自宅」(31.5%)、「介護老人保健施設」(11.8%)、「介護療養型医療施設・介護医療院」(8.1%)が続きます。



(24-2) 退所・退居したその後の行先等

(2) 退所・退居された方について、その後の行先等は次のどちらになりますか。

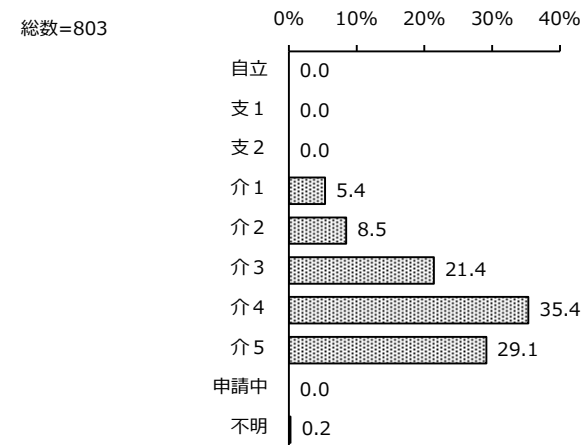
「死亡」が50.6%で最も多く、「その他」(25.4%)、「自宅」(14.5%)、「介護療養型医療施設・介護医療院」(4.8%)が続きます。



(24-3) 退所・退居した方の要支援・要介護度

(3) 退所・退居された方について、要支援・要介護度は次のどれに当てはまりますか (人数で回答)。

「介4」が35.4%で最も多く、「介5」(29.1%)、「介3」(21.4%)、「介2」(8.5%)が続きます。



4 介護人材実態調査

介護老人福祉施設および介護老人保健施設の方にお伺いします。

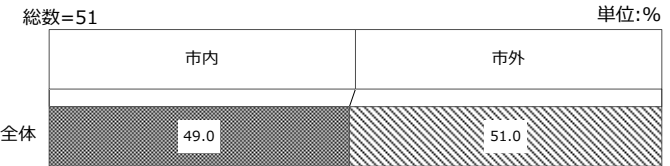
(25) 施設職員の市内外からの勤務人数

施設の職員(正規・非正規全て)について、職種ごとに、青梅市民の人数、市外からの勤務者の人数を御記入ください。

職種	市内(人)	市外(人)	計
生活相談員	25	26	51
介護職員	680	408	1,088
看護職員	98	71	169
栄養士	14	18	32
機能訓練指導員	33	31	64
介護支援専門員	30	12	42
その他の職員(調理員等)	279	161	440
合計	1,159	727	1,886

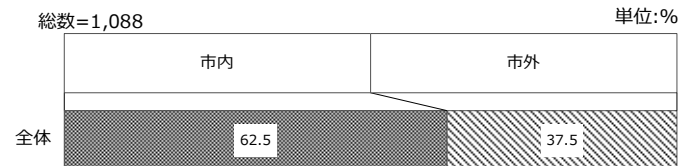
【生活相談員】

「市外」が51.0%で最も多く、「市内」(49.0%)が続きます。



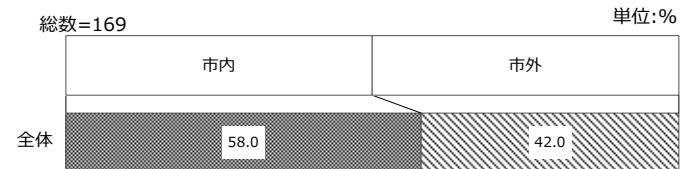
【介護職員】

「市内」が62.5%で最も多く、「市外」(37.5%)が続きます。



【看護職員】

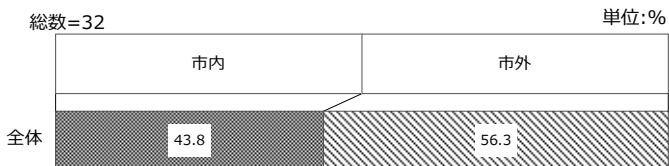
「市内」が58.0%で最も多く、「市外」(42.0%)が続きます。





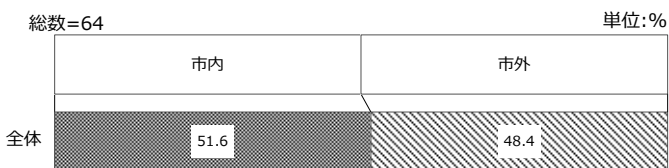
【栄養士】

「市外」が56.3%で最も多く、「市内」(43.8%)が続きます。



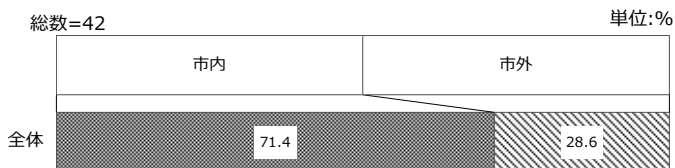
【機能訓練指導員】

「市内」が51.6%で最も多く、「市外」(48.4%)が続きます。



【介護支援専門員】

「市内」が71.4%で最も多く、「市外」(28.6%)が続きます。



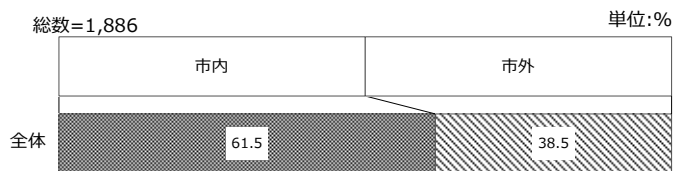
【その他の職員（調理員等）】

「市内」が63.4%で最も多く、「市外」(36.6%)が続きます。



【計】

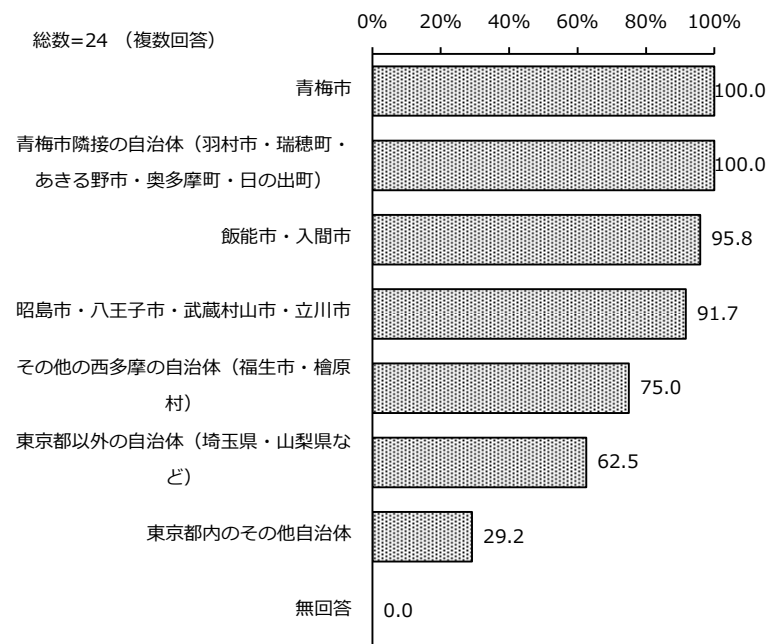
「市内」が61.5%で最も多く、「市外」(38.5%)が続きます。



(26) 施設職員の具体的居住地

施設の各種職員（正規・非正規全て）はどこから通っていますか。  
（該当する地区にすべて○）

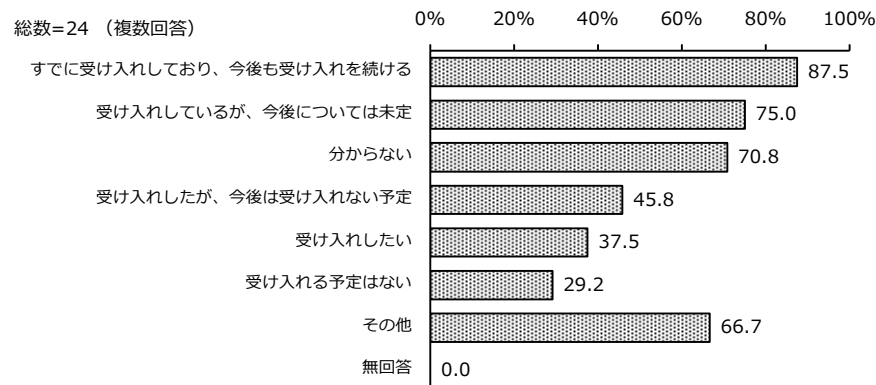
「青梅市」と「青梅市隣接の自治体（羽村市・瑞穂町・あきる野市・奥多摩町・日の出町）」が100.0%、「飯能市・入間市」(95.8%)、「昭島市・八王子市・武蔵村山市・立川市」(91.7%)が続きます。



(27) 介護人材不足解消のための制度拡充に対する意向

介護人材不足解消のため、外国人技能実習生、留学生（EPAなど）の制度が拡充されていますが、貴事業所の意向をお答え下さい。

「すでに受け入れしており、今後も受け入れを続ける」が87.5%で最も多く、「受け入れしているが、今後については未定」(75.0%)、「分からない」(70.8%)、「受け入れしたが、後は受け入れない予定」(45.8%)が続きます。



□ 外国人人材の活用に関する意見等

導入の有無に関わらず、外国人人材の活用について御意見等あれば御記入下さい。

(28) 人員の状況

貴事業所における、人員の状況についてお伺いします。（全職員の内訳について、以下の表に数字で御記入ください。）

人員状況は以下のようになっています。

n=(133) (単位：人)

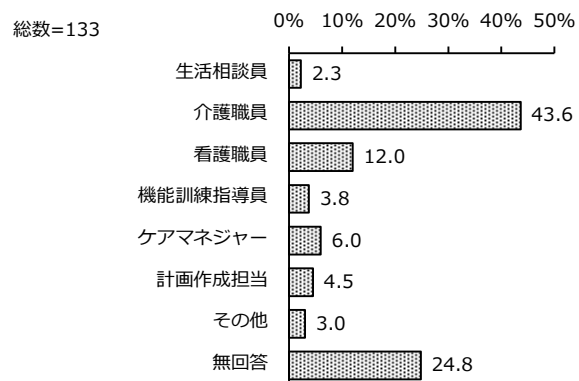
【令和4年10月1日現在】			30代未満	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
介護福祉士 (居宅介護支援の 場合は、主任介護 支援専門員)	男	正規	31	91	164	82	20	3	391
		非正規	2	4	9	6	15	5	41
	女	正規	36	73	115	169	54	3	450
		非正規	7	40	91	80	89	29	336
実務研修相当 (居宅介護支援の 場合は、介護支援 専門員)	男	正規	15	18	50	25	6	0	114
		非正規	0	2	7	6	2	3	20
	女	正規	11	10	42	44	18	6	131
		非正規	2	10	32	23	16	8	91
初任者研修相当	男	正規	26	7	12	8	5	0	58
		非正規	3	6	2	9	7	11	38
	女	正規	19	7	17	11	5	0	59
		非正規	8	18	20	47	63	39	195
これらの資格をも たない(事務等)	男	正規	40	46	62	57	30	4	239
		非正規	11	8	8	15	72	62	176
	女	正規	49	51	101	109	43	12	365
		非正規	39	35	78	68	121	66	407
不明	男	正規	0	0	0	0	0	0	0
		非正規	0	0	0	0	0	1	1
	女	正規	1	0	0	0	0	0	1
		非正規	0	1	2	6	3	0	12
合計	男	正規	112	162	288	172	61	7	802
		非正規	16	20	26	36	96	82	276
	女	正規	116	141	275	334	119	21	1,006
		非正規	56	104	223	223	293	142	1,041

(29) 不足している職種

現在のサービス提供状況からみて、不足している職種は何ですか。(あてはまるものに○を入れて、複数の場合は優先的に必要な順位を入れてください)

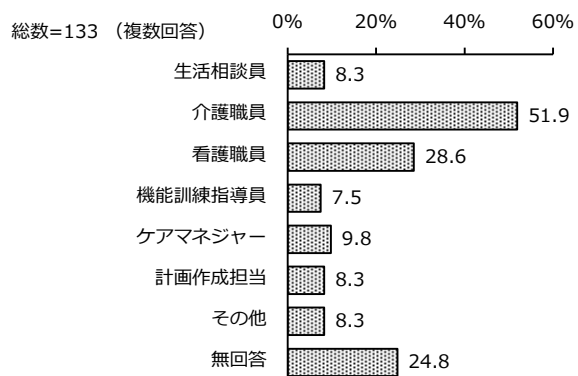
【1位に挙げられた職種】

「介護職員」が43.6%で最も多く、「看護職員」(12.0%)、「ケアマネジャー」(6.0%)、「計画作成担当」(4.5%)が続きます。



【1位から7位までいずれかに挙げられた職種】

「介護職員」が51.9%で最も多く、「看護職員」(28.6%)、「ケアマネジャー」(9.8%)、「生活相談員」(8.3%)が続きます。

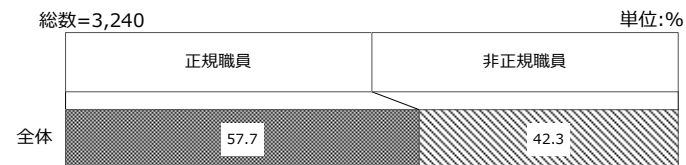


(30) サービス提供が困難な場合

過去1年間の、職員の採用者数、離職者数等についてお伺いします。(数字で御記入ください。)

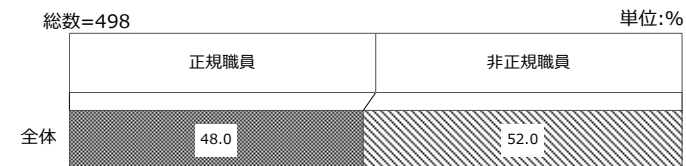
【職員総数(令和4年10月1日時点)】

「正規職員」が57.7%、「非正規職員」が42.3%となっています。



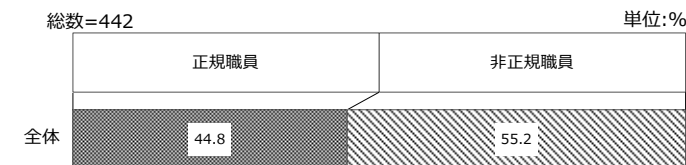
【採用者数(令和3年10月1日から令和4年9月30日)】

「非正規職員」が52.0%、「正規職員」が48.0%となっています。



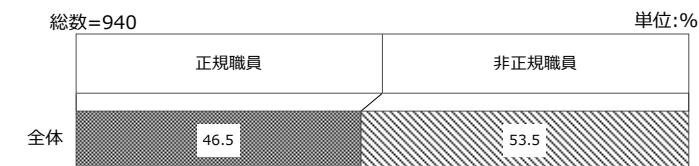
【離職者数(令和3年10月1日から令和4年9月30日)】

「非正規職員」が55.2%、「正規職員」が44.8%となっています。



【合計】

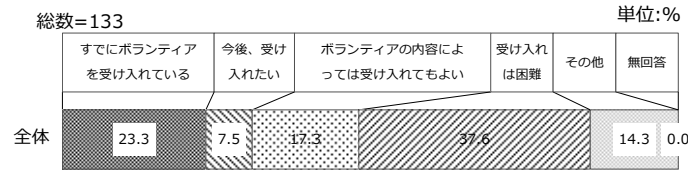
「非正規職員」が53.5%、「正規職員」が46.5%となっています。



(31) ボランティア受け入れの考え

貴事業所での、ボランティア受け入れの考えをお伺いします。(あてはまるものに○)

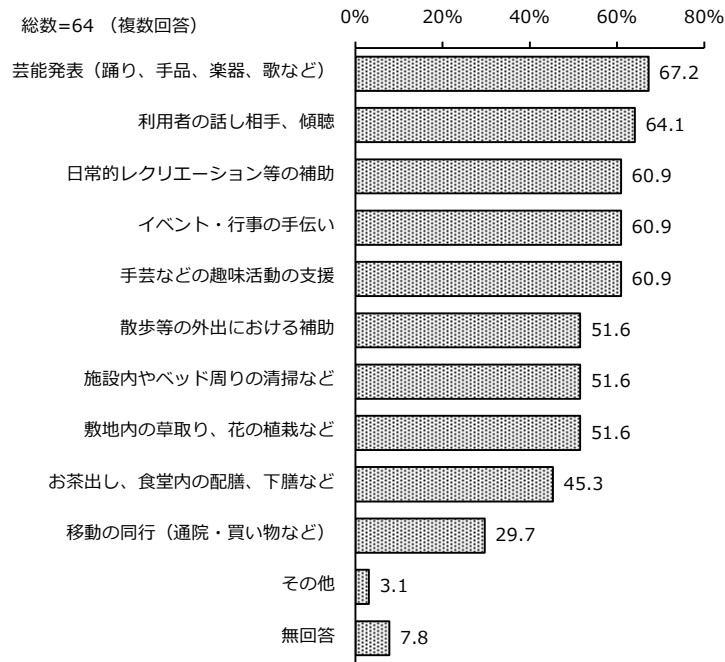
「受け入れは困難」が37.6%で最も多く、「すでにボランティアを受け入れている」(23.3%)、「ボランティアの内容によっては受け入れてもよい」(17.3%)、「その他」(14.3%)が続きます。



① 受け入れ可能なボランティアの種類

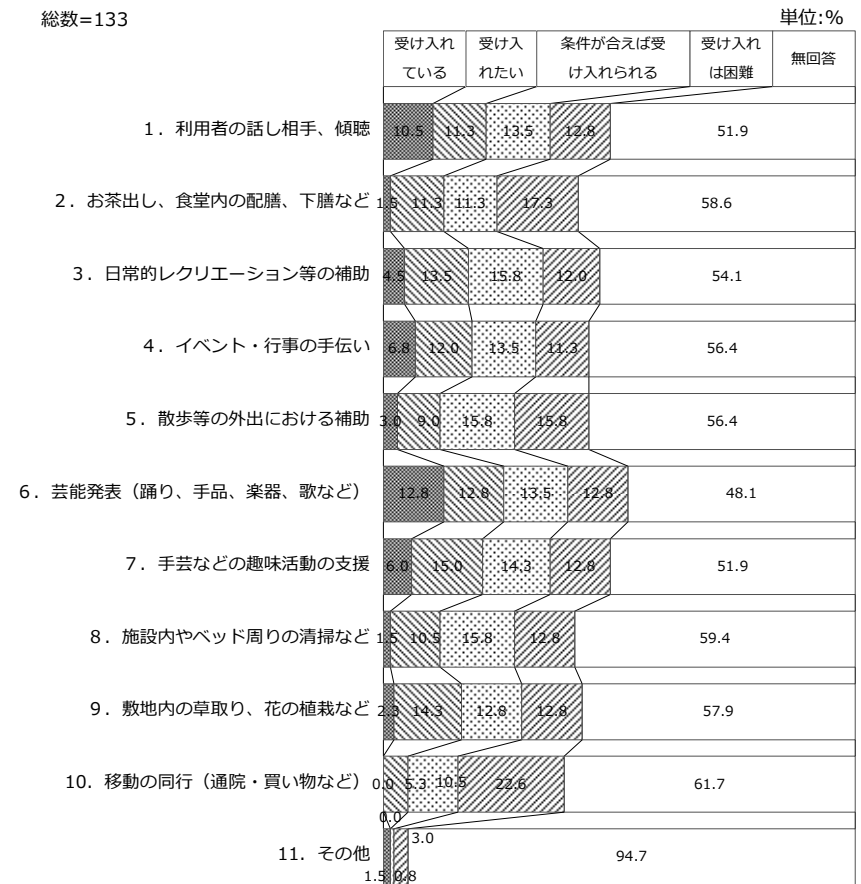
「1. 受け入れている」「2. 受け入れたい」「3. 受け入れてもよい」の場合、該当するボランティアの種類は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「芸能発表(踊り、手品、楽器、歌など)」が67.2%で最も多く、「利用者の話し相手、傾聴」(64.1%)、「日常的レクリエーション等の補助」(60.9%)、「イベント・行事の手伝い」(60.9%)が続きます。



ボランティアごとでは以下のようになっています。

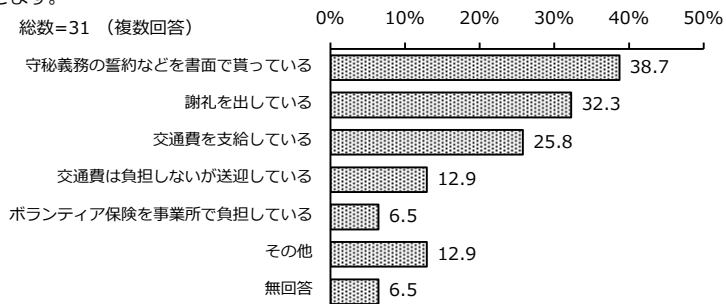
総数=133



② 受け入れのため実施しているボランティアへの支援等

「1. 受け入れている」の場合、貴事業所でボランティア受け入れのため実施しているボランティアの方への支援等をお伺いします。(あてはまるものすべてに○。なお、事例に応じて対応が違う場合は、いずれかの場合に該当するものに○をしてください。例：謝礼は出す時と出さない時がある⇒1に○) (あてはまるものすべてに○)

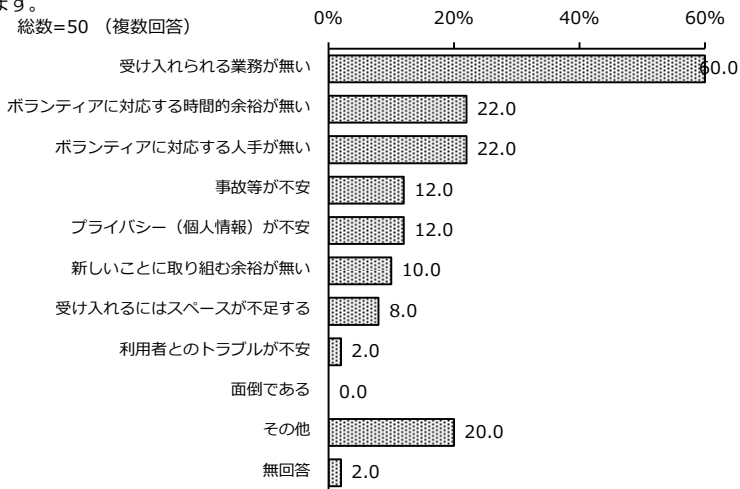
「守秘義務の誓約などを書面で貰っている」が38.7%で最も多く、「謝礼を出している」(32.3%)、「交通費を支給している」(25.8%)、「交通費は負担しないが送迎している」(12.9%)が続きます。



③ 受け入れ困難な理由

「4. 受け入れは困難」の場合、困難な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「受け入れられる業務が無い」が60.0%で最も多く、「ボランティアに対応する時間的余裕が無い」(22.0%)、「ボランティアに対応する人手が無い」(22.0%)、「事故等が不安」(12.0%)が続きます。



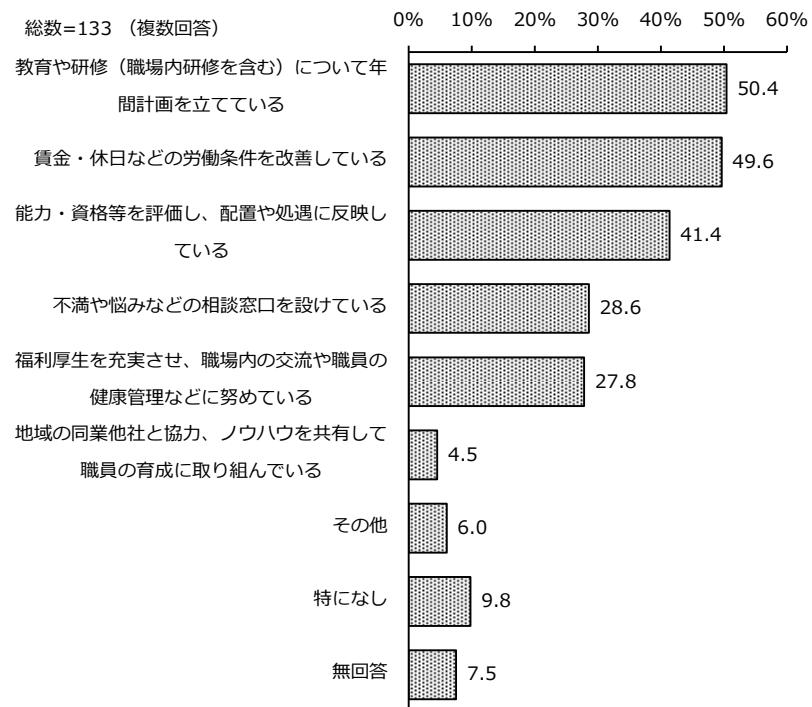
(32) ボランティア受け入れで課題となること

ボランティア受け入れにあたり、課題となることは何ですか。(自由記述)

(33) 人材育成や離職防止のための方策

人材育成や離職防止のためにどのような方策を取っていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「教育や研修（職場内研修を含む）について年間計画を立てている」が50.4%で最も多く、「賃金・休日などの労働条件を改善している」（49.6%）、「能力・資格等を評価し、配置や処遇に反映している」（41.4%）、「不満や悩みなどの相談窓口を設けている」（28.6%）が続きます。



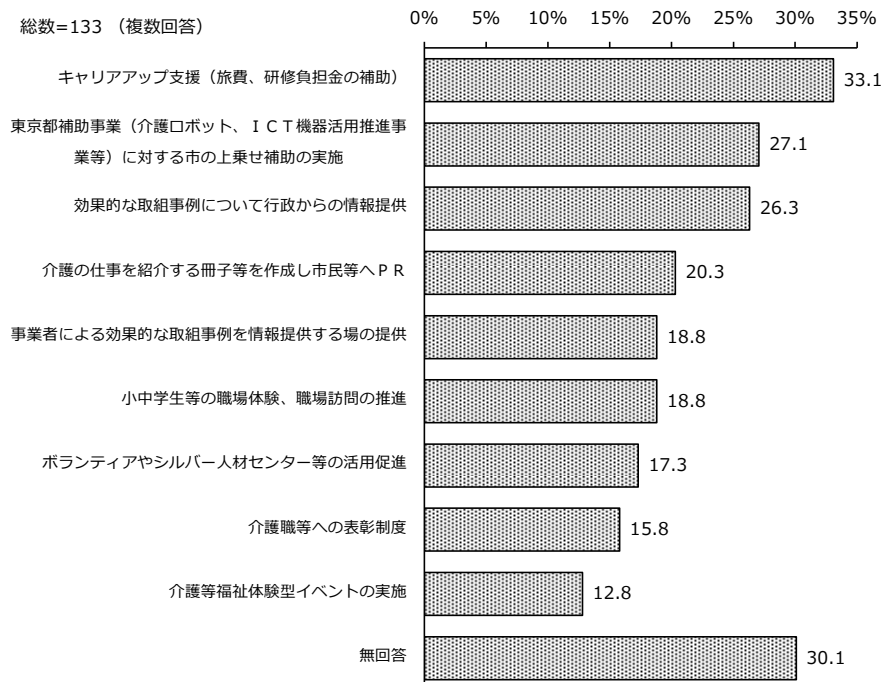
① 効果のあった具体的な取組事例等

このほか、人材確保・定着に関して貴事業所で効果のあった具体的な取組事例等があれば御記入ください。（あてはまるものすべてに○）

(34) 市が取り組むべき介護人材確保対策

市が積極的に取り組むべき介護人材確保対策について何かお考えがありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「キャリアアップ支援（旅費、研修負担金の補助）」が33.1%で最も多く、「東京都補助事業（介護ロボット、ICT機器活用推進事業等）に対する市の上乗せ補助の実施」（27.1%）、「効果的な取組事例について行政からの情報提供」（26.3%）、「介護の仕事を紹介する冊子等を作成し市民等へPR」（20.3%）が続きます。



① 効果のあった具体的な取組事例等

その他、何かあれば具体的に御記入ください。